

宇美町のコミュニティづくりに関する
アンケート調査結果報告書
(一般町民)

平成25年9月

宇美町

目次

I	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
(4)	本調査報告書の基本的な事項	2
II	回答者の属性	3
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	職業	3
(4)	就学先・勤務先	4
(5)	居住年数	4
(6)	居住地区	4
III	調査結果	5
1	宇美町への愛着度、定住意向などについて	5
(1)	町への愛着度について	5
(2)	宇美町の魅力について	7
(3)	今後の定住意向について	10
(4)	住みたくない主な理由について	12
2	宇美町のまちづくりに対する評価について	14
(1)	まちの各環境に関する満足度	14
(2)	まちの各環境に関する重要度	23
(3)	満足度と重要度の相関(優先度)	31
3	今後のまちづくりに向けて	45
(1)	今後のまちづくりの特色について	45
4	日頃の行動などについて	48
(1)	生涯学習活動について	48
(2)	健康増進のための取り組みについて	49
(3)	地域福祉活動への参加について	50
(4)	災害時の避難路・避難場所について	51
(5)	防火・防災訓練への参加	52
(6)	身近な地域での防犯活動・パトロール活動への参加について	53
(7)	環境に配慮した生活について	54
(8)	地元の公園など公共施設の維持管理について	55
(9)	緑化活動について	56

(10) ごみ減量化のための3R運動について.....	57
(11) 町内での買物について.....	58
(12) 「広報うみ」について.....	59
(13) 町のホームページについて.....	60
5 地域コミュニティ活動、共働について.....	61
(1) 地域コミュニティ活動等への参加状況・参加意向について.....	61
(2) 今後参加したい活動について.....	63
(3) 今後活動に参加しない理由について.....	65
(4) 望ましいと思う地域コミュニティ活動について.....	66
(5) 共働のまちづくりを進めるために必要なこと.....	68
(6) 「共働のまちづくり」について.....	70
6 自由意見.....	72

I 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、宇美町地域共働のためのコミュニティ現状分析業務に当たって、町への愛着度や今後の定住意向をはじめ、生活や地域について日頃感じていることなど、町民の意識構造の実態を把握し、コミュニティ支援施策の基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	20歳以上の町民
配布数	1,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	平成25年6月
調査地域	町内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	1,000
回収数	493
回収率	49.3%
有効回収数	481
有効回収率	48.1%

(4) 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

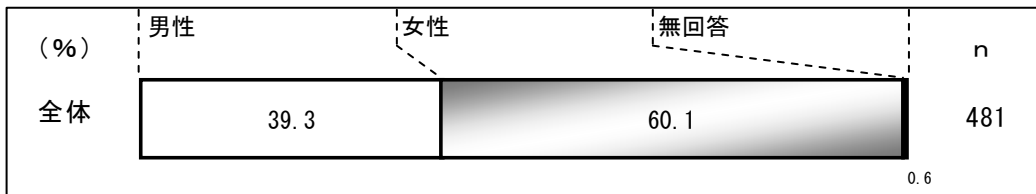
- ①比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100％を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100％として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100％を超える場合があります。
- ④グラフの表側は表記のため文字を省略している場合があります。

II 回答者の属性

問1 あなたご自身のことについてお答えください。

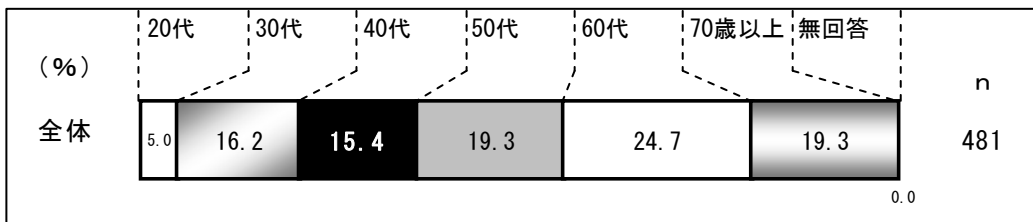
(1) 性別

性別構成は、「女性」(60.1%)、「男性」(39.3%)となっています。



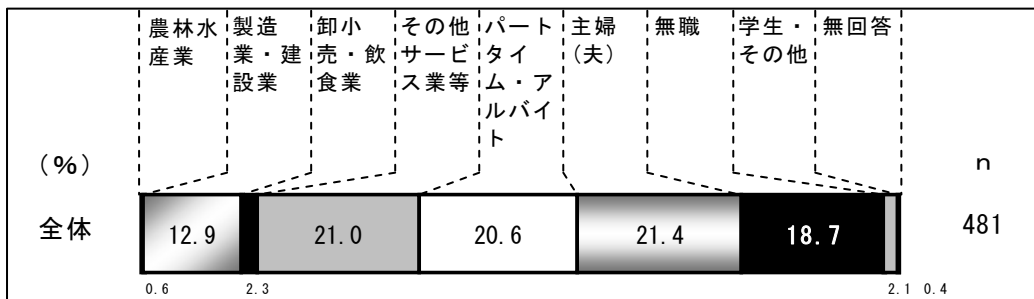
(2) 年齢

年齢構成は、「60代」(24.7%)、「50代」(19.3%)、「70歳以上」(19.3%)、「30代」(16.2%)、「40代」(15.4%)、「20代」(5.0%)の順となっています。



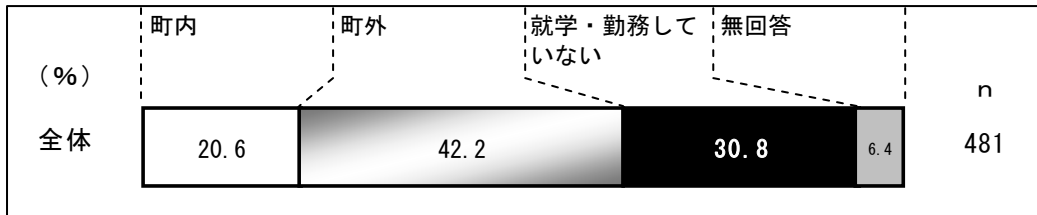
(3) 職業

職業は、「主婦(夫)」(21.4%)、「その他サービス業等」(21.0%)、「パートタイム・アルバイト」(20.6%)、「無職」(18.7%)、「製造業・建設業」(12.9%)、「卸小売・飲食業」(2.3%)、「学生・その他」(2.1%)、「農林水産業」(0.6%)の順となっています。



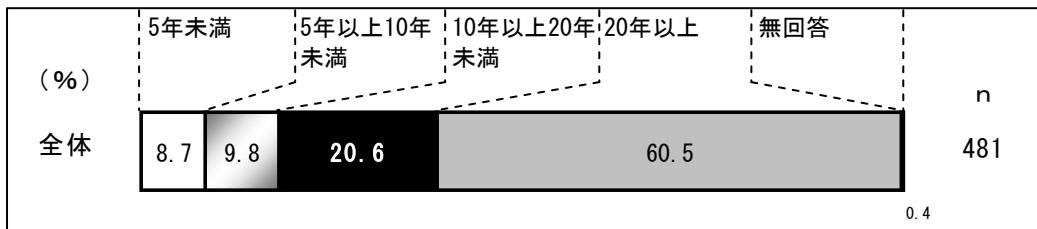
(4) 就学先・勤務先

就学先・勤務先は、「町外」(42.2%)、「就学・勤務していない」(30.8%)、「町内」(20.6%)の順となっています。



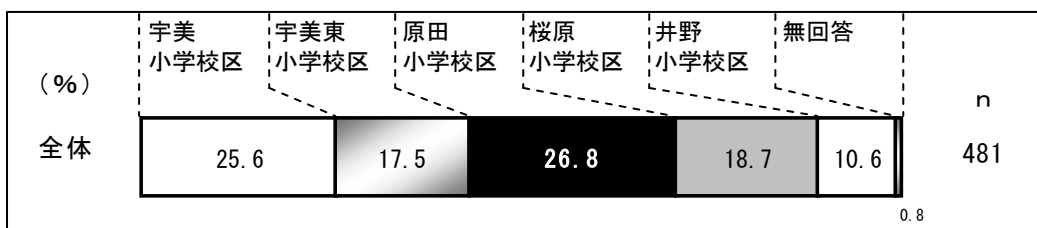
(5) 居住年数

居住年数は、「20年以上」(60.5%)、「10年以上20年未満」(20.6%)、「5年以上10年未満」(9.8%)、「5年未満」(8.7%)の順となっています。



(6) 居住地区

居住地区は、「原田小学校区」(26.8%)、「宇美小学校区」(25.6%)、「桜原小学校区」(18.7%)、「宇美東小学校区」(17.5%)、「井野小学校区」(10.6%)の順となっています。



Ⅲ 調査結果

1 宇美町への愛着度、定住意向などについて

(1) 町への愛着度について

問2 あなたは、宇美町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。



- “愛着を感じている”が64.6%、“愛着を感じていない”が9.6%。

町民の町に対する愛着度を把握するため、「とても愛着を感じている」、「どちらかというとな愛着を感じている」、「どちらともいえない」、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかというとな愛着を感じている」と答えた人が42.8%で最も多く、これに「愛着を感じている」(21.8%)をあわせた“愛着を感じている”という人は64.6%となっています。これに対して、“愛着を感じていない”(「あまり愛着を感じていない」(7.5%)、及び「愛着を感じていない」(2.1%)の合計)は9.6%にとどまり、町への愛着度はかなり高いといえます。

「どちらともいえない」は24.9%でした。

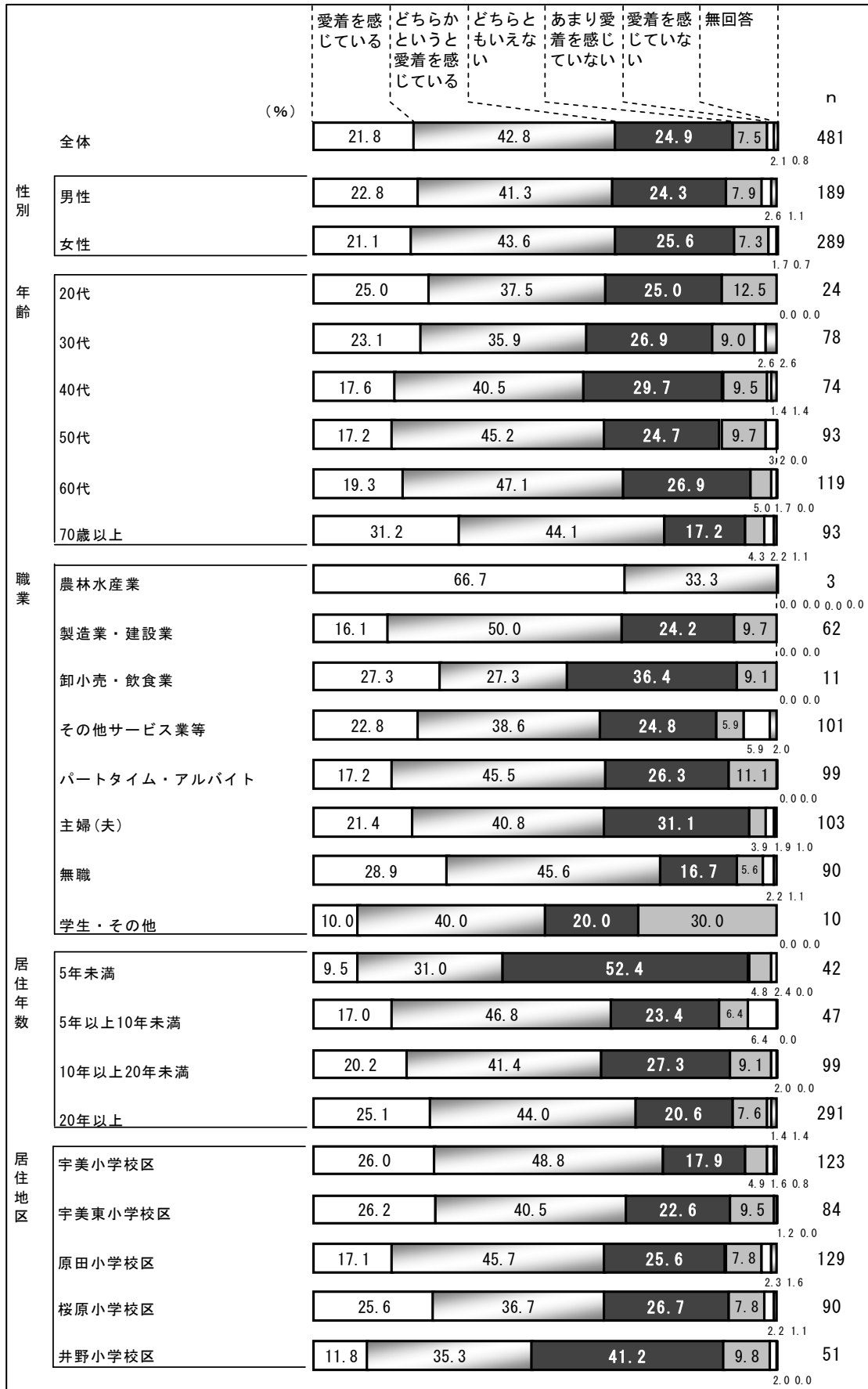
属性別で“愛着を感じている”率をみると、性別では、女性が64.7%、男性が64.1%と、女性の方が高くなっています。

年齢では、年齢が高いほど“愛着を感じている”率は高くなる傾向にあります。

居住年数では、年数が短い場合に“愛着を感じている”率は低くなっています。

また、居住地区でみると、宇美小学校区で“愛着を感じている”率は高くなっています。[図表1参照]

図表1 町への愛着度について
(全体、性別、年齢、職業、居住年数、居住地区)



(2) 宇美町の魅力について

問3 あなたは、宇美町のどのようなところが魅力だと思いますか。【複数回答】



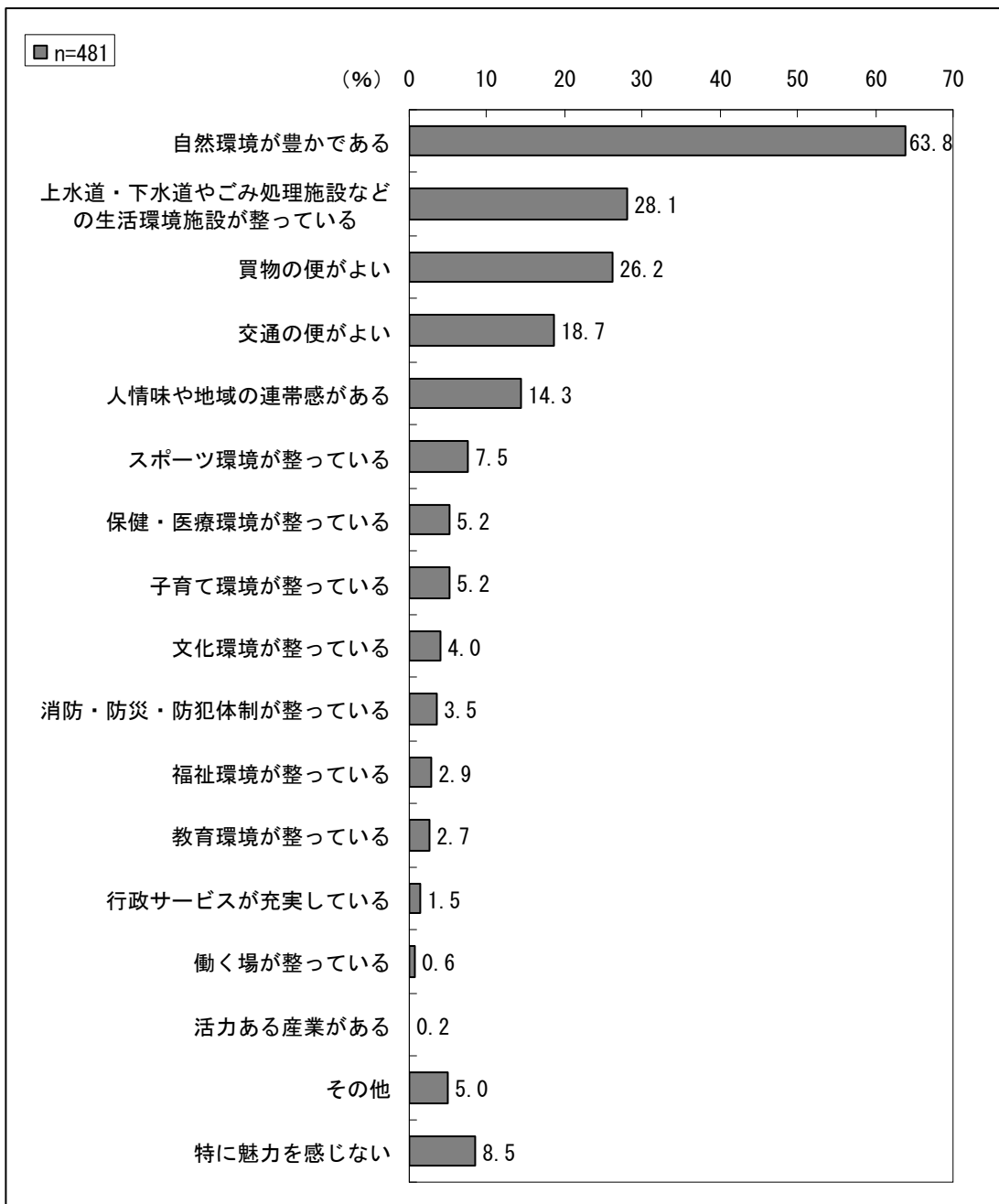
- 「自然環境が豊かである」(63.8%)、「上水道・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている」(28.1%)、「買物の便がよい」(26.2%)、「交通の便がよい」(18.7%)、「人情味や地域の連帯感がある」(14.3%)が上位。

宇美町の魅力についてたずねたところ、「自然環境が豊かである」(63.8%)、「上水道・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている」(28.1%)、「買物の便がよい」(26.2%)、「交通の便がよい」(18.7%)、「人情味や地域の連帯感がある」(14.3%)、「スポーツ環境が整っている」(7.5%)、「保健・医療環境が整っている」・「子育て環境が整っている」(同率 5.2%)、「文化環境が整っている」(4.0%)、「消防・防災・防犯体制が整っている」(3.5%)、「福祉環境が整っている」(2.9%)、「教育環境が整っている」(2.7%)、「行政サービスが充実している」(1.5%)、「働く場が整っている」(0.6%)、「活力ある産業がある」(0.2%)の順となっています。「特に魅力を感じない」は8.5%でした。

これを属性別で見ると、年齢では、50代に「自然環境が豊かである」の率が高く、居住地区では、宇美東小学校区、桜原小学校区に「自然環境が豊かである」の率が高く、宇美小学校区に「買物の便がよい」、「交通の便がよい」の率が高くなっています。

[図表2・3参照]

図表2 宇美町の魅力について（全体／複数回答）



図表3 宇美町の魅力について（全体、性別、年齢、居住地区）

（全体・性別・年齢・居住地区—上位第5位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		自然環境が豊かである 63.8	生活環境施設が整っている 28.1	買物の便がよい 26.2	交通の便がよい 18.7	人情味や地域の連帯感がある 14.3
性別	男性	自然環境が豊かである 60.8	生活環境施設が整っている 31.7	買物の便がよい 20.6	交通の便がよい 15.3	人情味や地域の連帯感がある 14.3
	女性	自然環境が豊かである 66.4	買物の便がよい 29.4	生活環境施設が整っている 25.6	交通の便がよい 20.8	人情味や地域の連帯感がある 14.2
年齢	20代	自然環境が豊かである 58.3	買物の便がよい 29.2	交通の便がよい 20.8	人情味や地域の連帯感がある 16.7	生活環境施設が整っている 12.5
	30代	自然環境が豊かである 62.8	買物の便がよい 26.9	生活環境施設が整っている 21.8	交通の便がよい 15.4	子育て環境が整っている 11.5
	40代	自然環境が豊かである 68.9	買物の便がよい 17.6	生活環境施設が整っている 14.9	人情味や地域の連帯感がある 12.2	交通の便がよい 10.8
	50代	自然環境が豊かである 74.2	生活環境施設が整っている 28.0	買物の便がよい 22.6	交通の便がよい 17.2	人情味や地域の連帯感がある 14.0
	60代	自然環境が豊かである 61.3	生活環境施設が整っている 35.3	買物の便がよい 24.4	交通の便がよい 16.8	人情味や地域の連帯感がある 13.4
	70歳以上	自然環境が豊かである 54.8	生活環境施設が整っている 38.7	買物の便がよい 37.6	交通の便がよい 31.2	人情味や地域の連帯感がある 21.5
居住地区	宇美小学校区	自然環境が豊かである 51.2	買物の便がよい 36.6	交通の便がよい 35.8	生活環境施設が整っている 23.6	人情味や地域の連帯感がある 19.5
	宇美東小学校区	自然環境が豊かである 75.0	生活環境施設が整っている 20.2	買物の便がよい 14.3	人情味や地域の連帯感がある 13.1	スポーツ環境が整っている 8.3
	原田小学校区	自然環境が豊かである 64.3	生活環境施設が整っている 32.6	買物の便がよい 25.6	交通の便がよい 10.1	スポーツ環境が整っている 9.3
	桜原小学校区	自然環境が豊かである 72.2	生活環境施設が整っている 30.0	買物の便がよい 25.6	交通の便がよい 21.1	人情味や地域の連帯感がある 16.7
	井野小学校区	自然環境が豊かである 62.7	生活環境施設が整っている 35.3	買物の便がよい 25.5	交通の便がよい 17.6	人情味や地域の連帯感がある 13.7

(3) 今後の定住意向について

問4 あなたは、これからも宇美町に住みたいと思いますか。



- “住みたい” が 59.6%、“住みたくない” が 10.6%。

今後の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない（できれば町外へ引っ越したい）」の中から1つを選んでもらったところ、「住みたい」と答えた人が34.7%と最も多く、これに「どちらかといえば住みたい」(24.9%)をあわせた59.6%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。一方、「どちらかといえば住みたくない」(7.3%)及び「住みたくない」(3.3%)と答えた“住みたくない”という人の合計は10.6%にとどまり、定住意向は強いといえます。なお、「どちらともいえない」は28.5%となっています。

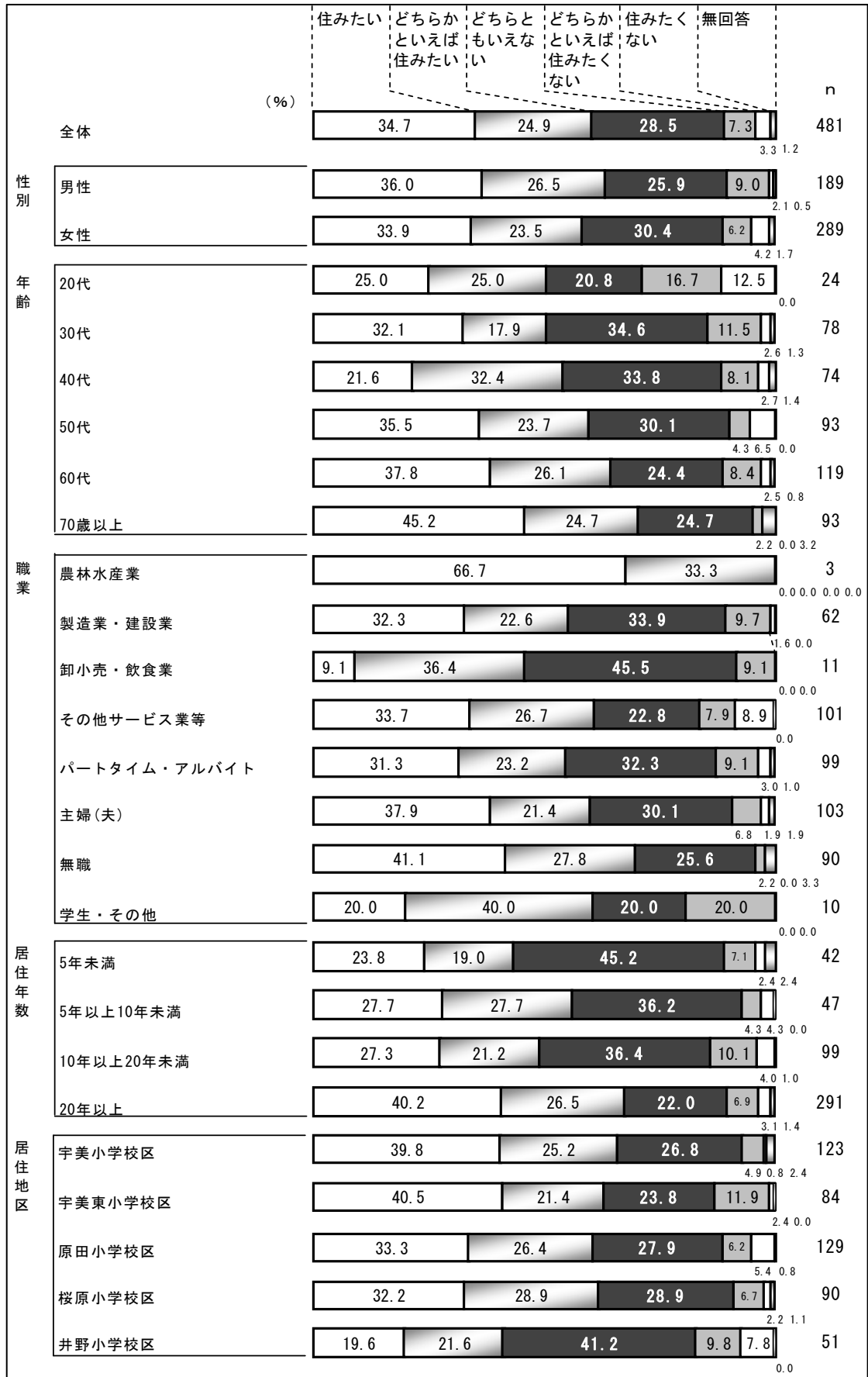
これを属性別で見ると、性別では、男性(62.5%)が女性(57.4%)よりも“住み続けたい”率が高くなっています。

これを年齢でみていくと、“住みたい”率の高い順に、70歳以上(69.9%)、60代(63.9%)、50代(59.2%)、40代(54.0%)、30代・20代(50.0%)の順となっており、概ね加齢とともに定住意向が強くなる傾向がみられます。

居住年数では、20年以上(66.7%)の定住意向が強くなっています。

また、居住地区で“住みたい”率をみると、宇美小学校区(65.0%)、宇美東小学校区(61.9%)、桜原小学校区(61.1%)、原田小学校区(59.7%)、井野小学校区(41.2%)の順となっています。[図表4参照]

図表4 今後の定住意向について
(全体、性別、年齢、職業、居住年数、居住地区)



(4) 住みたくない主な理由について

※問4で「4.」または「5.」と回答した方におたずねします
問4付問 その主な理由はなんですか。【複数回答】

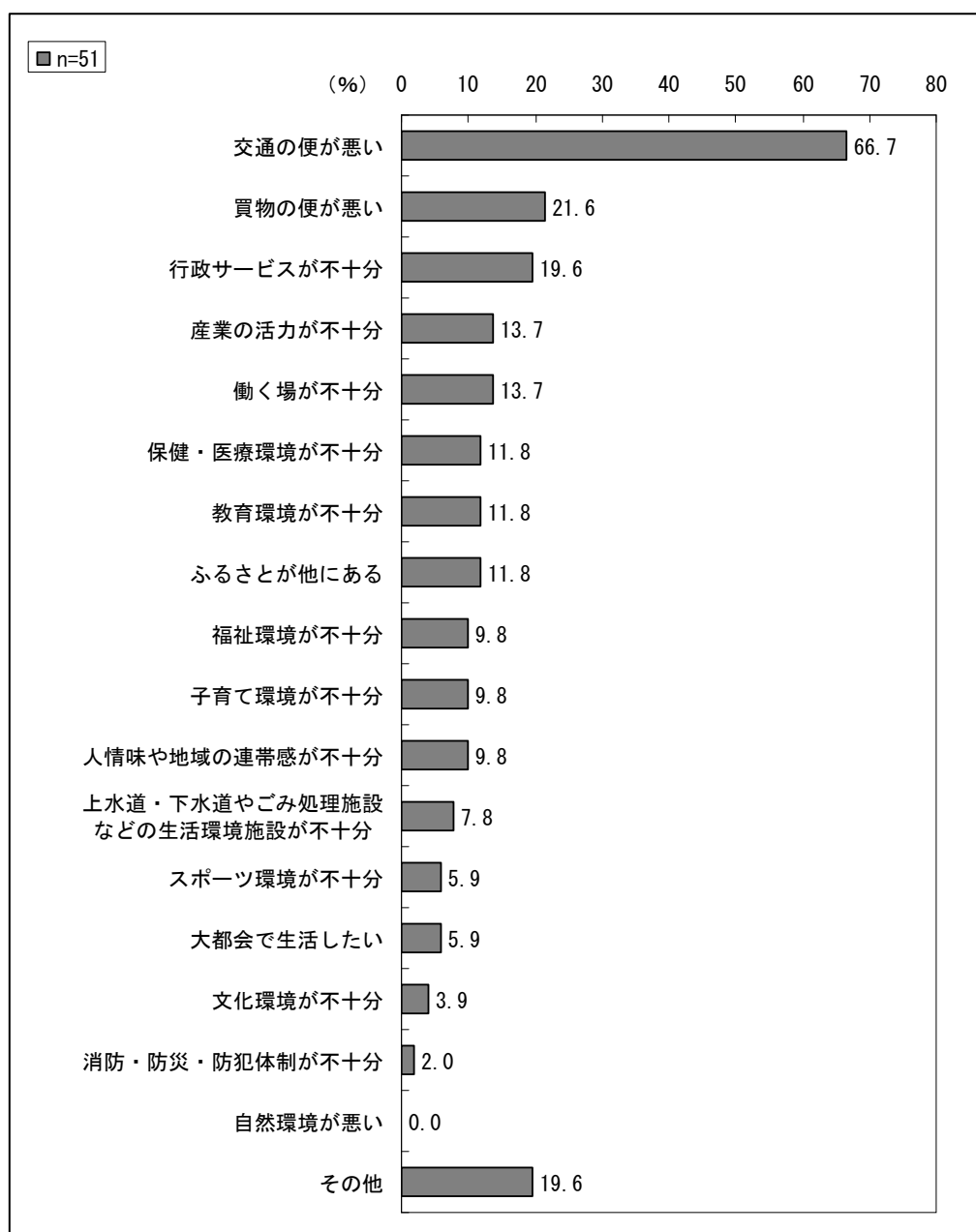


- 「交通の便が悪い」が6割超。

問4で“住みたくない”と答えた51人（全体の10.6%）に、住みたくない主な理由についてたずねたところ、「交通の便が悪い」（66.7%）、「買物の便が悪い」（21.6%）、「行政サービスが不十分」（19.6%）、「産業の活力が不十分」（13.7%）、「働く場が不十分」（13.7%）、「保健・医療環境が不十分」・「教育環境が不十分」・「ふるさとが他にある」（同率11.8%）、「福祉環境が不十分」・「子育て環境が不十分」・「人情味や地域の連帯感が不十分」（同率9.8%）、「上水道・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が不十分」（7.8%）、「スポーツ環境が不十分」・「大都会で生活したい」（同率5.9%）、「文化環境が不十分」（3.9%）、「消防・防災・防犯体制が不十分」（2.0%）などの順となっています。

これを属性別で見ると、性別では、女性に「交通の便が悪い」率が高くなっています。[図表5・6参照]

図表5 住みたくない主な理由について（全体／複数回答）



図表6 住みたくない主な理由について（全体・性別－上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		交通の便が悪い 66.7	買物の便が悪い 21.6	行政サービスが不十分 19.6
性別	男性	交通の便が悪い 52.4	買物の便が悪い 33.3	産業の活力が不十分 28.6
	女性	交通の便が悪い 76.7	行政サービスが不十分 20.0	保健・医療環境が不十分/働く場が不十分 16.7

2 宇美町のまちづくりに対する評価について

(1) まちの各環境に関する満足度

問5 宇美町では、これまで、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

(1) 満足度 あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。



- 満足度が最も高い項目は「図書館・学校図書館の充実」。次いで「うみ・みらい館（図書館）の活用」、「安全でおいしい水道水の供給」の順。
- 満足度が最も低い項目は「子どもの遊び場づくり」。次いで「鉄道・バスなどの利便性の向上」、「救急・夜間・休日医療体制の確保」、「地域商店の魅力づくり」の順。

宇美町の各環境について、どの程度満足しているかを把握するため、各分野にわたる55項目を設定し、項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらいました。その結果を、加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、満足度評価が最も高い項目は「図書館・学校図書館の充実」（2.42点）で、以下「うみ・みらい館（図書館）の活用」（2.38点）、「安全でおいしい水道水の供給」（1.75点）、「下水道・浄化槽の整備」（1.72点）、「子どもの読書支援」（1.70点）、「ごみの減量・リサイクルの推進」（1.44点）、「歴史的遺産の保護」（1.31点）、「中央公民館・自治公民館の活用」（1.22点）、「育児相談などの子育て支援」（0.94点）、「小中学校の施設整備・改修」（0.89点）などの順となっています。一方、満足度評価が低い項目をみると、「子どもの遊び場づくり」（-2.16点）、「鉄道・バスなどの利便性の向上」（-1.60点）、「救急・夜間・休日医療体制の確保」（-1.36点）、「地域商店の魅力づくり」（-1.05点）、「観光資源の掘り起こし」（-1.03点）、「主要幹線道路の整備」（-0.98点）、「障がい者にやさしい環境整備」（-0.70点）、「防犯灯設置などの防犯対策」・「身近な生活道路・歩道の整備」（同点-0.68点）、「介護予防事業の推進」（-0.46点）と続いています。総合すると、満足度がプラス評価の項目が34項目、マイナス評価の項目が21項目となっています。〔図表7参照〕

また、これを居住地区で見ると、以下のとおりとなっています。

宇美小学校区

満足度の上位3項目は第1位が「図書館・学校図書館の充実」(2.14点)、第2位が「うみ・みらい館(図書館)の活用」(1.90点)、第3位が「子どもの読書支援」(1.88点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「子どもの遊び場づくり」(-2.40点)、第2位が「救急・夜間・休日医療体制の確保」(-1.81点)、第3位が「通学路の確保・点検」(-1.18点)の順となっています。

設定した55項目のうちプラス評価の項目は31項目、中間点の項目が2項目、マイナス評価の項目は22でした。[図表8参照]

宇美東小学校区

満足度の上位3項目は第1位が「安全でおいしい水道水の供給」(2.50点)、第2位が「うみ・みらい館(図書館)の活用」(2.20点)、第3位が「図書館・学校図書館の充実」(2.07点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」(-3.14点)、第2位が「子どもの遊び場づくり」(-2.26点)、第3位が「救急・夜間・休日医療体制の確保」(-1.95点)の順となっています。

設定した55項目のうちプラス評価の項目は28項目、中間点の項目が2項目、マイナス評価の項目は25でした。[図表8参照]

原田小学校区

満足度の上位3項目は第1位が「うみ・みらい館(図書館)の活用」(2.59点)、第2位が「図書館・学校図書館の充実」(2.14点)、第3位が「子どもの読書支援」(1.70点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」(-2.50点)、第2位が「救急・夜間・休日医療体制の確保」(-1.39点)、第3位が「地域商店の魅力づくり」(-1.34点)の順となっています。

設定した55項目のうちプラス評価の項目は34項目、マイナス評価の項目は21でした。[図表8参照]

桜原小学校区

満足度の上位3項目は第1位が「図書館・学校図書館の充実」(3.54点)、第2位が「うみ・みらい館(図書館)の活用」(3.25点)、第3位が「下水道・浄化槽の整備」(2.83点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「子どもの遊び場づくり」(-2.85点)、第2位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」(-1.91点)、第3位が「観光資源の掘り起こし」(-1.33点)の順となっています。

設定した55項目のうちプラス評価の項目は30項目、中間点の項目が8項目、マイナス評価の項目は17でした。[図表8参照]

井野小学校区

満足度の上位3項目は第1位が「図書館・学校図書館の充実」(2.44点)、第2位が「安全でおいしい水道水の供給」(2.29点)、第3位が「うみ・みらい館(図書館)の活用」(1.85点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「子どもの遊び場づくり」(-2.78点)、第2位が「地域商店の魅力づくり」(-1.70点)、第3位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」(-1.35点)の順となっています。

設定した55項目のうちプラス評価の項目は28項目、中間点の項目が1項目、マイナス評価の項目は26でした。[図表8参照]

※加重平均値の算出方法

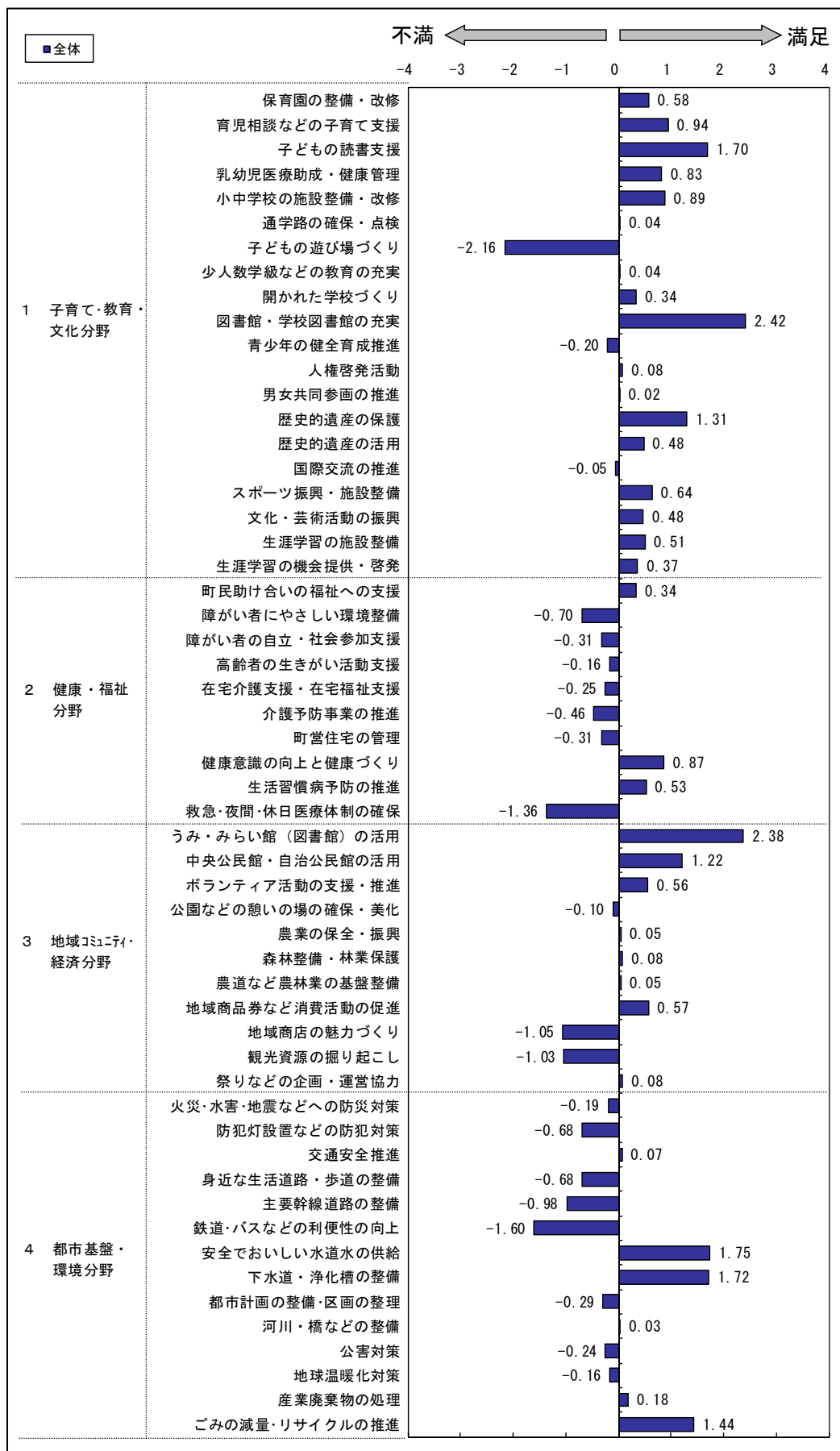
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「ふつう」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{l} \text{「満足」、「やや満足」、「ふ} \\ \text{つう」、「やや不満」、「不満} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right)$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点~-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表7 まちの各環境に関する満足度（全体）

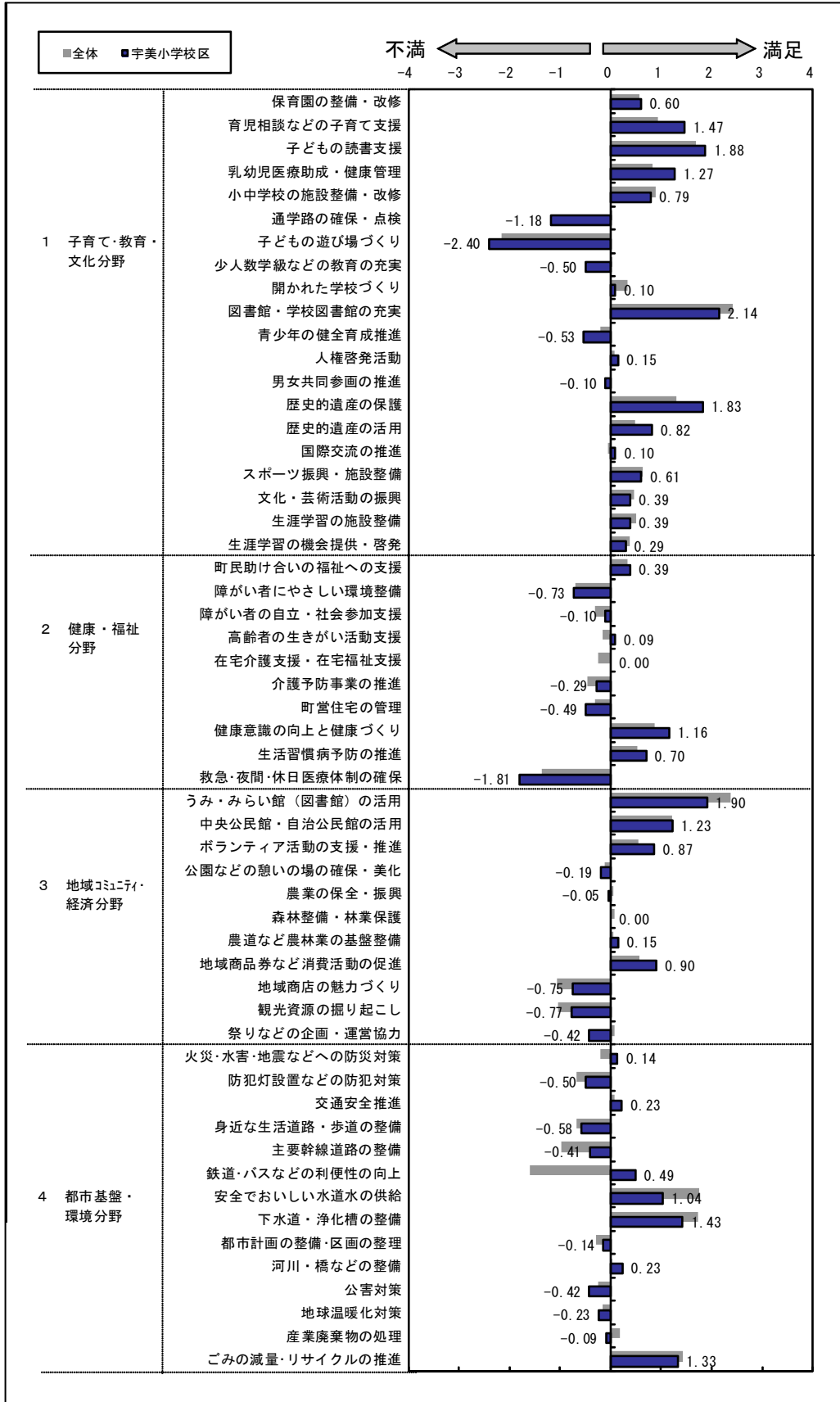
（単位：評価点）



図表8 まちの各環境に関する満足度（居住地区）

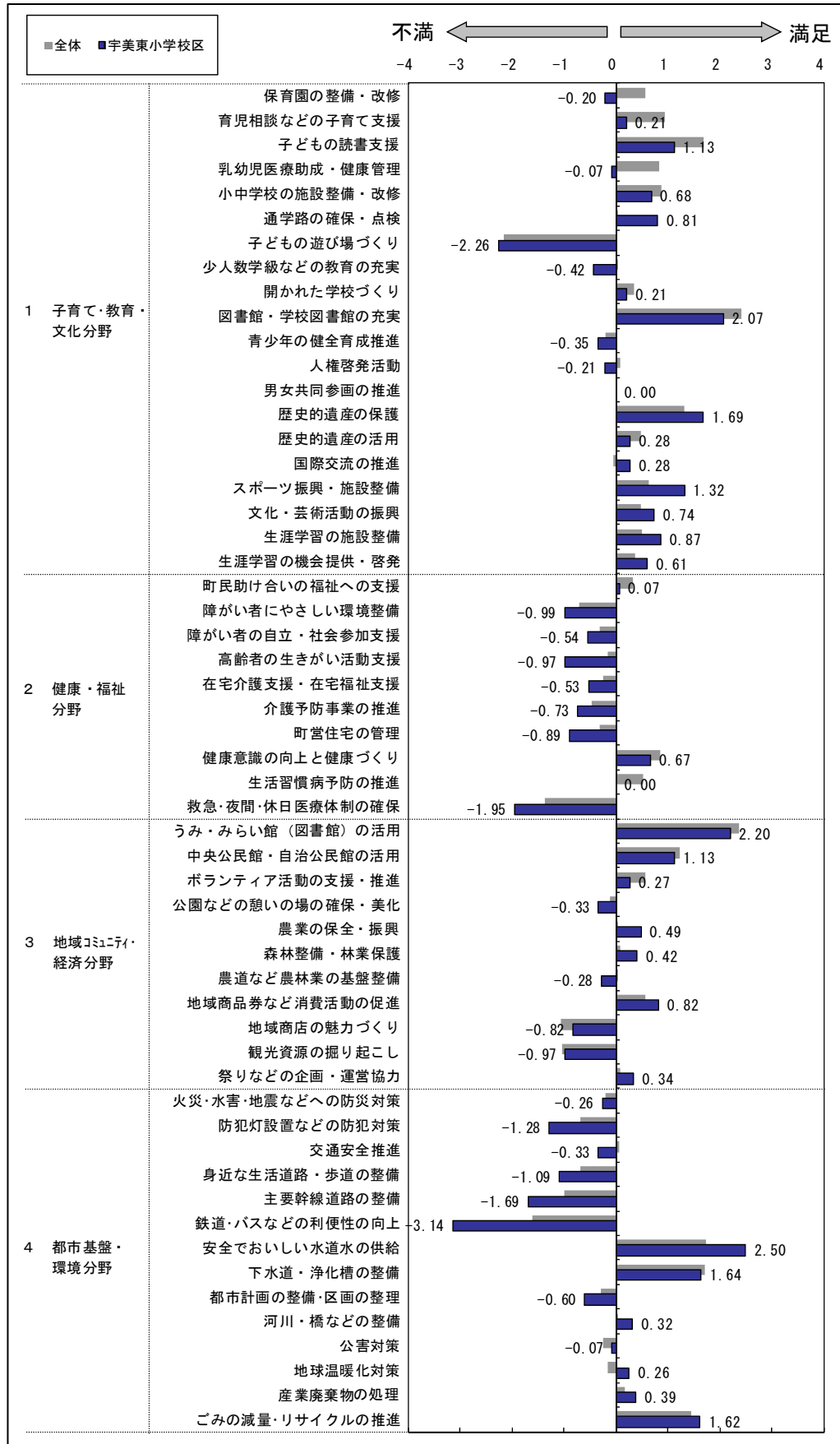
宇美小学校区

（単位：評価点）



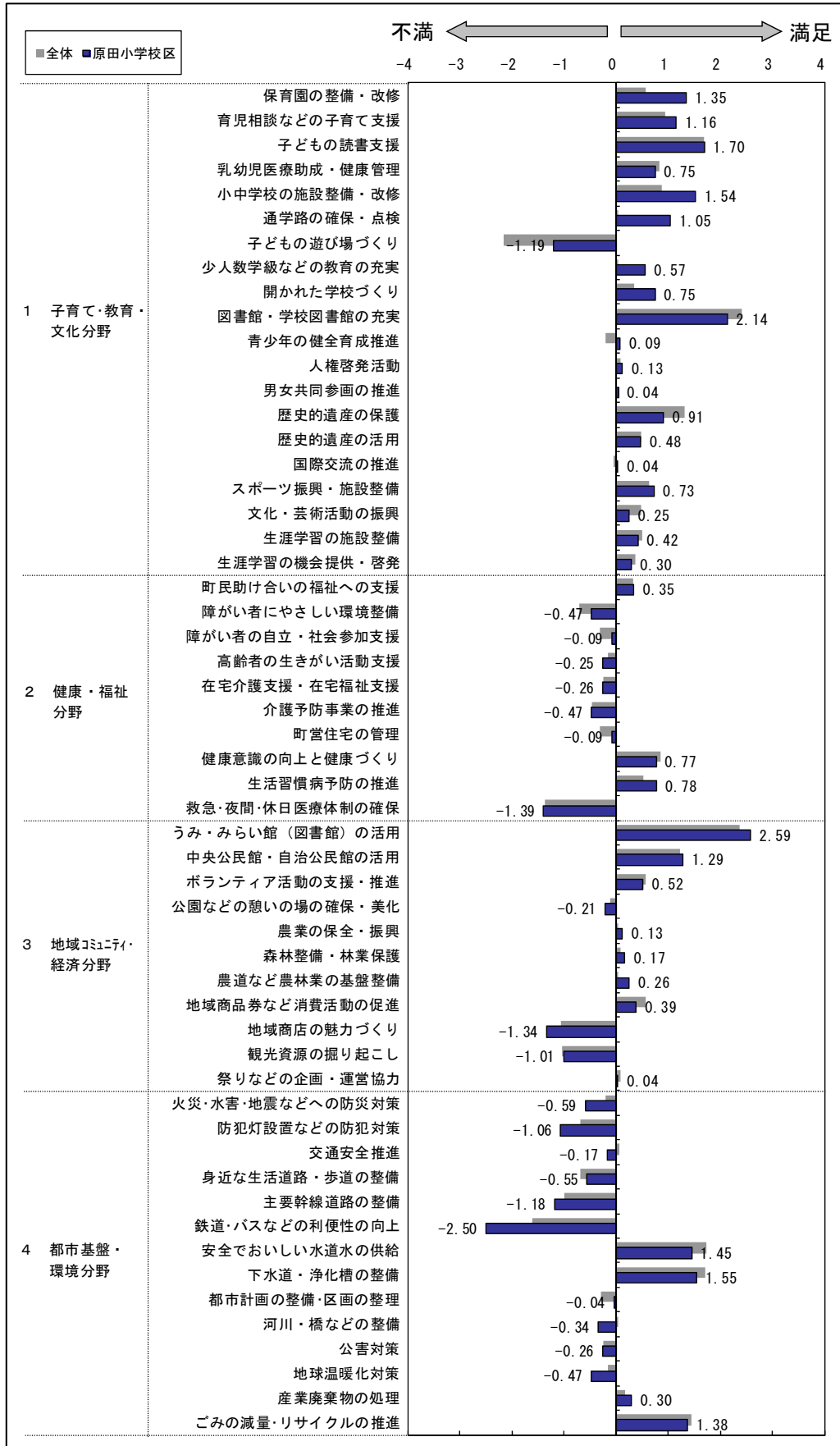
宇美東小学校区

(単位：評価点)



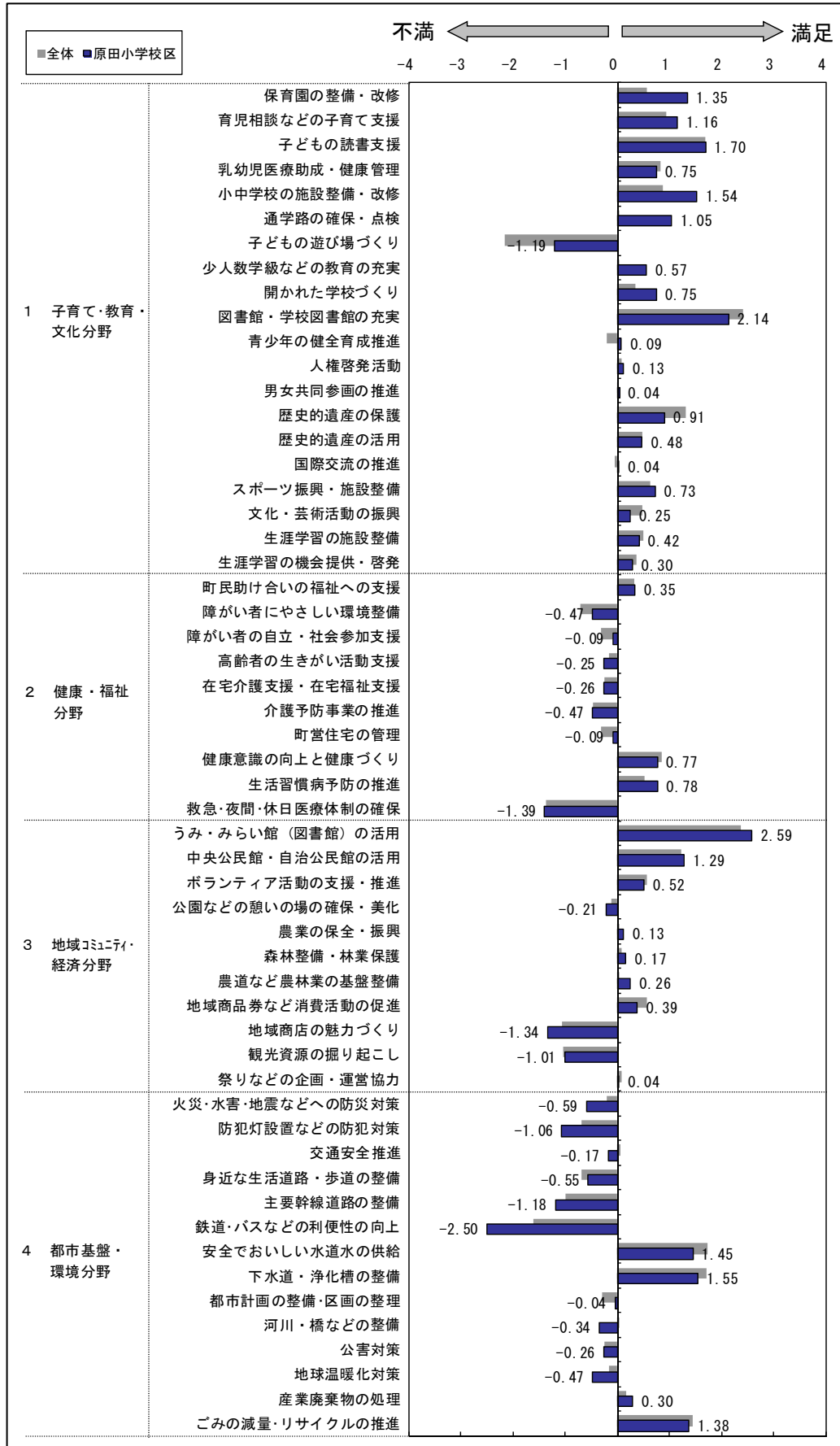
原田小学校区

(単位：評価点)



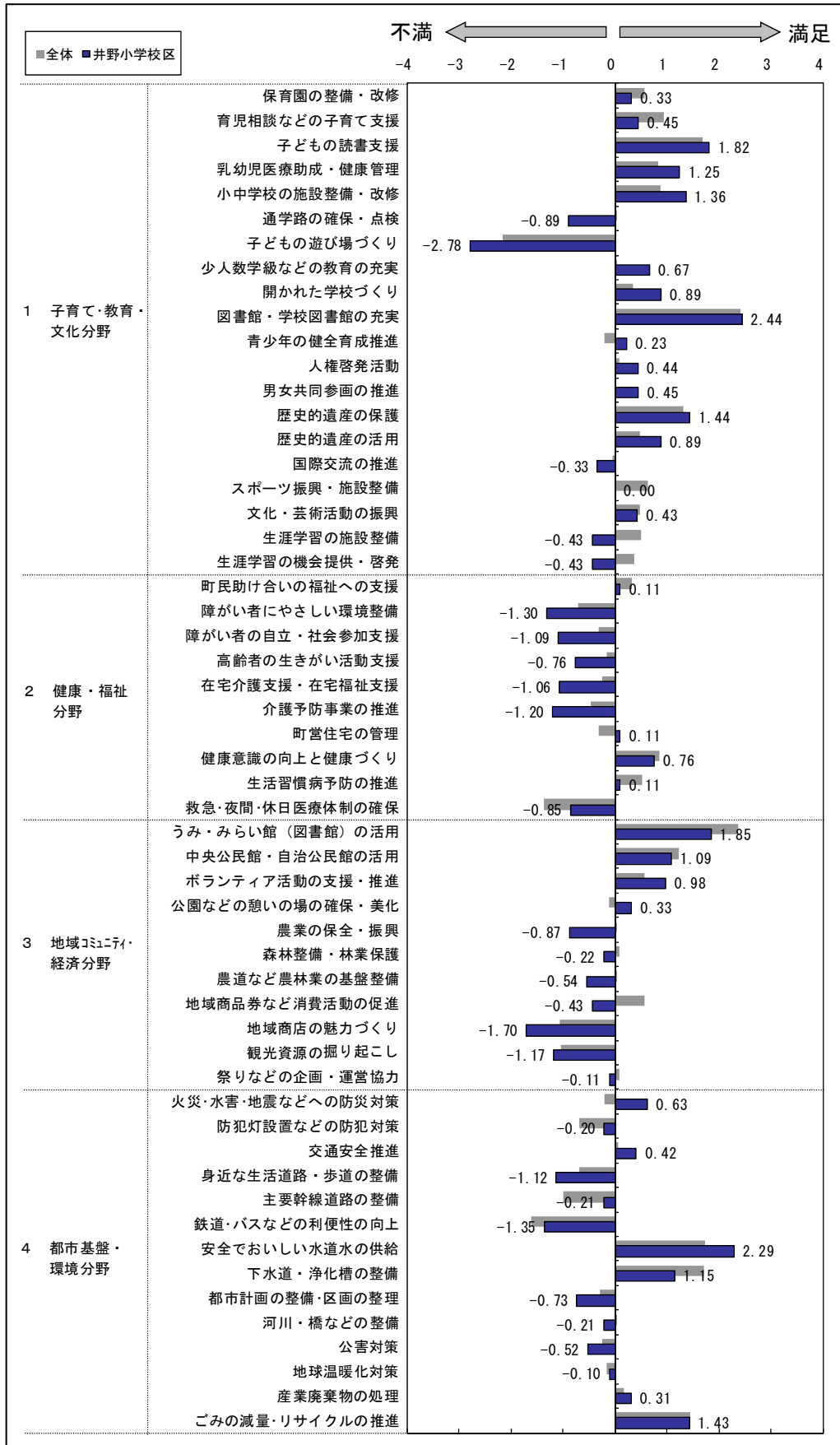
桜原小学校区

(単位：評価点)



井野小学校区

(単位：評価点)



(2) まちの各環境に関する重要度

問5 宇美町では、これまで、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。
(2) 重要度 あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視していますか。



- 重要度が最も高い項目は「安全でおいしい水道水の供給」。次いで「救急・夜間・休日医療体制の確保」、「鉄道・バスなどの利便性の向上」、「火災・水害・地震などへの防災対策」、「防犯灯設置などの防犯対策」の順。

宇美町の各環境について、どの程度重視しているかを把握するため、55 項目について、「重視している」、「やや重視している」、「どちらともいえない」、「あまり重視していない」、「重視していない」の5段階で評価してもらいました。その結果を、加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、重要度評価が最も高い項目は「安全でおいしい水道水の供給」（6.38点）となっており、次いで「救急・夜間・休日医療体制の確保」（5.74点）、「鉄道・バスなどの利便性の向上」（5.72点）が続き、以下、「火災・水害・地震などへの防災対策」（5.71点）、「防犯灯設置などの防犯対策」（5.61点）、「身近な生活道路・歩道の整備」（5.60点）、「下水道・浄化槽の整備」（5.36点）、「交通安全推進」（5.18点）、「ごみの減量・リサイクルの推進」（4.87点）、「通学路の確保・点検」（4.82点）などの順となっています。〔図表9参照〕

また、これを居住地区で見ると、以下のとおりとなっています。

宇美小学校区

重要度の上位3項目は第1位が「安全でおいしい水道水の供給」（6.71点）、第2位が「身近な生活道路・歩道の整備」（6.18点）、第3位が「防犯灯設置などの防犯対策」（6.10点）の順となっています。〔図表10参照〕

宇美東小学校区

重要度の上位3項目は第1位が「火災・水害・地震などへの防災対策」（6.13点）、第2位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」（5.92点）、第3位が「安全でおいしい水道水の供給」（5.89点）の順となっています。〔図表10参照〕

原田小学校区

重要度の上位3項目は第1位が「安全でおいしい水道水の供給」（6.47点）、第2位が「救急・夜間・休日医療体制の確保」（6.24点）、第3位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」（6.23点）の順となっています。〔図表10参照〕

桜原小学校区

重要度の上位3項目は第1位が「安全でおいしい水道水の供給」(6.08点)、第2位が「下水道・浄化槽の整備」(5.37点)、第3位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」(5.32点)の順となっています。[図表10参照]

井野小学校区

重要度の上位3項目は第1位が「安全でおいしい水道水の供給」(7.08点)、第2位が「火災・水害・地震などへの防災対策」及び「鉄道・バスなどの利便性の向上」(同点6.88点)の順となっています。[図表10参照]

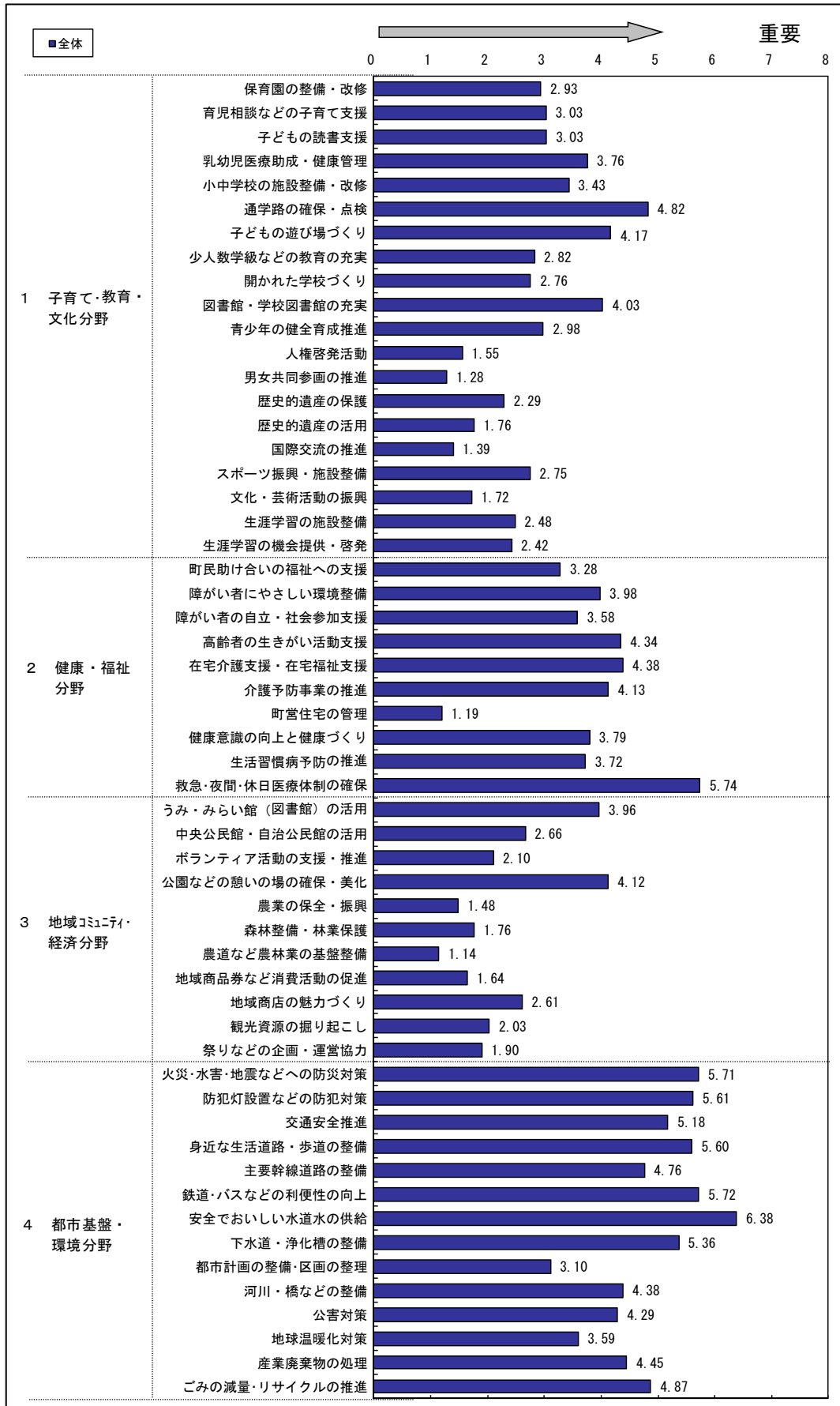
※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重要」の回答者数} \times 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや重要」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ + \\ \text{「ふつう」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「あまり重要ではない」の回答者数} \times -5 \text{点} \\ + \\ \text{「重要ではない」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重要」、「やや重要」、「ふ} \\ \text{つう」、「あまり重要ではな} \\ \text{い」、「重要ではない」の回} \\ \text{答者数} \end{array}}$$

図表9 まちの各環境に関する重要度（全体）

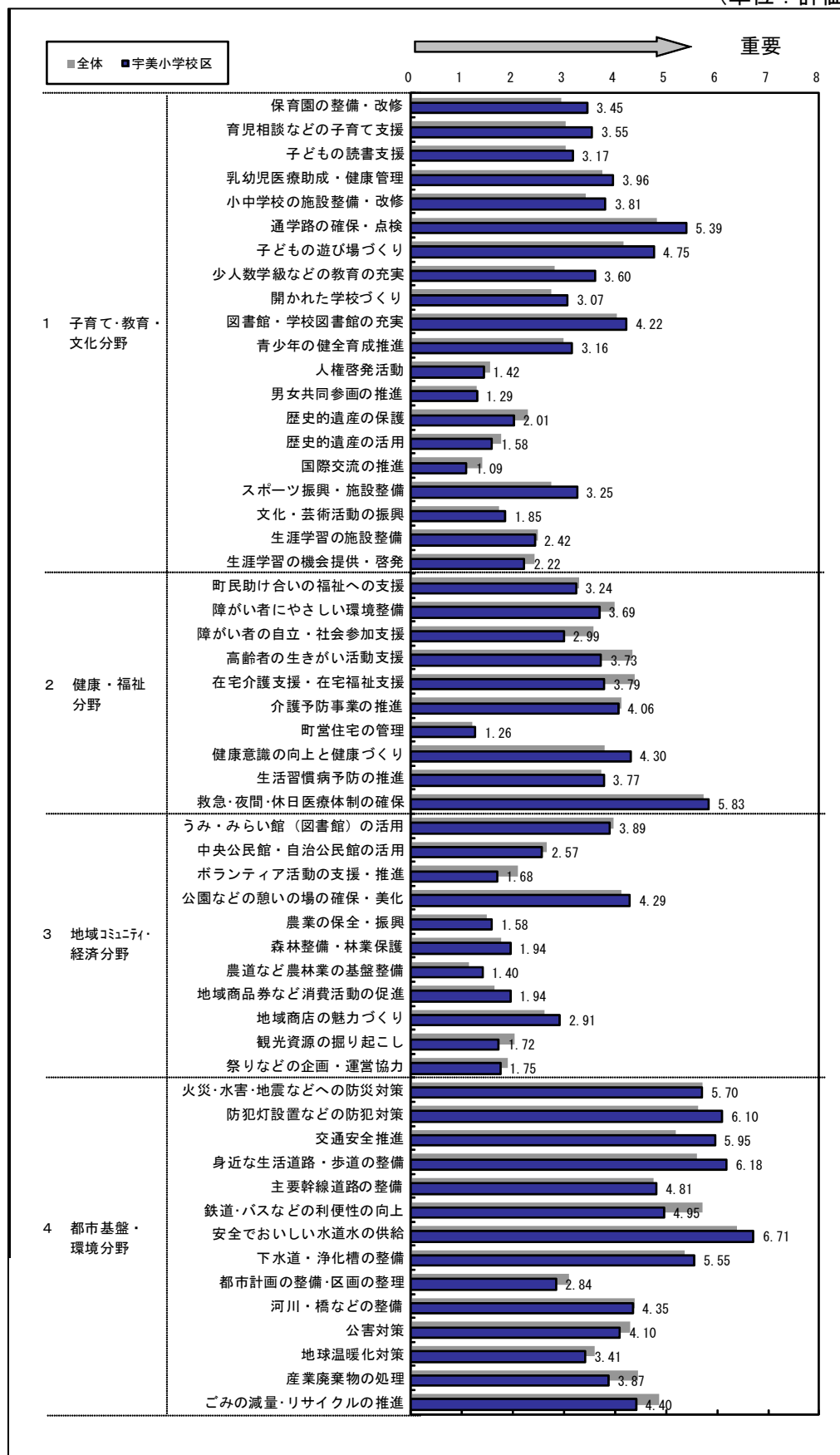
（単位：評価点）



図表 10 まちの各環境に関する重要度（居住地区）

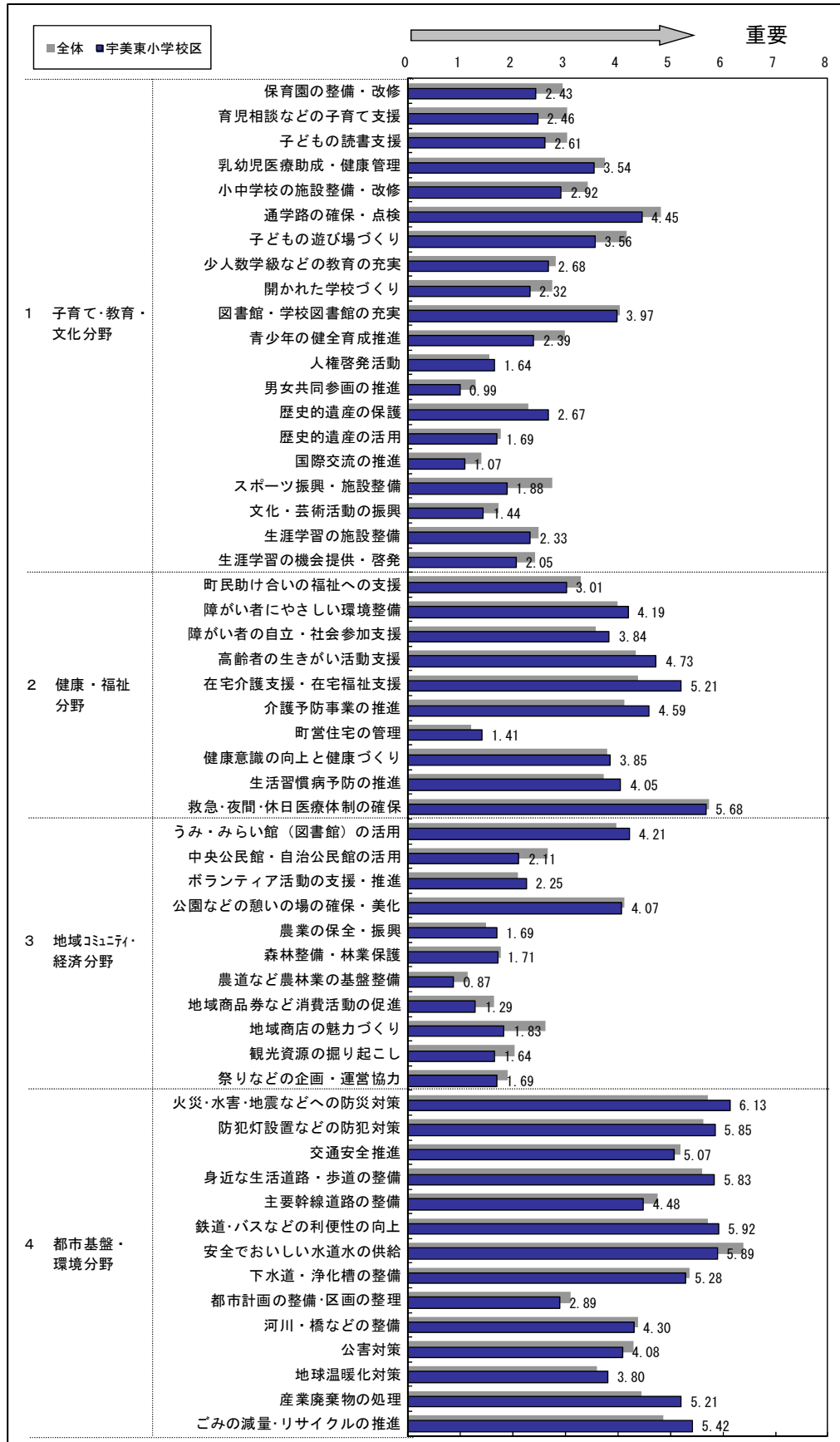
宇美小学校区

（単位：評価点）



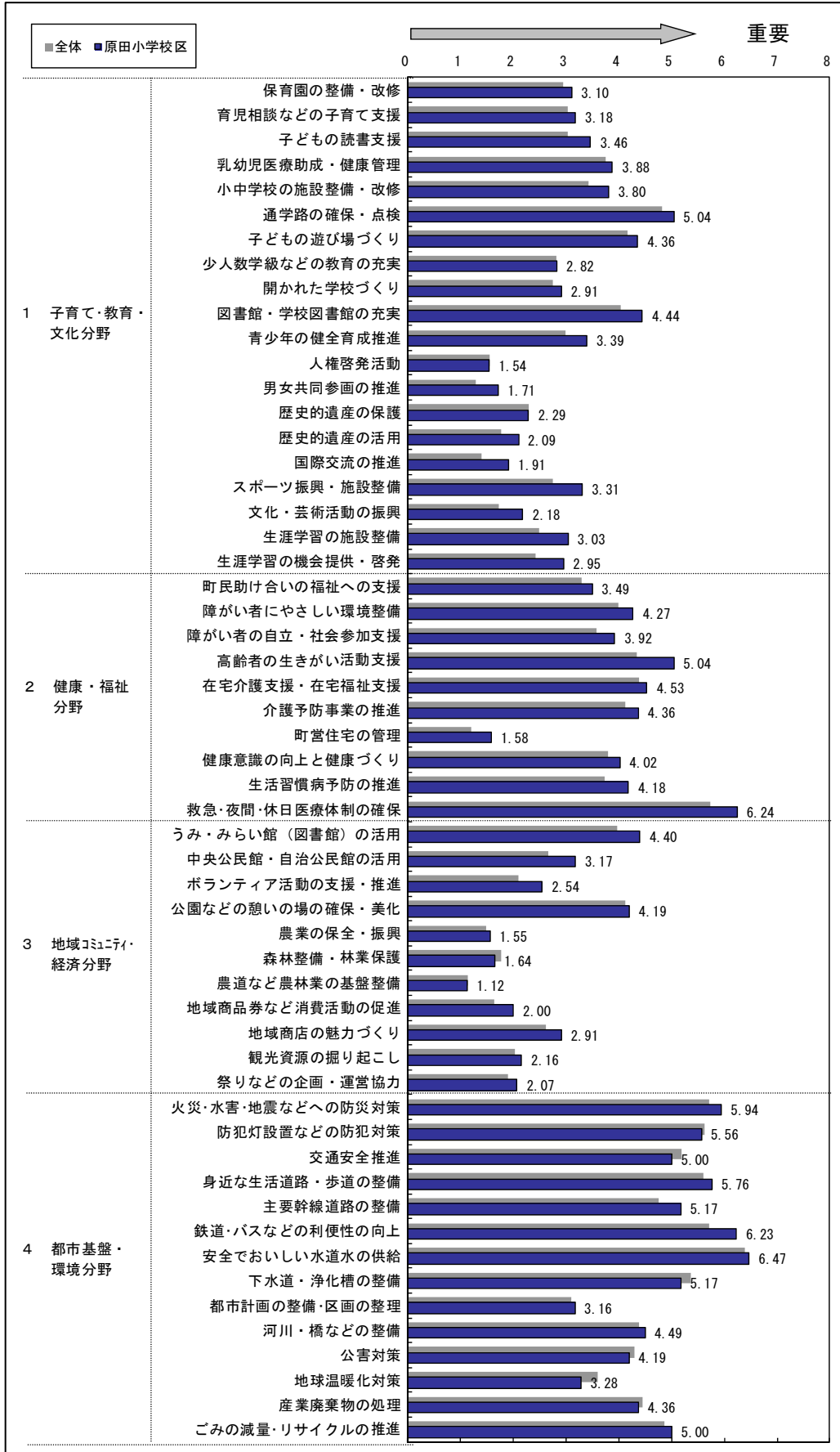
宇美東小学校区

(単位：評価点)



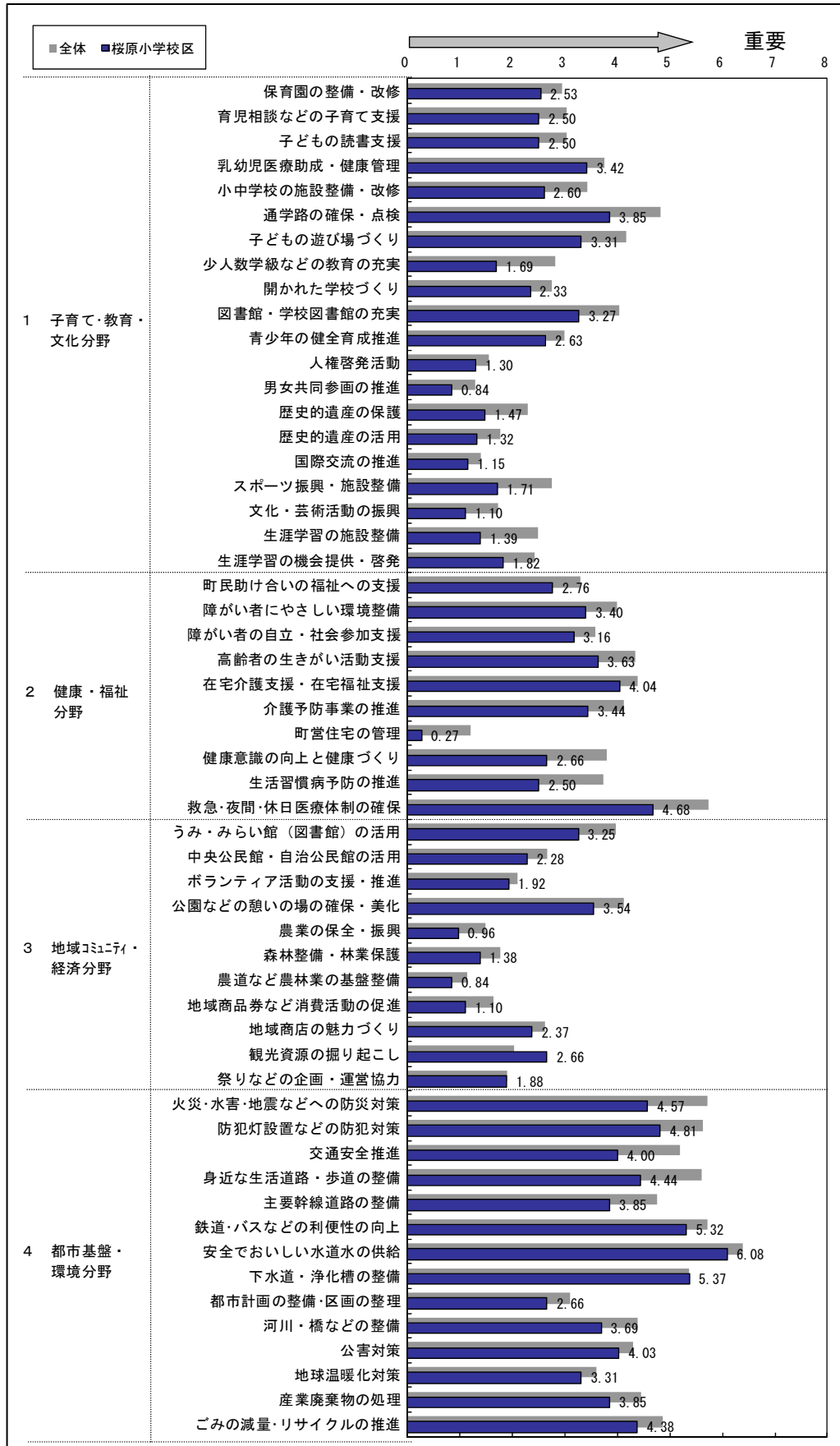
原田小学校区

(単位：評価点)



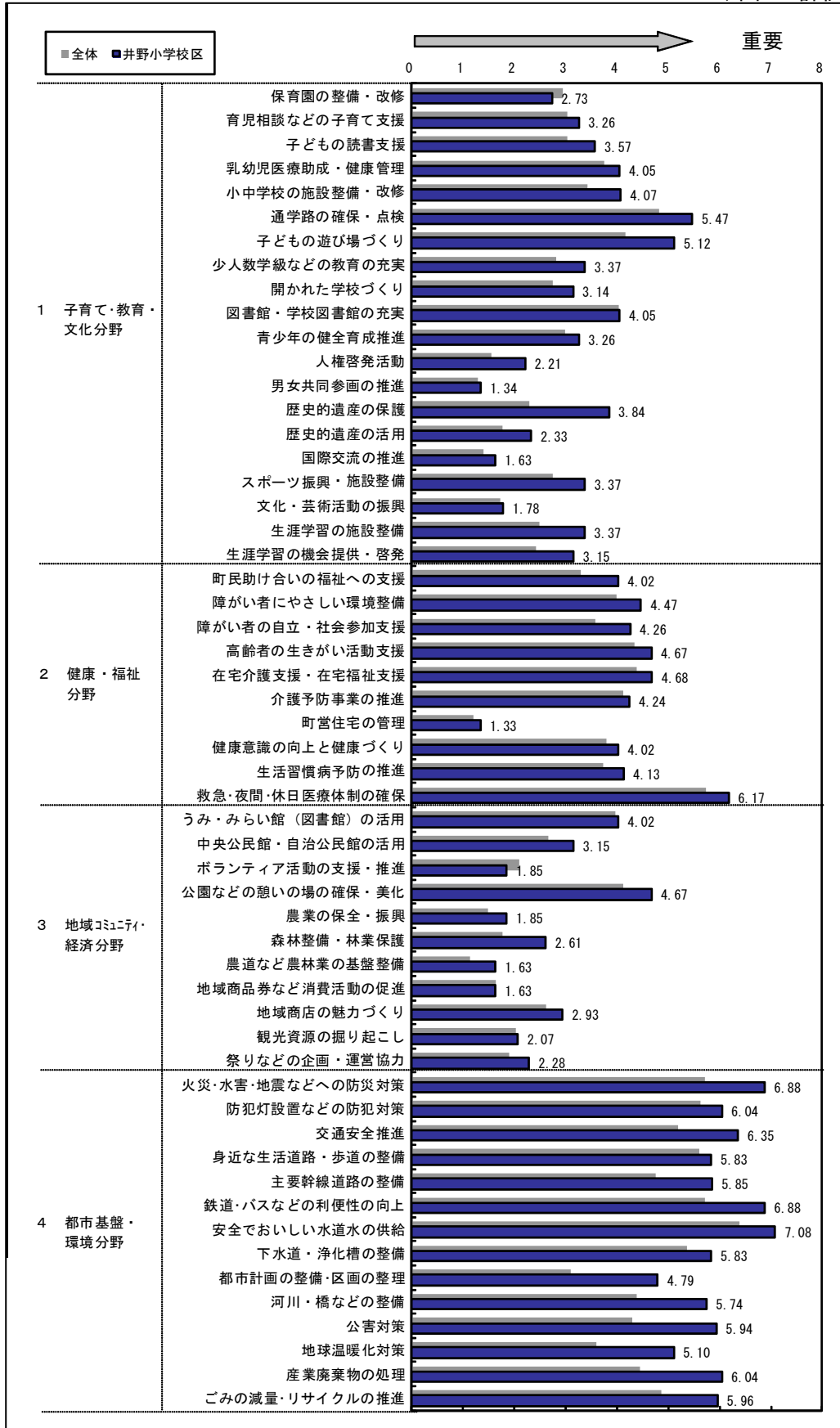
桜原小学校区

(単位：評価点)



井野小学校区

(単位：評価点)



(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

- 優先度が最も高い項目は「鉄道・バスなどの利便性の向上」、次いで「救急・夜間・休日医療体制の確保」、「子どもの遊び場づくり」の順。

これまでみてきた満足度と重要度から、さらに町の現状評価や行政ニーズを把握するため、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図からの数量化〔後述参照〕による分析で優先度（評価点：最高点 42.43 点、中間点 0 点、最低点 -42.43 点）を算出しました。

この結果をみると優先度は、「鉄道・バスなどの利便性の向上」（24.36 点）が第 1 位となっており、次いで「救急・夜間・休日医療体制の確保」（23.75 点）、「子どもの遊び場づくり」（16.76 点）が続き、以下、「防犯灯設置などの防犯対策」（15.78 点）、「身近な生活道路・歩道の整備」（15.68 点）、「主要幹線道路の整備」（14.69 点）、「火災・水害・地震などへの防災対策」（11.28 点）、「障がい者にやさしい環境整備」（7.96 点）、「介護予防事業の推進」（7.88 点）、「在宅介護支援・在宅福祉支援」（7.53 点）の順となっています。〔図表 11・12 参照〕

また、これを居住地区でみると、以下のとおりとなっています。

宇美小学校区

優先度の上位 3 項目は第 1 位が「救急・夜間・休日医療体制の確保」（25.02 点）、第 2 位が「子どもの遊び場づくり」（21.09 点）、第 3 位が「通学路の確保・点検」（19.41 点）の順となっています。〔図表 13・14 参照〕

宇美東小学校区

優先度の上位 3 項目は第 1 位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」（28.10 点）、第 2 位が「救急・夜間・休日医療体制の確保」（22.45 点）、第 3 位が「防犯灯設置などの防犯対策」（18.63 点）の順となっています。〔図表 15・16 参照〕

原田小学校区

優先度の上位 3 項目は第 1 位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」（29.88 点）、第 2 位が「救急・夜間・休日医療体制の確保」（24.66 点）、第 3 位が「防犯灯設置などの防犯対策」（19.35 点）の順となっています。〔図表 17・18 参照〕

桜原小学校区

優先度の上位 3 項目は第 1 位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」（27.04 点）、第 2

位が「子どもの遊び場づくり」(16.83 点)、第3位が「主要幹線道路の整備」(13.43 点)の順となっています。[図表 19・20 参照]

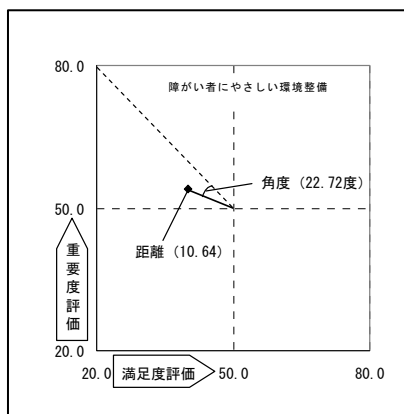
井野小学校区

優先度の上位3項目は第1位が「鉄道・バスなどの利便性の向上」(20.66 点)、第2位が「子どもの遊び場づくり」(18.60 点)、第3位が「身近な生活道路・歩道の整備」(16.14 点)の順となっています。[図表 21・22 参照]

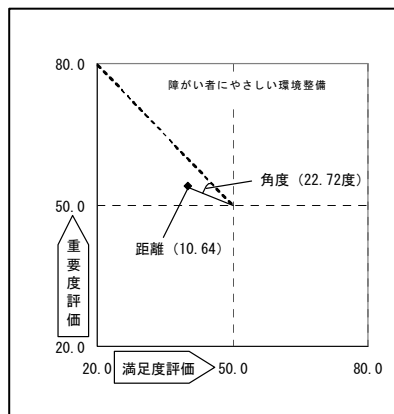
※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「障がい者にやさしい環境整備」→満足度偏差値 40.15…、重要度偏差値 54.03…
- ② ①で算出した偏差値から平均(中心)からの距離を算出する。
例：「障がい者にやさしい環境整備」→ $10.64\dots = \sqrt{(40.15-50)^2 + (54.03-50)^2}$
- ③ 平均(中心)から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均(中心)から各項目への線の角度を求める。
例：「障がい者にやさしい環境整備」→22.72 度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する(指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。)
例：「障がい者にやさしい環境整備」→ $0.7476 = (90-22.72) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均(中心)からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「障がい者にやさしい環境整備」→ $7.96 = 10.64\dots \times 0.7476\dots$

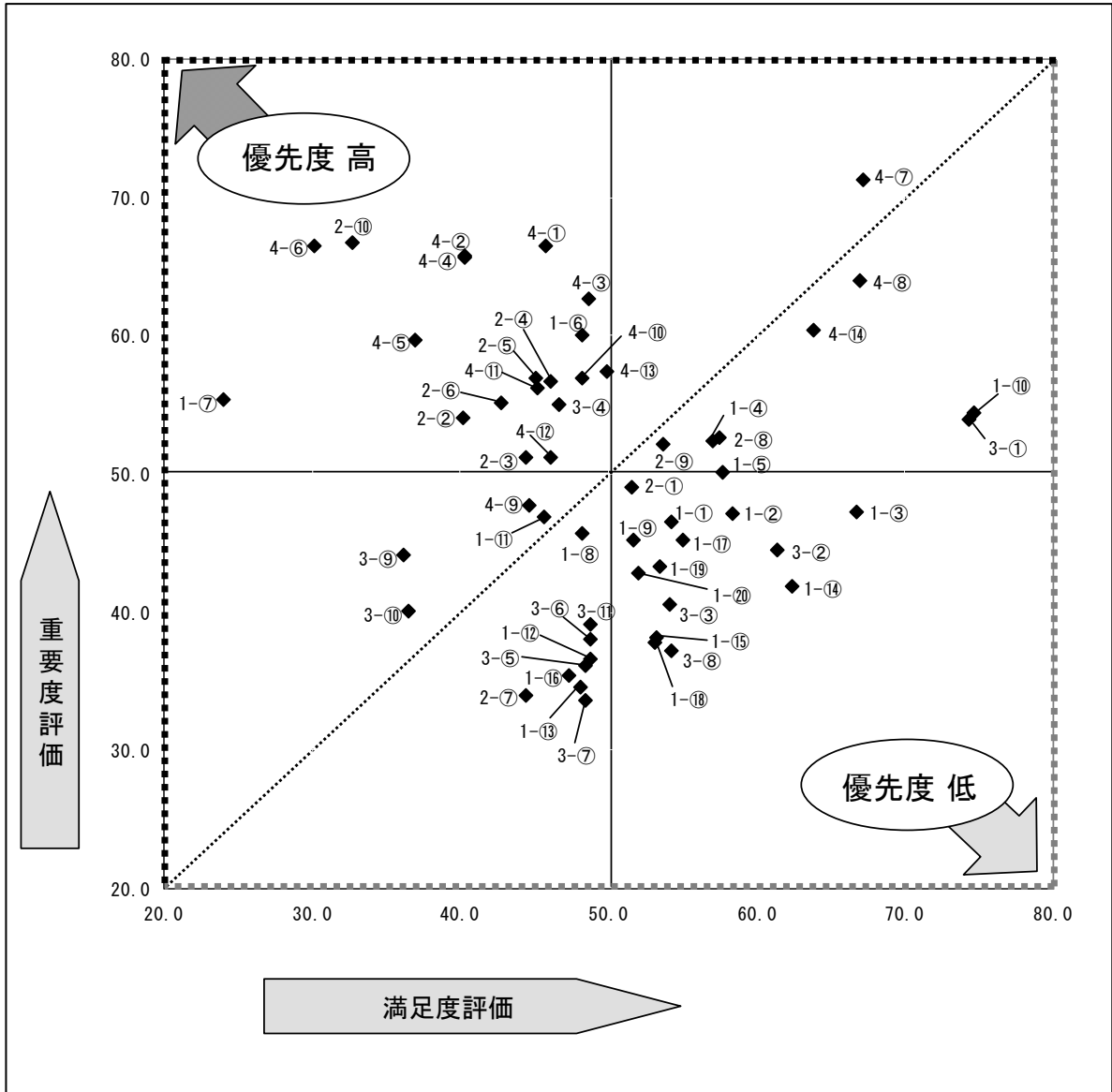
距離・角度



指数の設定



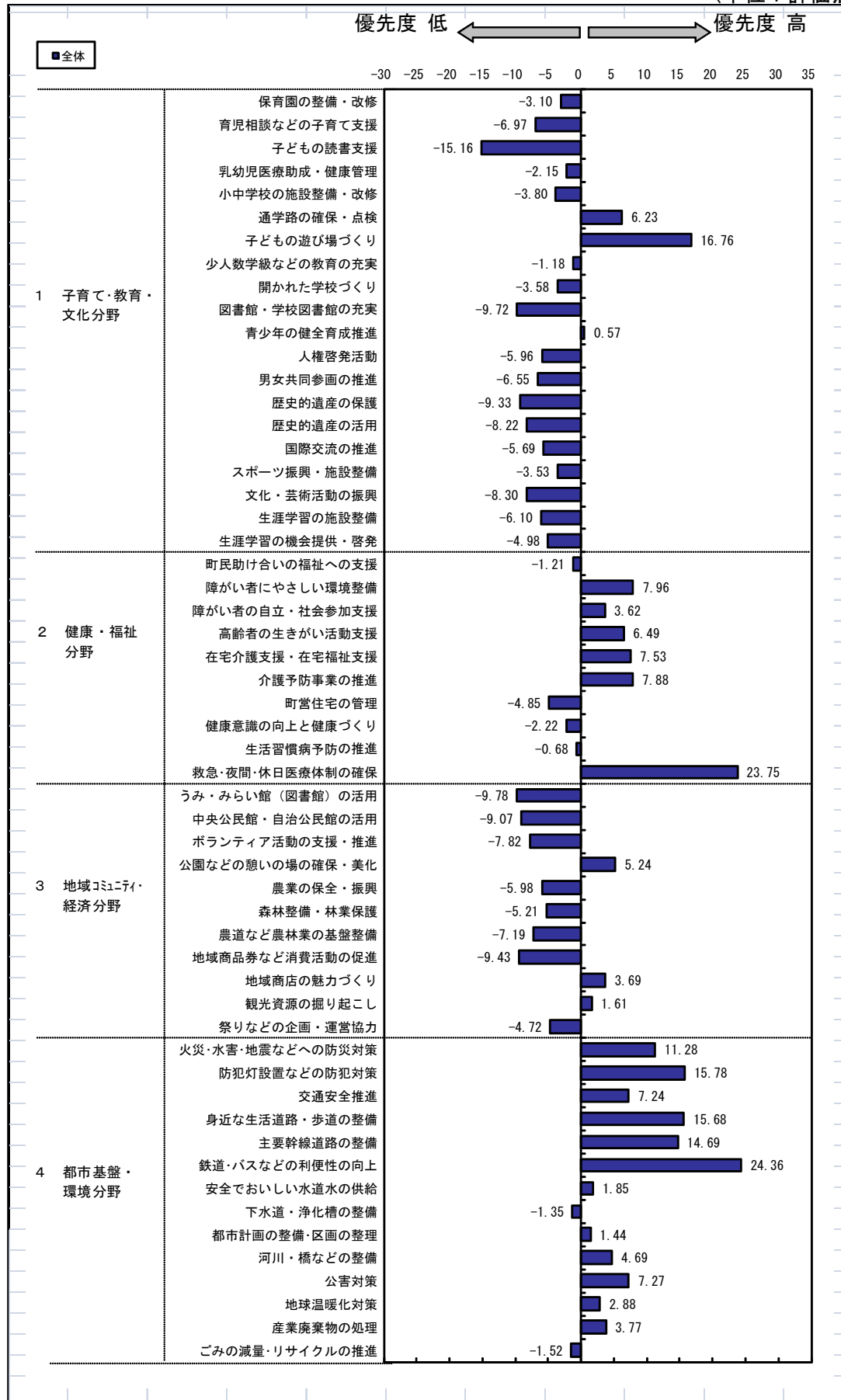
図表 11 満足度と重要度の相関（全体／優先度）



優先度高い		優先度低い	
4-6 鉄道・バスなどの利便性の向上	1-6 通学路の確保・点検	1-3 子どもの読書支援	3-6 森林整備・林業保護
2-10 救急・夜間・休日医療体制の確保	3-4 公園などの憩いの場の確保・美化	3-1 うみ・みらい館（図書館）の活用	1-20 生涯学習の機会提供・啓発
1-7 子どもの遊び場づくり	4-10 河川・橋などの整備	1-10 図書館・学校図書館の充実	2-7 町営住宅の管理
4-2 防犯灯設置などの防犯対策	4-13 産業廃棄物の処理	3-8 地域商品券など消費活動の促進	3-11 祭りなどの企画・運営協力
4-4 身近な生活道路・歩道の整備	3-9 地域商店の魅力づくり	1-14 歴史的遺産の保護	1-5 小中学校の施設整備・改修
4-5 主要幹線道路の整備	2-3 障がい者の自立・社会参加支援	3-2 中央公民館・自治公民館の活用	1-9 開かれた学校づくり
4-1 火災・水害・地震などへの防災対策	4-12 地球温暖化対策	1-18 文化・芸術活動の振興	1-17 スポーツ振興・施設整備
2-2 障がい者にやさしい環境整備	4-7 安全でおいしい水道水の供給	1-15 歴史的遺産の活用	1-1 保育園の整備・改修
2-6 介護予防事業の推進	3-10 観光資源の掘り起こし	3-3 ボランティア活動の支援・推進	2-8 健康意識の向上と健康づくり
2-5 在宅介護支援・在宅福祉支援	4-9 都市計画の整備・区画の整理	3-7 農道など農林業の基盤整備	1-4 乳幼児医療助成・健康管理
4-11 公害対策	1-11 青少年の健全育成推進	1-2 育児相談などの子育て支援	4-14 ごみの減量・リサイクルの推進
4-3 交通安全推進		1-13 男女共同参画の推進	4-8 下水道・浄化槽の整備
2-4 高齢者の生きがい活動支援		1-19 生涯学習の施設整備	2-1 町民助け合いの福祉への支援
		3-5 農業の保全・振興	1-8 少人数学級などの教育の充実
		1-12 人権啓発活動	2-9 生活習慣病予防の推進
		1-16 国際交流の推進	

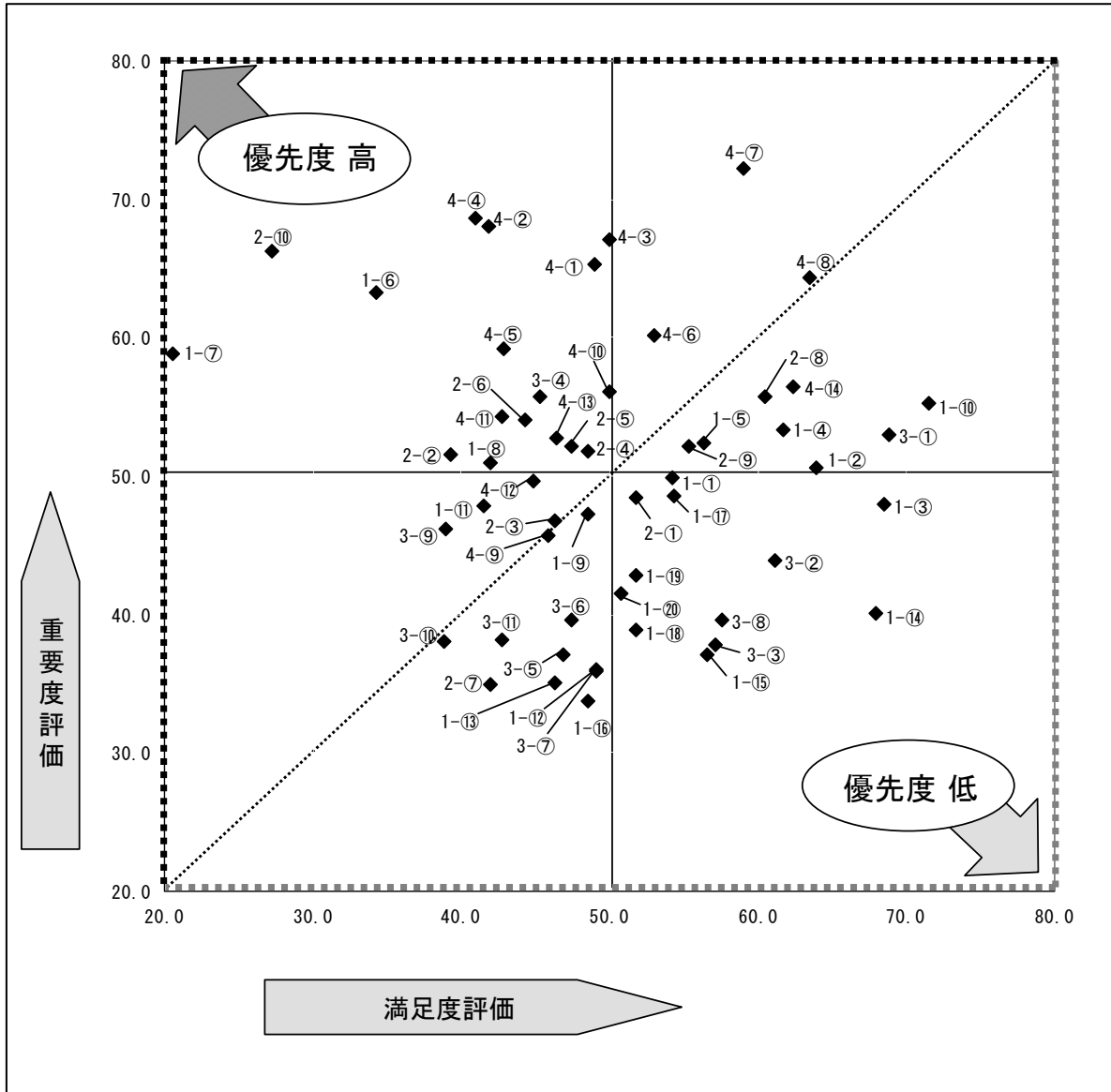
図表 12 満足度と重要度の相関（全体／優先度）

（単位：評価点）



図表 13 満足度と重要度の相関（優先度）

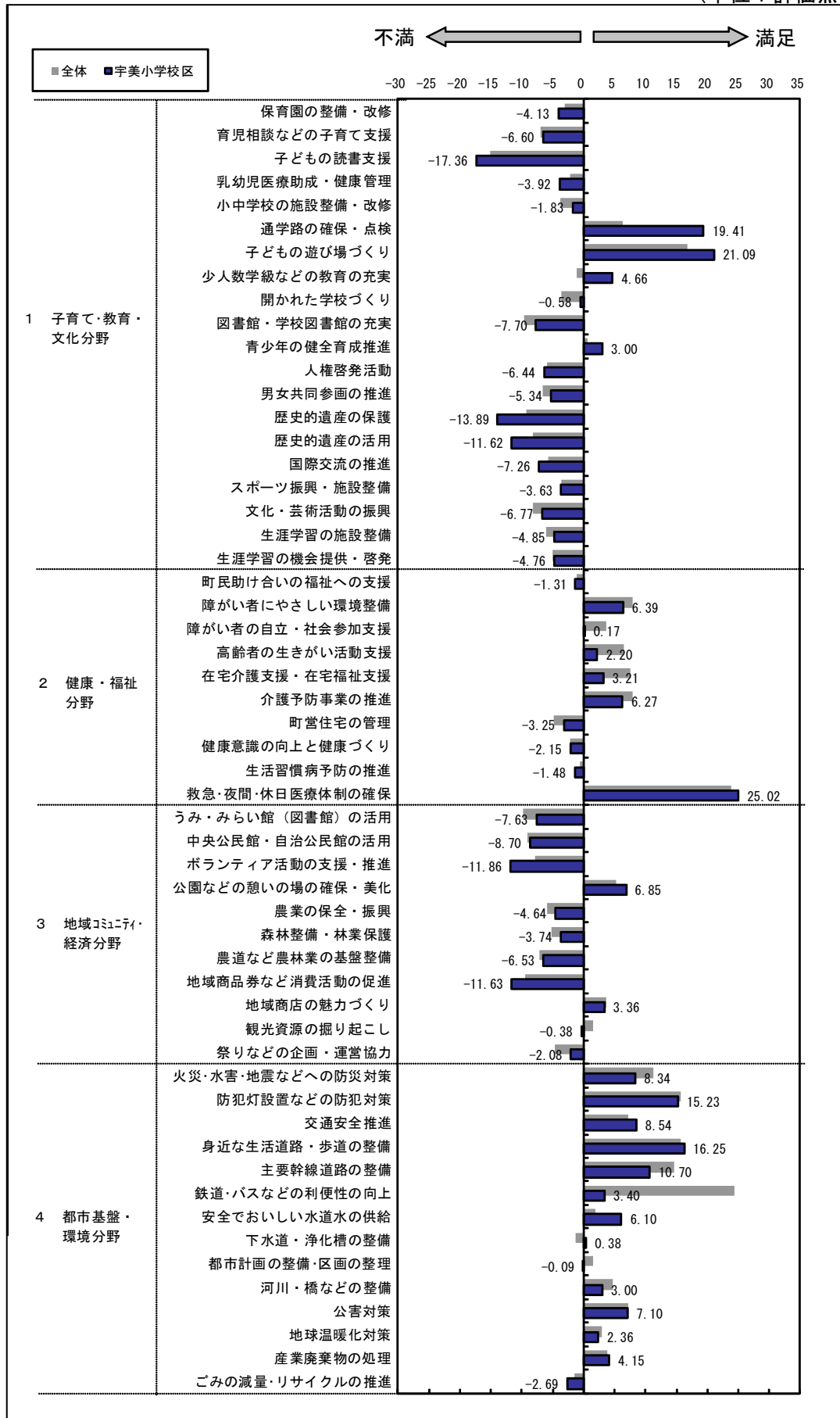
宇美小学校区



優先度高い		優先度低い	
2-10 救急・夜間・休日医療体制の確保	4-7 安全でおいしい水道水の供給	1-3 子どもの読書支援	3-5 農業の保全・振興
1-7 子どもの遊び場づくり	1-8 少人数学級などの教育の充実	1-14 歴史的遺産の保護	1-1 保育園の整備・改修
1-6 通学路の確保・点検	4-13 産業廃棄物の処理	3-3 ボランティア活動の支援・推進	1-4 乳幼児医療助成・健康管理
4-4 身近な生活道路・歩道の整備	4-6 鉄道・バスなどの利便性の向上	3-8 地域商品券など消費活動の促進	3-6 森林整備・林業保護
4-2 防犯灯設置などの防犯対策	3-9 地域商店の魅力づくり	1-15 歴史的遺産の活用	1-17 スポーツ振興・施設整備
4-5 主要幹線道路の整備	2-5 在宅介護支援・在宅福祉支援	3-2 中央公民館・自治公民館の活用	2-7 町営住宅の管理
4-3 交通安全推進	4-10 河川・橋などの整備	1-10 図書館・学校図書館の充実	4-14 ごみの減量・リサイクルの推進
4-1 火災・水害・地震などへの防災対策	1-11 青少年の健全育成推進	3-1 うみ・みらい館（図書館）の活用	2-8 健康意識の向上と健康づくり
4-11 公害対策	4-12 地球温暖化対策	1-16 国際交流の推進	3-11 祭りなどの企画・運営協力
3-4 公園などの憩いの場の確保・美化	2-4 高齢者の生きがい活動支援	1-18 文化・芸術活動の振興	1-5 小中学校の施設整備・改修
2-2 障がい者にやさしい環境整備	4-8 下水道・浄化槽の整備	1-2 育児相談などの子育て支援	2-9 生活習慣病予防の推進
2-6 介護予防事業の推進	2-3 障がい者の自立・社会参加支援	3-7 農道など農林業の基盤整備	2-1 町民助け合いの福祉への支援
		1-17 人権啓発活動	1-9 開かれた学校づくり
		1-13 男女共同参画の推進	3-10 観光資源の掘り起こし
		1-19 生涯学習の施設整備	4-9 都市計画の整備・区画の整理
		1-20 生涯学習の機会提供・啓発	

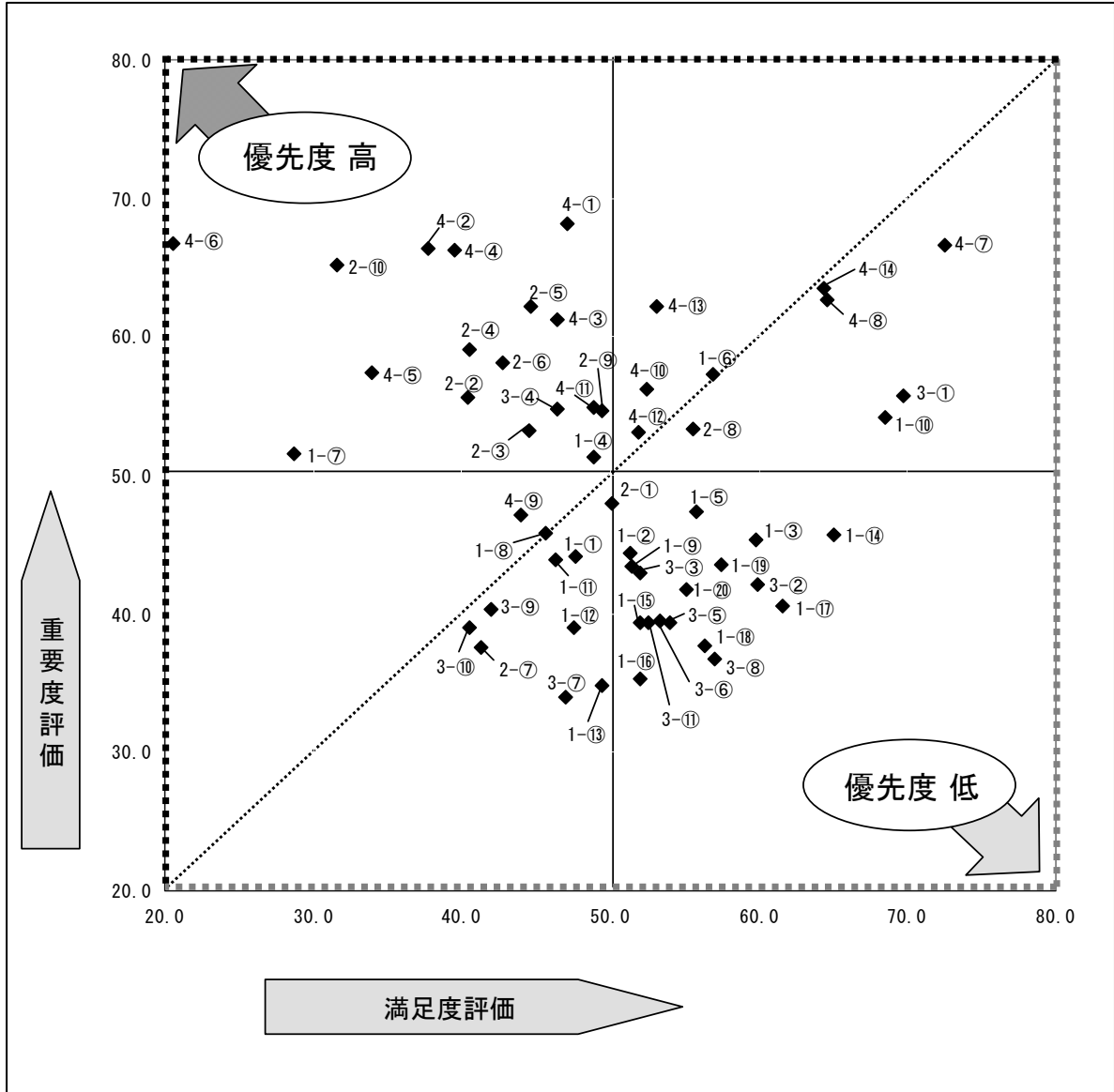
図表 14 満足度と重要度の相関（優先度）

(単位：評価点)



図表 15 満足度と重要度の相関（優先度）

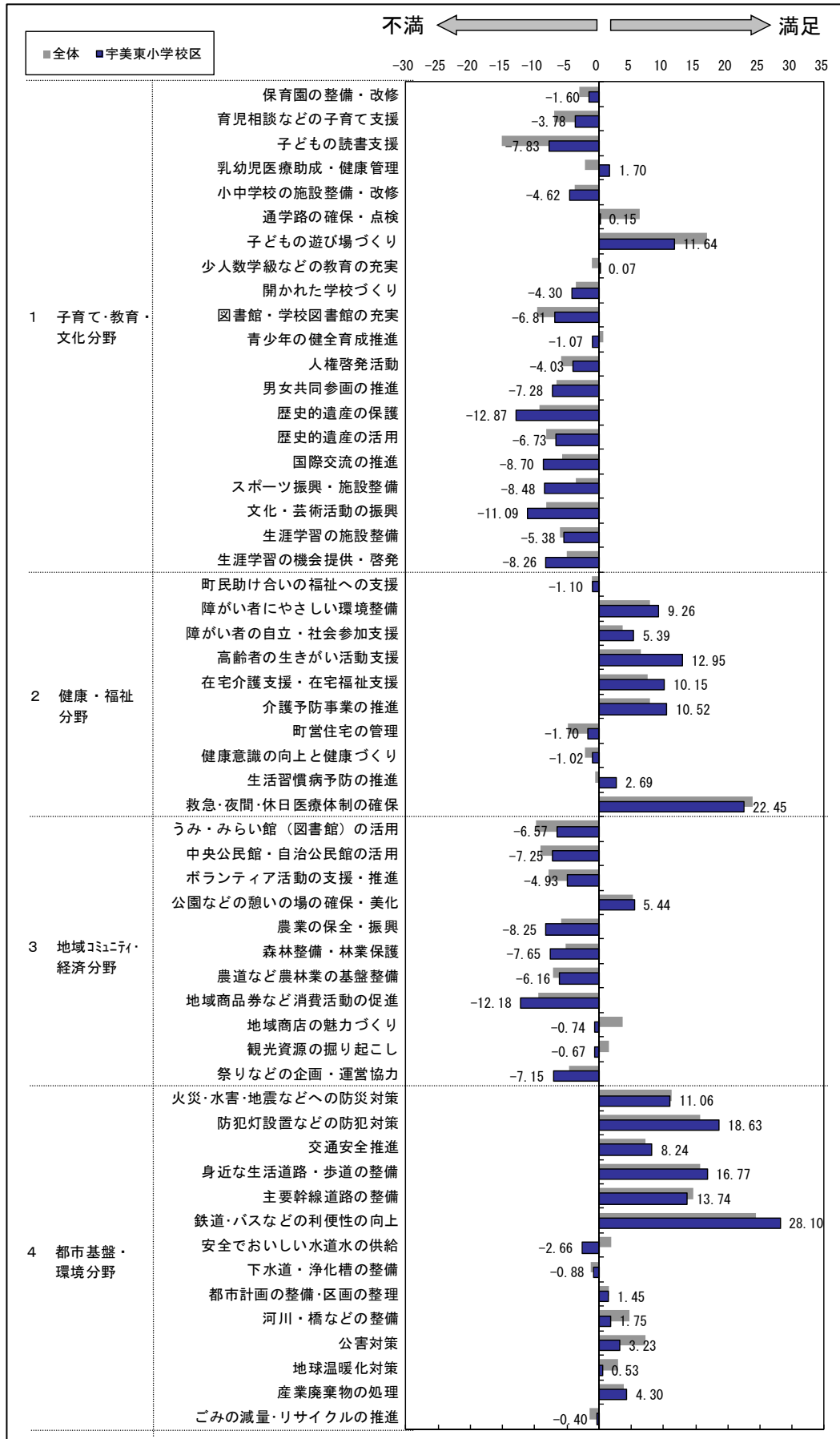
宇美東小学校区



優先度高い		優先度低い	
4-6 鉄道・バスなどの利便性の向上	3-4 公園などの憩いの場の確保・美化	1-14 歴史的遺産の保護	1-19 生涯学習の施設整備
2-10 救急・夜間・休日医療体制の確保	2-3 障がい者の自立・社会参加支援	3-8 地域商品券など消費活動の促進	3-3 ボランティア活動の支援・推進
4-2 防犯灯設置などの防犯対策	4-13 産業廃棄物の処理	1-18 文化・芸術活動の振興	1-5 小中学校の施設整備・改修
4-4 身近な生活道路・歩道の整備	4-11 公害対策	1-16 国際交流の推進	1-9 開かれた学校づくり
4-5 主要幹線道路の整備	2-9 生活習慣病予防の推進	1-17 スポーツ振興・施設整備	1-12 人権啓発活動
2-4 高齢者の生きがい活動支援	4-10 河川・橋などの整備	1-20 生涯学習の機会提供・啓発	1-2 育児相談などの子育て支援
1-7 子どもの遊び場づくり	1-4 乳幼児医療助成・健康管理	3-5 農業の保全・振興	4-7 安全でおいしい水道水の供給
4-1 火災・水害・地震などへの防災対策	4-9 都市計画の整備・区画の整理	1-3 子どもの読書支援	2-7 町営住宅の管理
2-6 介護予防事業の推進	4-12 地球温暖化対策	3-6 森林整備・林業保護	1-1 保育園の整備・改修
2-5 在宅介護支援・在宅福祉支援	1-6 通学路の確保・点検	1-13 男女共同参画の推進	2-1 町民助け合いの福祉への支援
2-2 障がい者にやさしい環境整備	1-8 少人数学級などの教育の充実	3-2 中央公民館・自治公民館の活用	1-11 青少年の健全育成推進
4-3 交通安全推進		3-11 祭りなどの企画・運営協力	2-8 健康意識の向上と健康づくり
		1-10 図書館・学校図書館の充実	4-8 下水道・浄化槽の整備
		1-15 歴史的遺産の活用	3-9 地域商店の魅力づくり
		3-1 うみ・みらい館（図書館）の活用	3-10 観光資源の掘り起こし
		3-7 農道など農林業の基盤整備	4-14 ごみの減量・リサイクルの推進

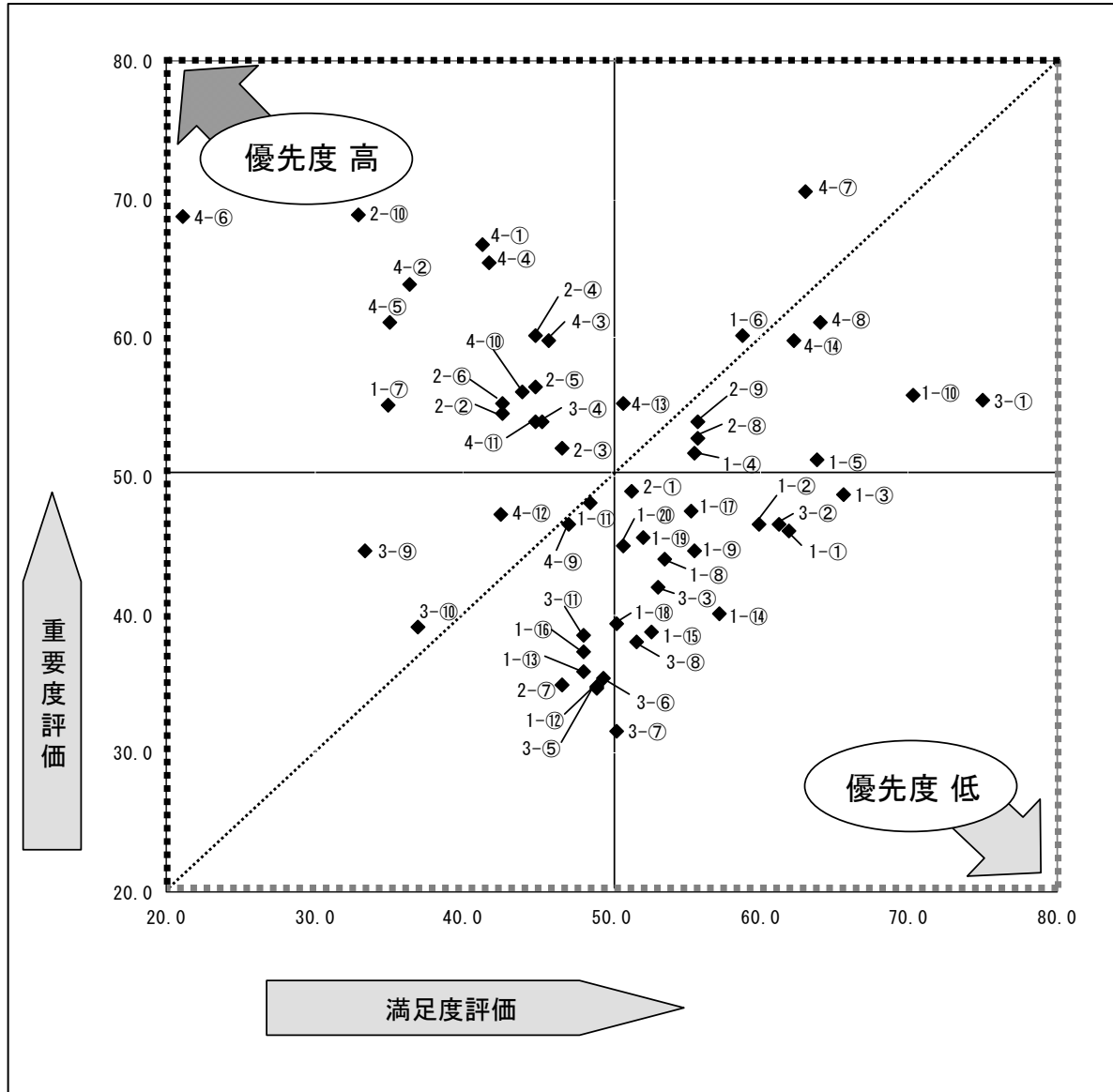
図表 16 満足度と重要度の相関（優先度）

（単位：評価点）



図表 17 満足度と重要度の相関（優先度）

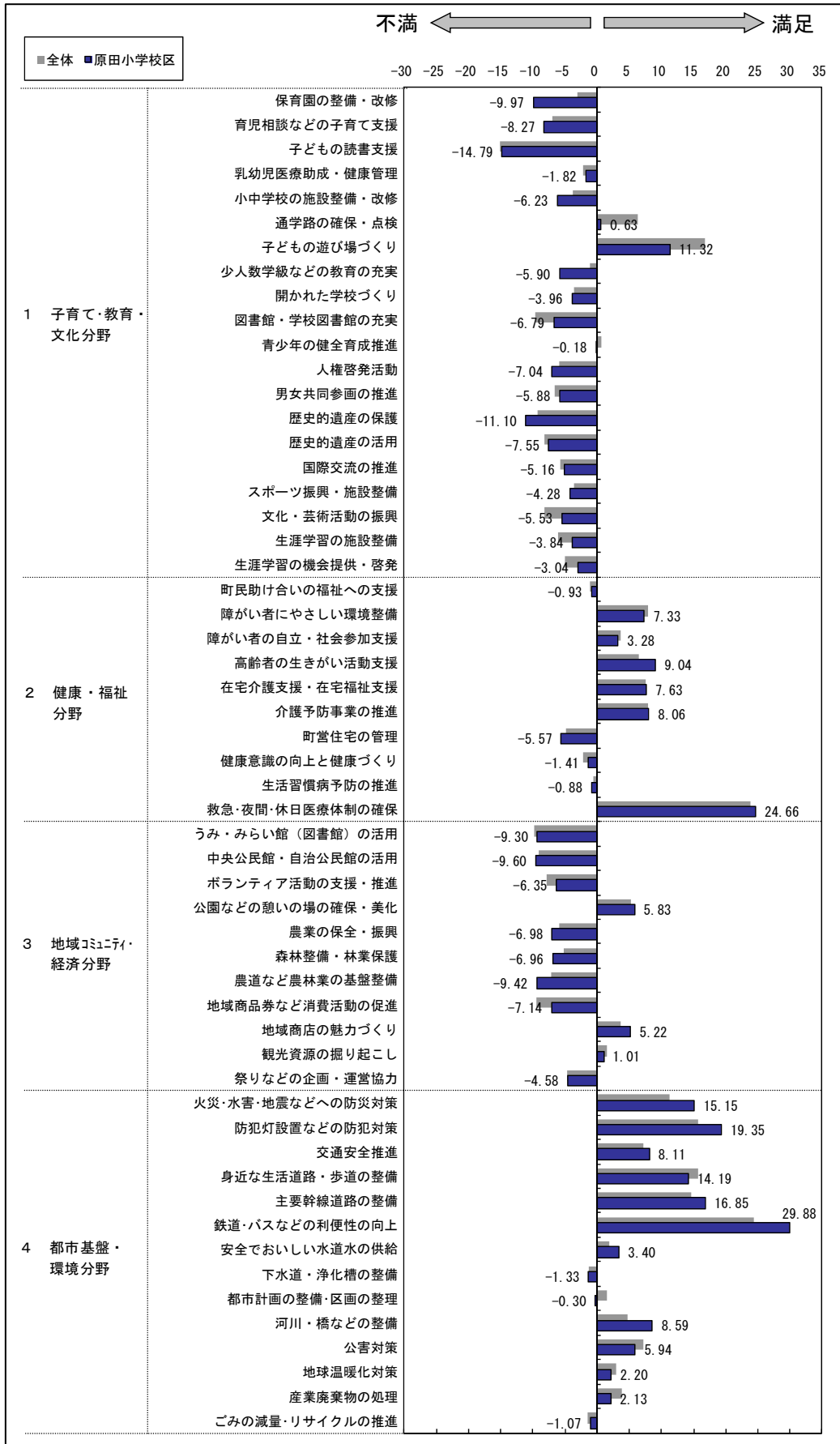
原田小学校区



優先度高い		優先度低い	
4-6 鉄道・バスなどの利便性の向上	2-5 在宅介護支援・在宅福祉支援	1-3 子どもの読書支援	2-7 町営住宅の管理
2-10 救急・夜間・休日医療体制の確保	2-2 障がい者にやさしい環境整備	1-14 歴史的遺産の保護	1-18 文化・芸術活動の振興
4-2 防犯灯設置などの防犯対策	4-11 公害対策	1-1 保育園の整備・改修	1-16 国際交流の推進
4-5 主要幹線道路の整備	3-4 公園などの憩いの場の確保・美化	3-2 中央公民館・自治公民館の活用	3-11 祭りなどの企画・運営協力
4-1 火災・水害・地震などへの防災対策	3-9 地域商店の魅力づくり	3-7 農道など農林業の基盤整備	1-17 スポーツ振興・施設整備
4-4 身近な生活道路・歩道の整備	4-7 安全でおいしい水道水の供給	3-1 うみ・みらい館（図書館）の活用	1-9 開かれた学校づくり
1-7 子どもの遊び場づくり	2-3 障がい者の自立・社会参加支援	1-2 育児相談などの子育て支援	1-19 生涯学習の施設整備
2-4 高齢者の生きがい活動支援	4-12 地球温暖化対策	1-15 歴史的遺産の活用	1-20 生涯学習の機会提供・啓発
4-10 河川・橋などの整備	4-13 産業廃棄物の処理	3-8 地域商品券など消費活動の促進	1-4 乳幼児医療助成・健康管理
4-3 交通安全推進	3-10 観光資源の掘り起こし	1-12 人権啓発活動	2-8 健康意識の向上と健康づくり
2-6 介護予防事業の推進	1-6 通学路の確保・点検	3-5 農業の保全・振興	4-8 下水道・浄化槽の整備
2-5 在宅介護支援・在宅福祉支援		3-6 森林整備・林業保護	4-14 ごみの減量・リサイクルの推進
2-2 障がい者にやさしい環境整備		1-10 図書館・学校図書館の充実	2-1 町民助け合いの福祉への支援
		3-3 ボランティア活動の支援・推進	2-9 生活習慣病予防の推進
		1-5 小中学校の施設整備・改修	4-9 都市計画の整備・区画の整理
		1-8 少人数学級などの教育の充実	1-11 青少年の健全育成推進
		1-13 男女共同参画の推進	

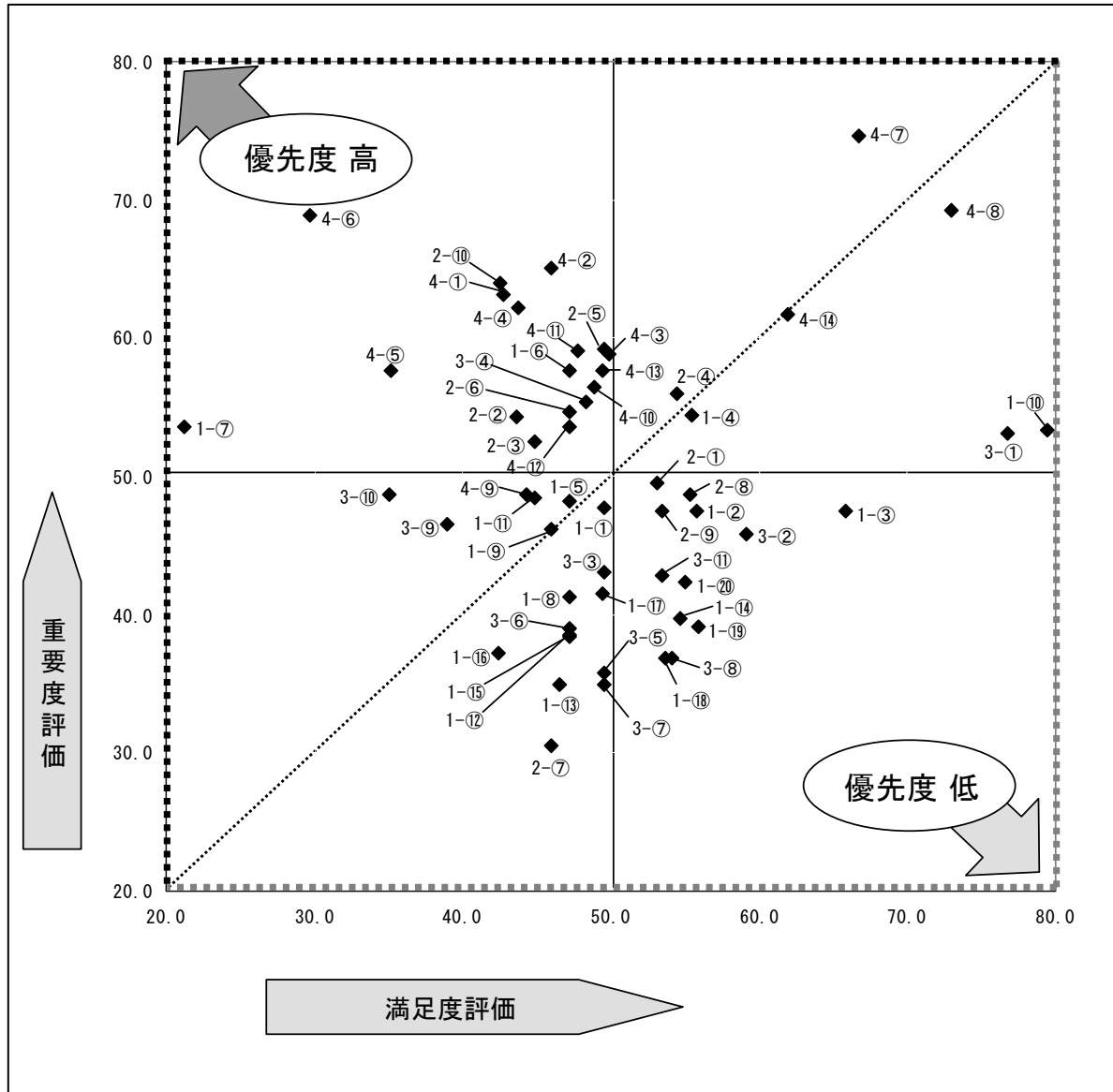
図表 18 満足度と重要度の相関（優先度）

（単位：評価点）



図表 19 満足度と重要度の相関（優先度）

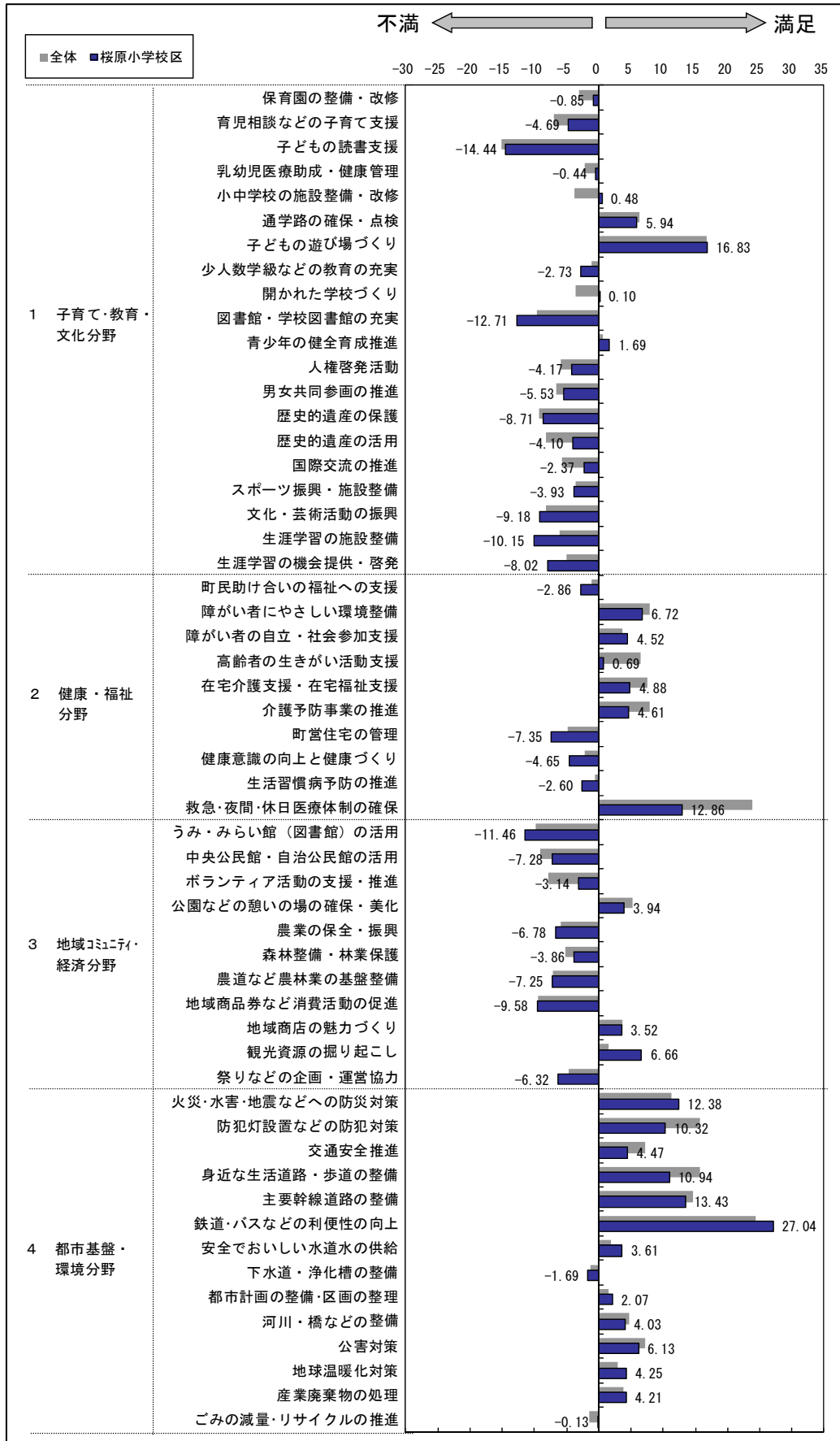
桜原小学校区



優先度高い		優先度低い	
4-6 鉄道・バスなどの利便性の向上	2-3 障がい者の自立・社会参加支援	1-3 子どもの読書支援	2-8 健康意識の向上と健康づくり
1-7 子どもの遊び場づくり	4-3 交通安全推進	1-10 図書館・学校図書館の充実	1-12 人権啓発活動
4-5 主要幹線道路の整備	4-12 地球温暖化対策	3-1 うみ・みらい館（図書館）の活用	1-15 歴史的遺産の活用
2-10 救急・夜間・休日医療体制の確保	4-13 産業廃棄物の処理	1-19 生涯学習の施設整備	1-17 スポーツ振興・施設整備
4-1 火災・水害・地震などへの防災対策	4-10 河川・橋などの整備	3-8 地域商品券など消費活動の促進	3-6 森林整備・林業保護
4-4 身近な生活道路・歩道の整備	3-4 公園などの憩いの場の確保・美化	1-18 文化・芸術活動の振興	3-3 ボランティア活動の支援・推進
4-2 防犯灯設置などの防犯対策	4-7 安全でおいしい水道水の供給	1-14 歴史的遺産の保護	2-1 町民助け合いの福祉への支援
2-2 障がい者にやさしい環境整備	3-9 地域商店の魅力づくり	1-20 生涯学習の機会提供・啓発	1-8 少人数学級などの教育の充実
3-10 観光資源の掘り起こし	4-9 都市計画の整備・区画の整理	2-7 町営住宅の管理	2-9 生活習慣病予防の推進
4-11 公害対策	1-11 青少年の健全育成推進	3-2 中央公民館・自治公民館の活用	1-16 国際交流の推進
1-6 通学路の確保・点検	2-4 高齢者の生きがい活動支援	3-7 農道など農林業の基盤整備	4-8 下水道・浄化槽の整備
2-5 在宅介護支援・在宅福祉支援	1-5 小中学校の施設整備・改修	3-5 農業の保全・振興	1-1 保育園の整備・改修
2-6 介護予防事業の推進	1-9 開かれた学校づくり	3-11 祭りなどの企画・運営協力	1-4 乳幼児医療助成・健康管理
		1-13 男女共同参画の推進	4-14 ごみの減量・リサイクルの推進
		1-2 育児相談などの子育て支援	

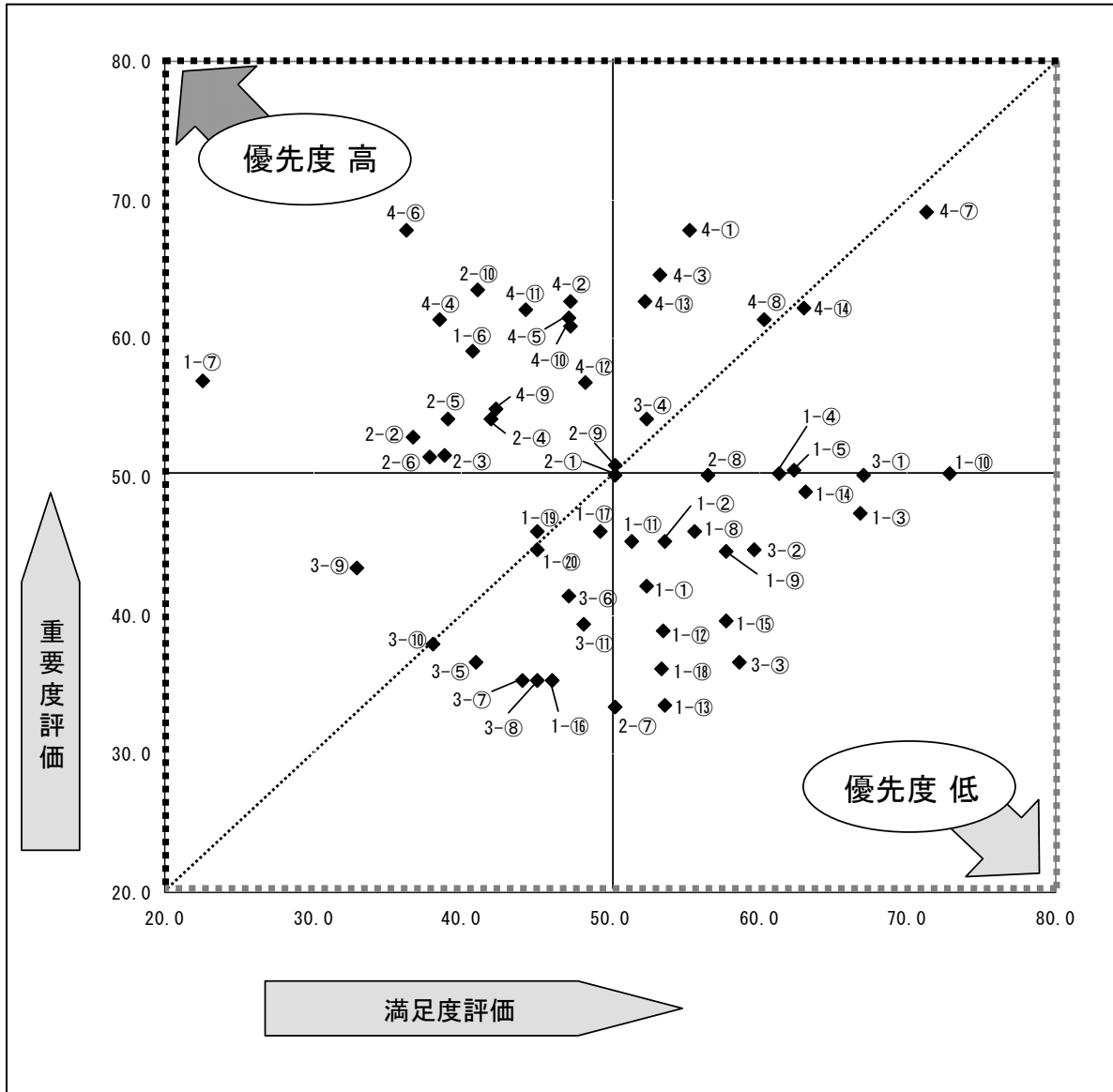
図表 20 満足度と重要度の相関（優先度）

（単位：評価点）



図表 21 満足度と重要度の相関（優先度）

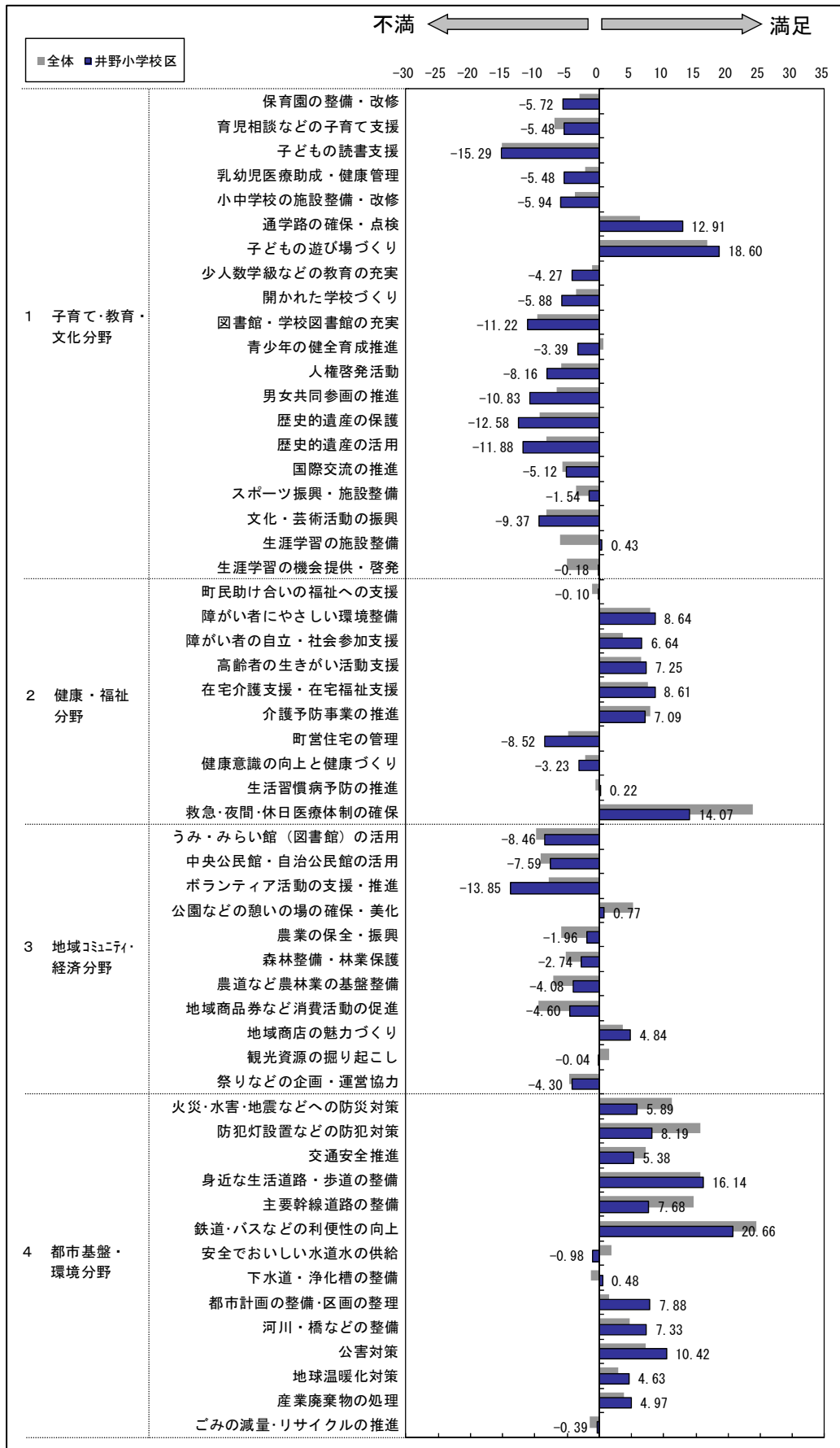
井野小学校区



優先度高い		優先度低い	
4-6 鉄道・バスなどの利便性の向上	2-6 介護予防事業の推進	1-3 子どもの読書支援	1-16 国際交流の推進
1-7 子どもの遊び場づくり	2-3 障がい者の自立・社会参加支援	3-3 ボランティア活動の支援・推進	3-8 地域商品券など消費活動の促進
4-4 身近な生活道路・歩道の整備	4-1 火災・水害・地震などへの防災対策	1-14 歴史的遺産の保護	3-11 祭りなどの企画・運営協力
2-10 救急・夜間・休日医療体制の確保	4-3 交通安全推進	1-15 歴史的遺産の活用	1-8 少人数学級などの教育の充実
1-6 通学路の確保・点検	4-13 産業廃棄物の処理	1-10 図書館・学校図書館の充実	3-7 農道など農林業の基盤整備
4-11 公害対策	3-9 地域商店の魅力づくり	1-13 男女共同参画の推進	1-11 青少年の健全育成推進
2-2 障がい者にやさしい環境整備	4-12 地球温暖化対策	1-18 文化・芸術活動の振興	2-8 健康意識の向上と健康づくり
2-5 在宅介護支援・在宅福祉支援	3-4 公園などの憩いの場の確保・美化	2-7 町営住宅の管理	3-6 森林整備・林業保護
4-2 防犯灯設置などの防犯対策	4-8 下水道・浄化槽の整備	3-1 うみ・みらい館(図書館)の活用	3-5 農業の保全・振興
4-9 都市計画の整備 区画の整理	1-19 生涯学習の施設整備	1-12 人権啓発活動	1-17 スポーツ振興・施設整備
4-5 主要幹線道路の整備	2-9 生活習慣病予防の推進	3-2 中央公民館・自治公民館の活用	4-7 安全でおいしい水道水の供給
4-10 河川・橋などの整備		1-5 小中学校の施設整備・改修	4-14 ごみの減量・リサイクルの推進
2-4 高齢者の生きがい活動支援		1-9 開かれた学校づくり	1-20 生涯学習の機会提供・啓発
2-4 高齢者の生きがい活動支援		1-1 保育園の整備・改修	2-1 町民助け合いの福祉への支援
		1-4 乳幼児医療助成・健康管理	3-10 観光資源の掘り起こし
		1-2 育児相談などの子育て支援	

図表 22 満足度と重要度の相関（優先度）

（単位：評価点）



3 今後のまちづくりに向けて

(1) 今後のまちづくりの特色について

問6 あなたは、今後のまちづくりにおいて、宇美町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

- 「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が最も高く、「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」と続く。

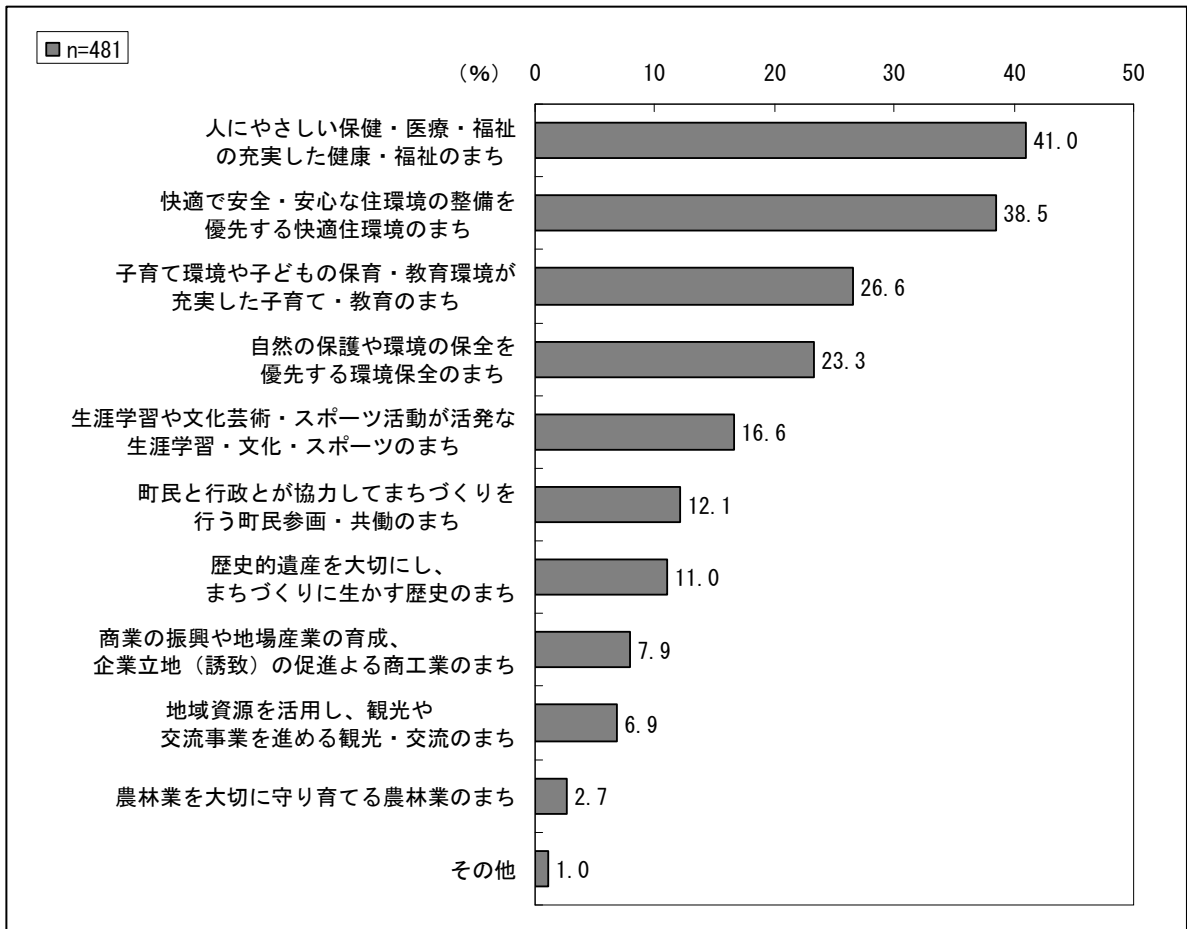
今後のまちづくりの特色については、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」(41.0%)、「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(38.5%)、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」(26.6%)、「自然の保護や環境の保全を優先する環境保全のまち」(23.3%)、「生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化・スポーツのまち」(16.6%)、「町民と行政とが協力してまちづくりを行う町民参画・共働のまち」(12.1%)、「歴史的遺産を大切にし、まちづくりに生かす歴史のまち」(11.0%)、「商業の振興や地場産業の育成、企業立地(誘致)の促進による商工業のまち」(7.9%)、「地域資源を活用し、観光や交流事業を進める観光・交流のまち」(6.9%)、「農林業を大切に守り育てる農林業のまち」(2.7%)などの順となっています。[図表 23 参照]

これを属性別で見ると、性別では、男性に「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」の率が高くなっています。

年齢では、20代・30代に「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」の率が高く、50代以上で、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」の率が高くなっています。

また、居住地区では、宇美小学校区で「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」の率が、宇美東小学校区で「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」の率が、原田小学校区で「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」の率がそれぞれ高くなっています。[図表 24 参照]

図表 23 今後のまちづくりの特色について（全体／複数回答）



図表 24 今後のまちづくりの特色について
(全体・性別・年齢・居住地区—上位第5位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		健康・福祉のまち 41.0	快適住環境のまち 38.5	子育て・教育のまち 26.6	環境保全のまち 23.3	生涯学習・文化・スポーツのまち 16.6
性別	男性	快適住環境のまち 41.3	健康・福祉のまち 38.6	子育て・教育のまち 26.5	環境保全のまち 21.2	生涯学習・文化・スポーツのまち 16.4
	女性	健康・福祉のまち 42.6	快適住環境のまち 36.7	子育て・教育のまち 26.6	環境保全のまち 24.6	生涯学習・文化・スポーツのまち 16.3
年齢	20代	子育て・教育のまち 50.0	快適住環境のまち 45.8	環境保全のまち 33.3	生涯学習・文化・スポーツのまち 20.8	健康・福祉のまち 16.7
	30代	子育て・教育のまち 53.8	快適住環境のまち 46.2	健康・福祉のまち 33.3	生涯学習・文化・スポーツのまち /環境保全のまち	14.1
	40代	快適住環境のまち 37.8	健康・福祉のまち 32.4	子育て・教育のまち 29.7	環境保全のまち 23.0	生涯学習・文化・スポーツのまち 17.6
	50代	快適住環境のまち 46.2	健康・福祉のまち 45.2	生涯学習・文化・スポーツのまち 23.7	環境保全のまち 23.7	子育て・教育のまち 17.2
	60代	健康・福祉のまち 44.5	快適住環境のまち 39.5	環境保全のまち 23.5	子育て・教育のまち 20.2	町民参画・共働のまち 16.0
	70歳以上	健康・福祉のまち 51.6	環境保全のまち 28.0	快適住環境のまち 21.5	町民参画・共働のまち /歴史のまち	16.1
居住地区	宇美小学校区	健康・福祉のまち 42.3	快適住環境のまち /子育て・教育のまち	35.0	環境保全のまち 23.6	歴史のまち 14.6
	宇美東小学校区	健康・福祉のまち 45.2	環境保全のまち 34.5	快適住環境のまち 33.3	子育て・教育のまち 22.6	生涯学習・文化・スポーツのまち 14.3
	原田小学校区	快適住環境のまち /健康・福祉のまち	43.4	子育て・教育のまち 22.5	生涯学習・文化・スポーツのまち 21.7	環境保全のまち 17.8
	桜原小学校区	快適住環境のまち 41.1	健康・福祉のまち 31.1	子育て・教育のまち 23.3	環境保全のまち 21.1	生涯学習・文化・スポーツのまち 15.6
	井野小学校区	快適住環境のまち /健康・福祉のまち	39.2	子育て・教育のまち 29.4	環境保全のまち 23.5	歴史のまち 15.7

4 日頃の行動などについて

(1) 生涯学習活動について

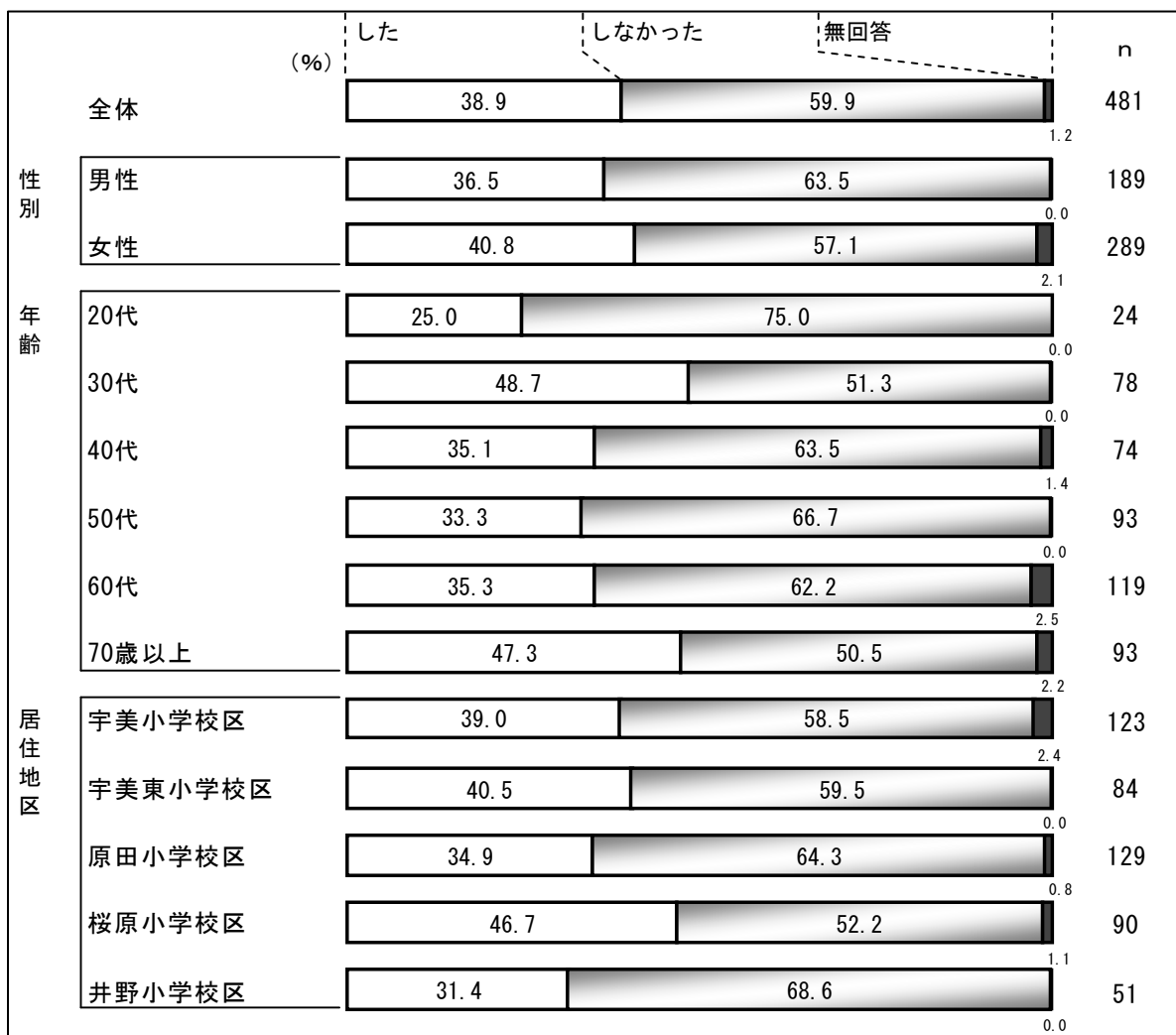
問7① あなたは、この1年間に、生涯学習活動（趣味や文化・スポーツ活動等）をしましたか。

● 生涯学習活動をした人は38.9%。

生涯学習活動については、「しなかった」と答えた人が59.9%、「した」と答えた人が38.9%となっています。

属性別で「した」率をみると、性別では、女性で高く、年齢別では、30代、70歳以上で高く、居住地区では、桜原小学校区で高くなっています。[図表25参照]

図表25 生涯学習活動について（全体・性別・年齢・居住地区）



(2) 健康増進のための取り組みについて

問7② あなたは、日頃、健康増進のための取り組み（食生活の改善や運動など）をしていますか。

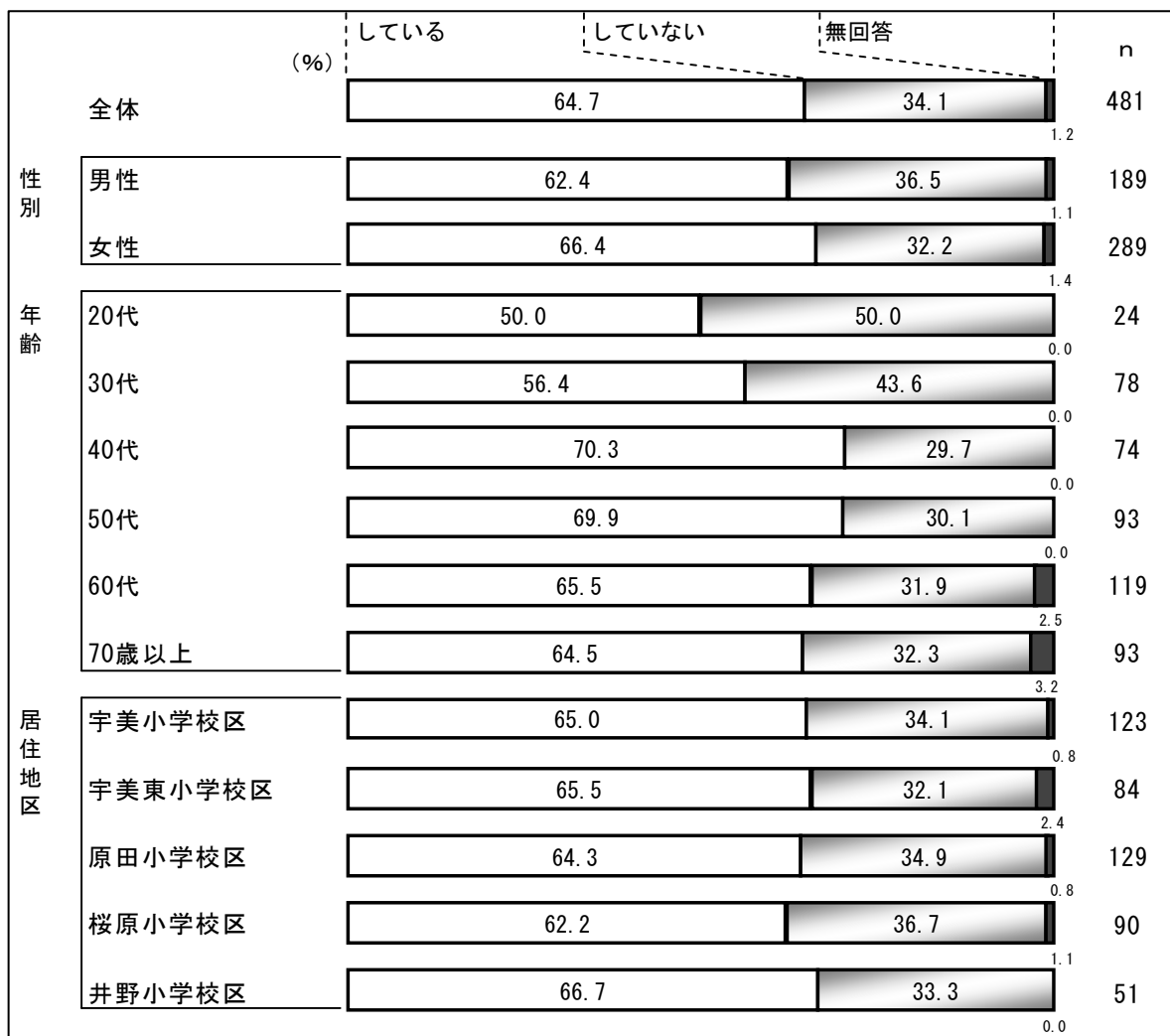
- 健康増進のための取り組みをしている人は64.7%。

健康増進のための取り組みについては、「している」と答えた人が64.7%、「していない」と答えた人が34.1%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、女性の方が男性より高くなっています。

年齢別では、40代・50代で高くなっています。[図表26参照]

図表26 健康増進のための取り組みについて（全体・性別・年齢・居住地区）



(3) 地域福祉活動への参加について

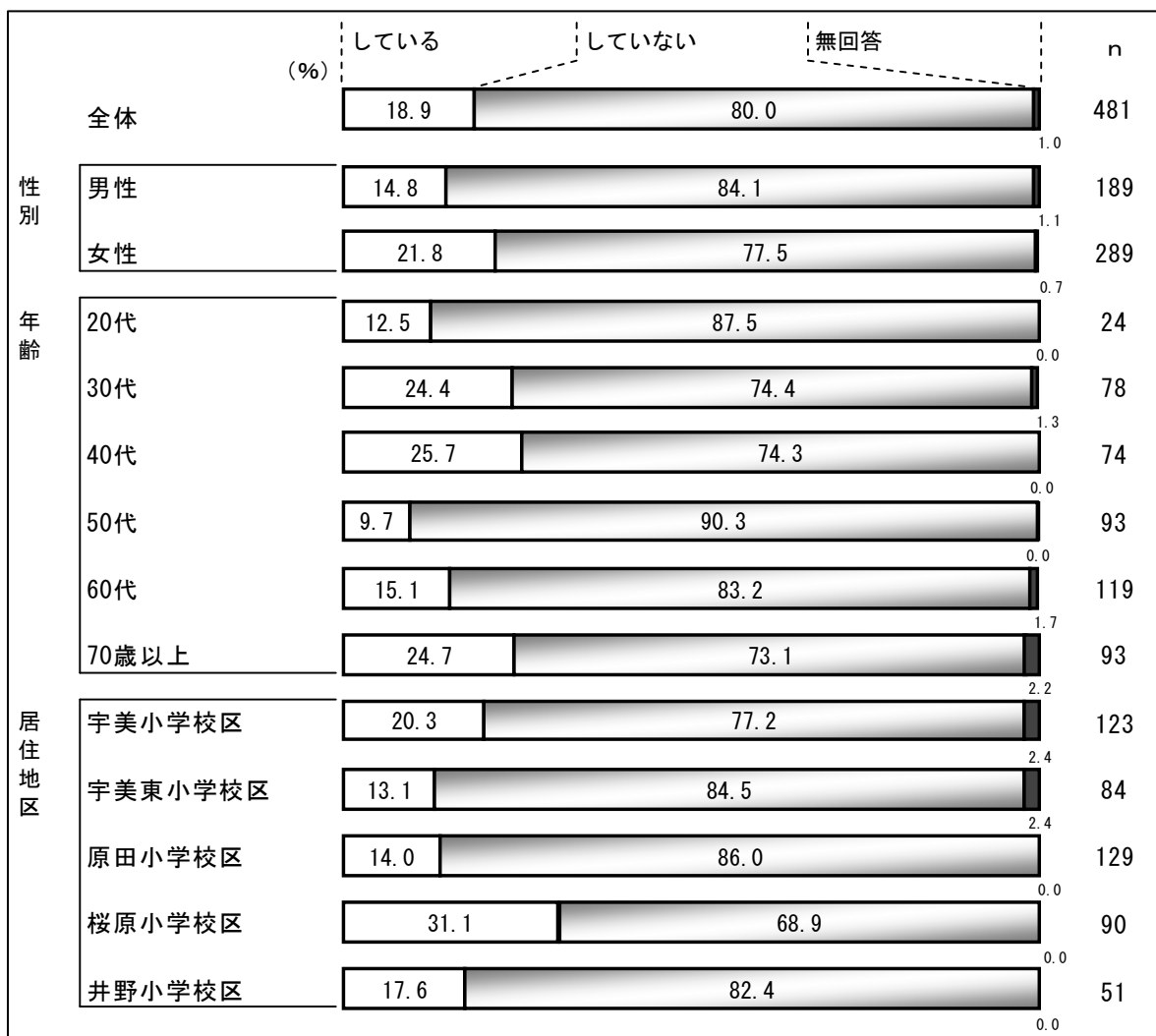
問7③ あなたは、身近な地域での子ども、高齢者等の見守り、支え合いなどの地域福祉活動に参加していますか。

● 地域福祉活動に参加している人は18.9%。

地域福祉活動への参加については、「していない」と答えた人が80.0%、「している」と答えた人が18.9%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、女性で高く、年齢別では、30代・40代で高く、居住地区別では、桜原小学校区で高くなっています。[図表27参照]

図表27 地域福祉活動への参加（全体・性別・年齢・居住地区）



(4) 災害時の避難路・避難場所について

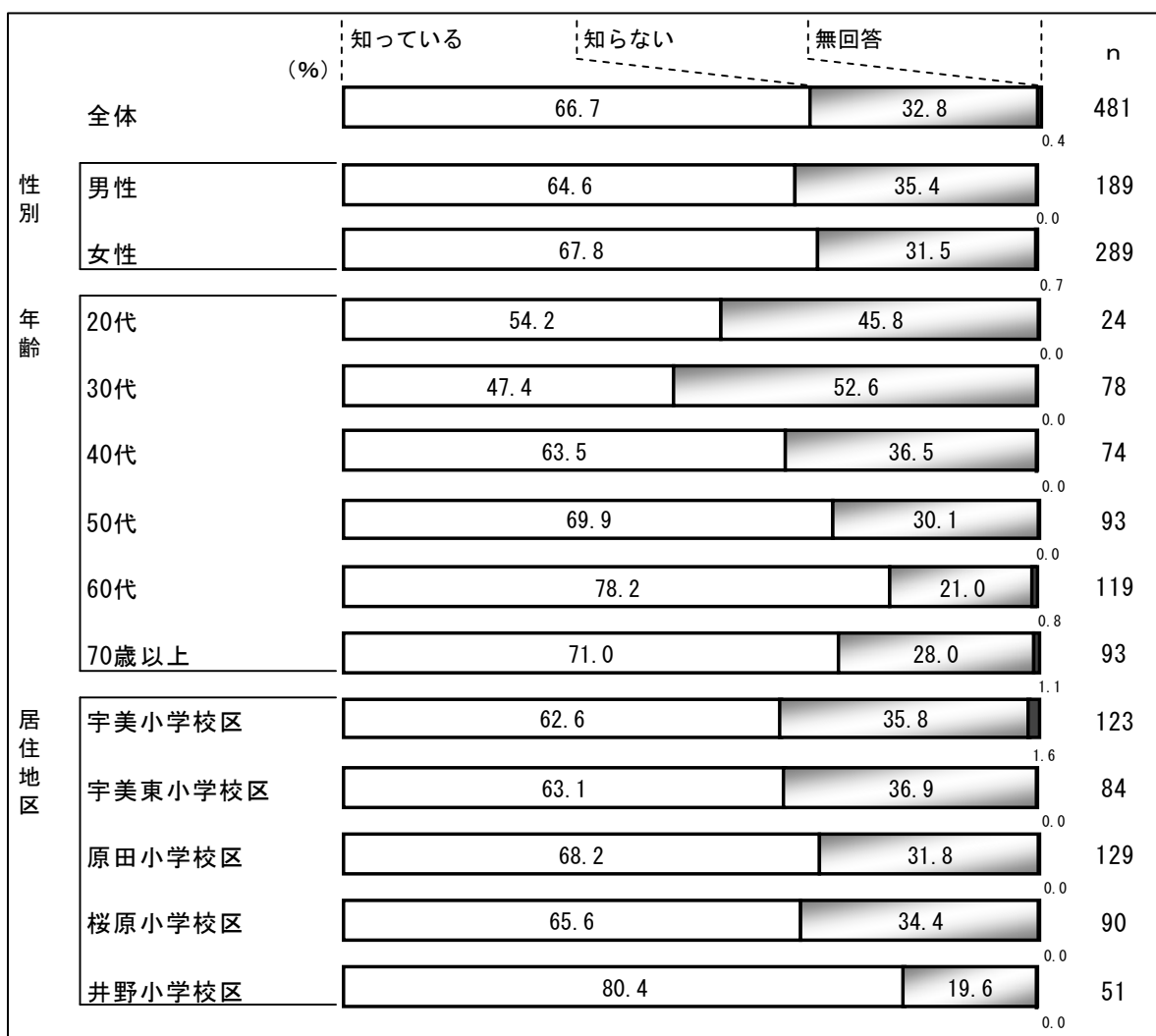
問7④ あなたは、災害時の避難路・避難場所を知っていますか。

● 災害時の避難路・避難場所を知っている人は66.7%。

災害時の避難路・避難場所については、「知っている」と答えた人が66.7%、「知らない」と答えた人が32.8%となっています。

属性別で「知っている」率をみると、性別では、女性で高く、年齢別では、50代・60代で高く、居住地区別では、井野小学校区で高くなっています。[図表28参照]

図表28 災害時の避難路・避難場所について（全体・性別・年齢・居住地区）



(5) 防火・防災訓練への参加

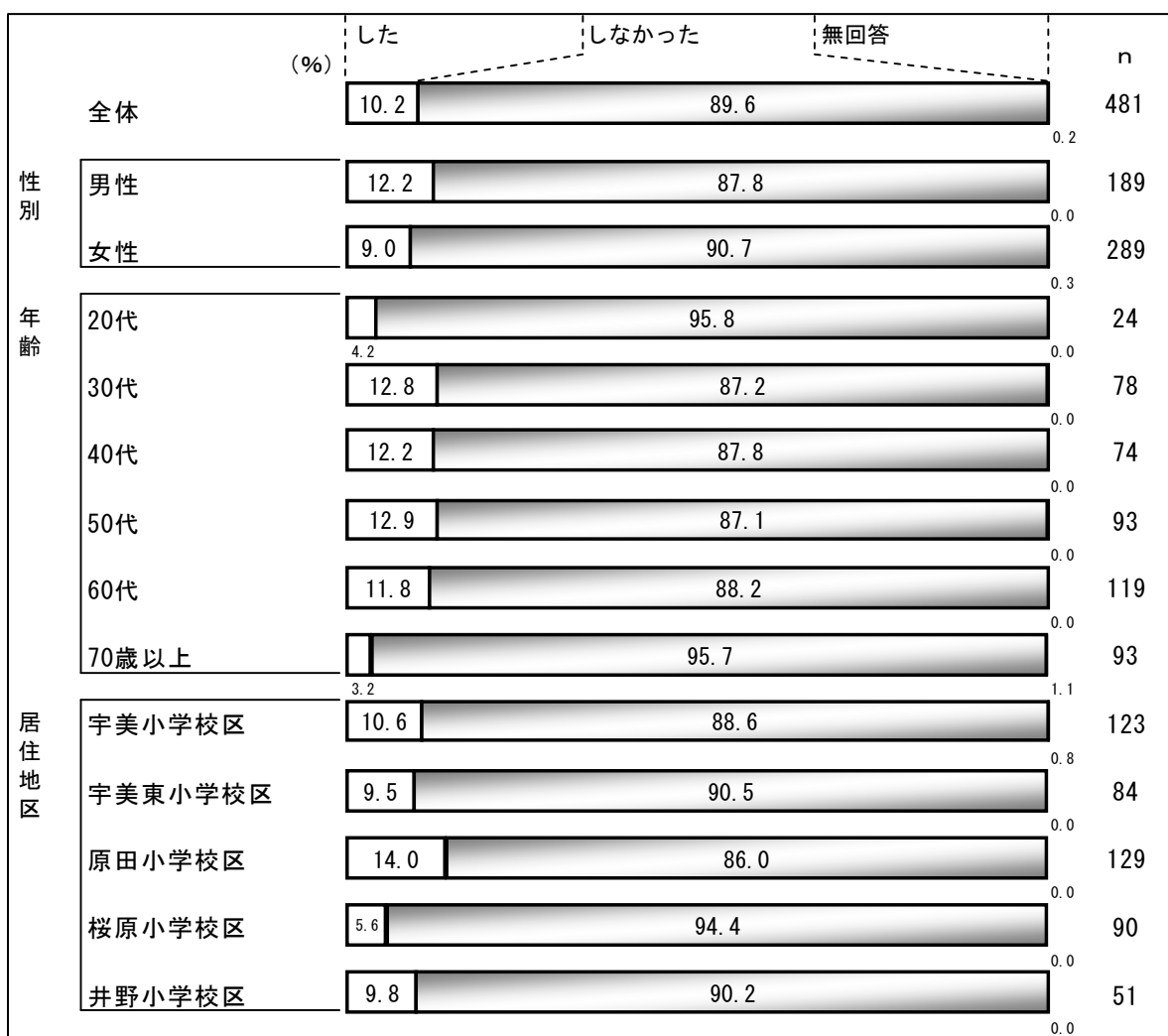
問7⑤ あなたは、この1年間に、防火・防災訓練に参加しましたか。

- 防火・防災訓練に参加した人は10.2%。

防火・防災訓練への参加については、「しなかった」と答えた人が89.6%、「した」と答えた人が10.2%となっています。

属性別で「した」率をみると、性別では、男性で高く、年齢別では、30～60代で高く、居住地区別では、原田小学校区で高くなっています。[図表29参照]

図表29 防火・防災訓練への参加（全体・性別・年齢・居住地区）



(6) 身近な地域での防犯活動・パトロール活動への参加について

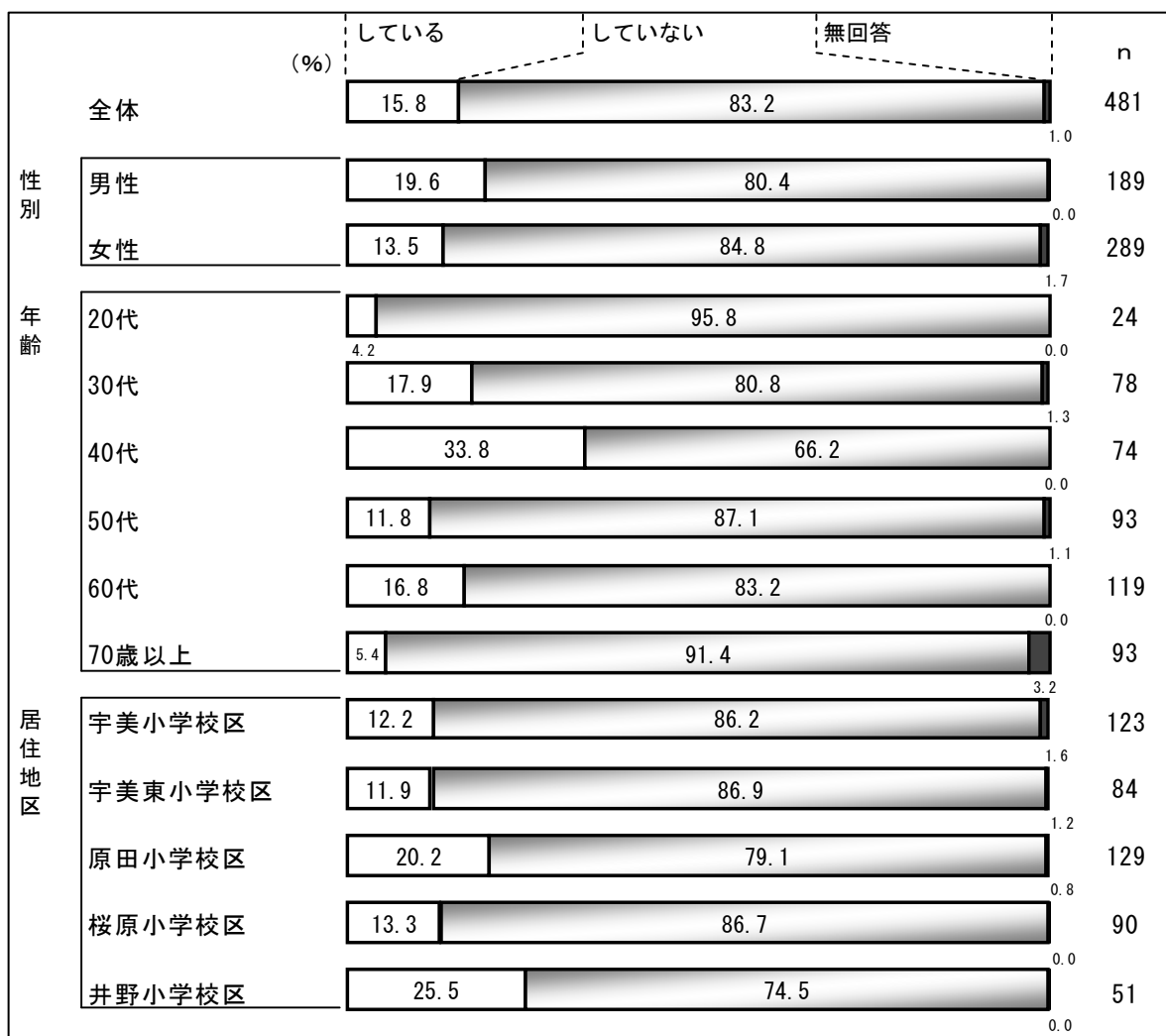
問7⑥ あなたは、身近な地域での防犯活動・パトロール活動に参加していますか。

- 防犯活動・パトロール活動に参加している人は15.8%。

防犯活動への参加については、「していない」と答えた人が83.2%、「している」と答えた人が15.8%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、男性で高く、年齢別では、40代で高く、居住地区別では、井野小学校区、原田小学校区で高くなっています。[図表30参照]

図表30 身近な地域での防犯活動・パトロール活動への参加について
(全体・性別・年齢・居住地区)



(7) 環境に配慮した生活について

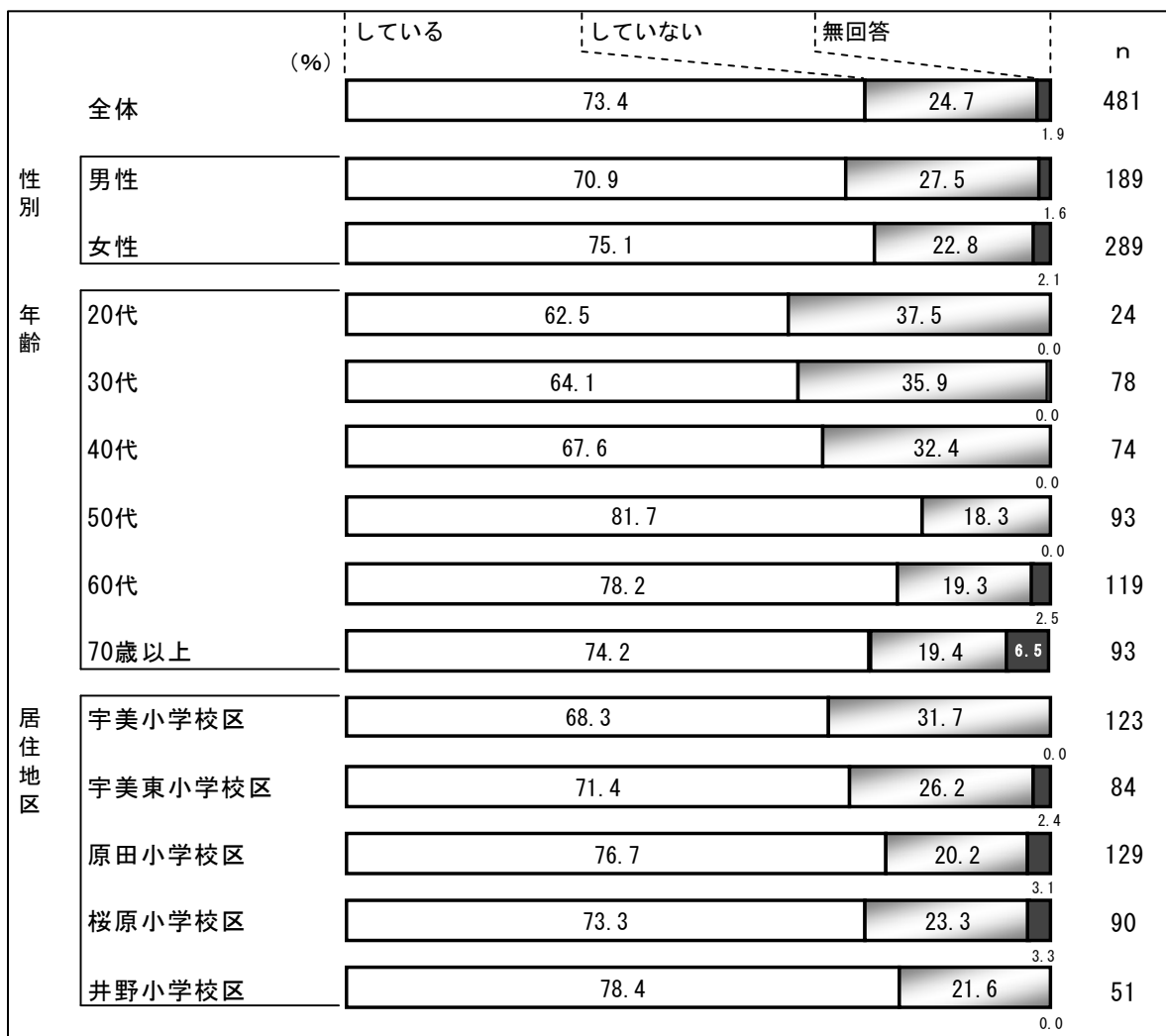
問7⑦ あなたは、環境美化や水質浄化、省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。

- 環境に配慮した生活をしている人は 73.4%。

環境に配慮した生活については、「している」と答えた人が 73.4%、「していない」と答えた人が 24.7%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、女性で高く、年齢別では、50・60代で高く、居住地区別では、井野小学校区、原田小学校区で高くなっています。[図表 31 参照]

図表 31 環境に配慮した生活について（全体・性別・年齢・居住地区）



(8) 地元の公園など公共施設の維持管理について

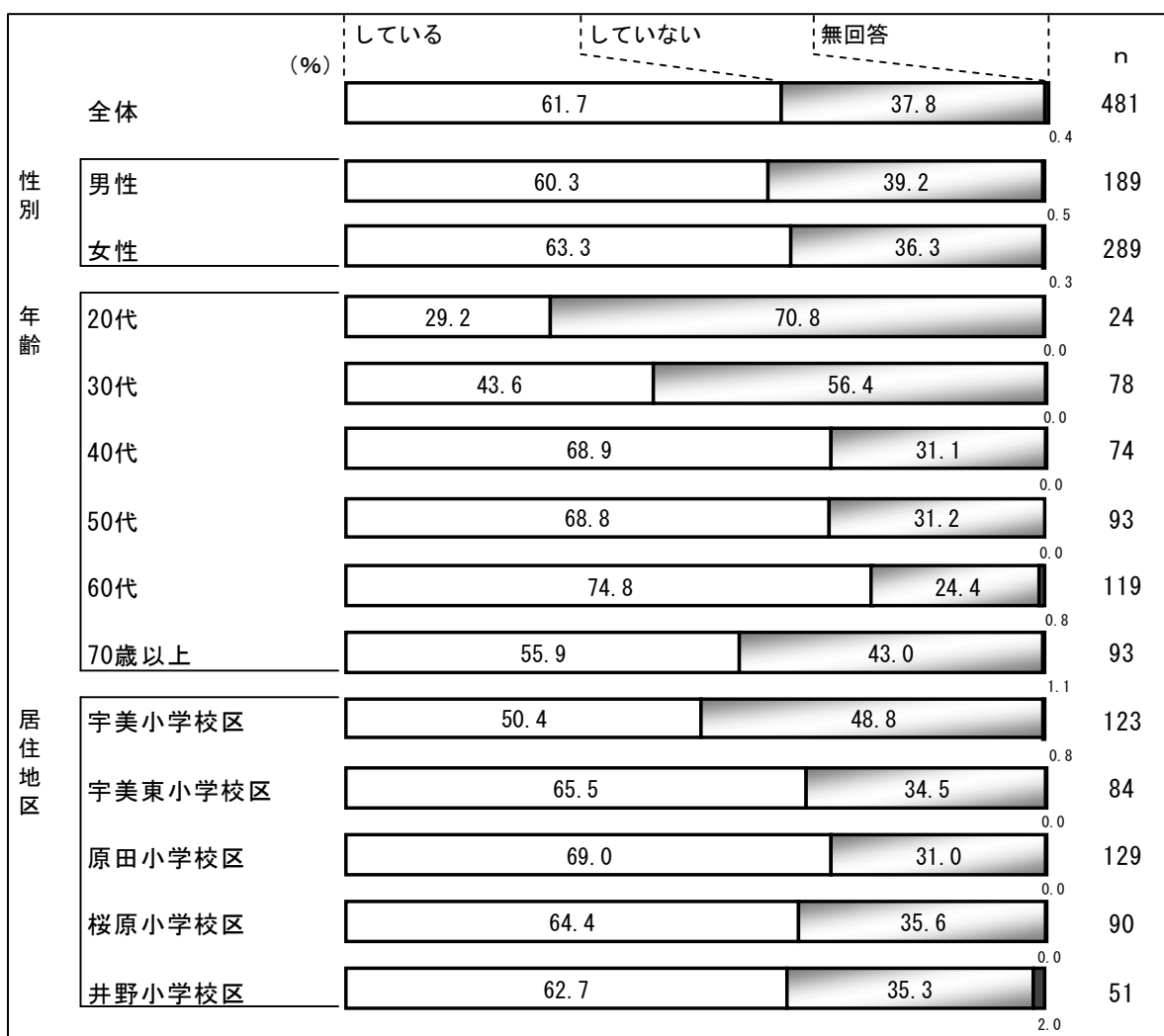
問7⑧ あなたは、地元の公園など公共施設の維持管理（草刈りや清掃など）に参加していますか。

- 地元の公園など公共施設の維持管理に参加している人は61.7%。

地元の公園など公共施設の維持管理（草刈りや清掃など）については、「している」と答えた人が61.7%、「していない」と答えた人が37.8%となっています。

属性別で「している」率をみると、年齢別では、40～60代で高く、居住地区別では、原田小学校区で高くなっています。[図表32参照]

図表32 地元の公園など公共施設の維持管理について（全体・性別・年齢・居住地区）



(9) 緑化活動について

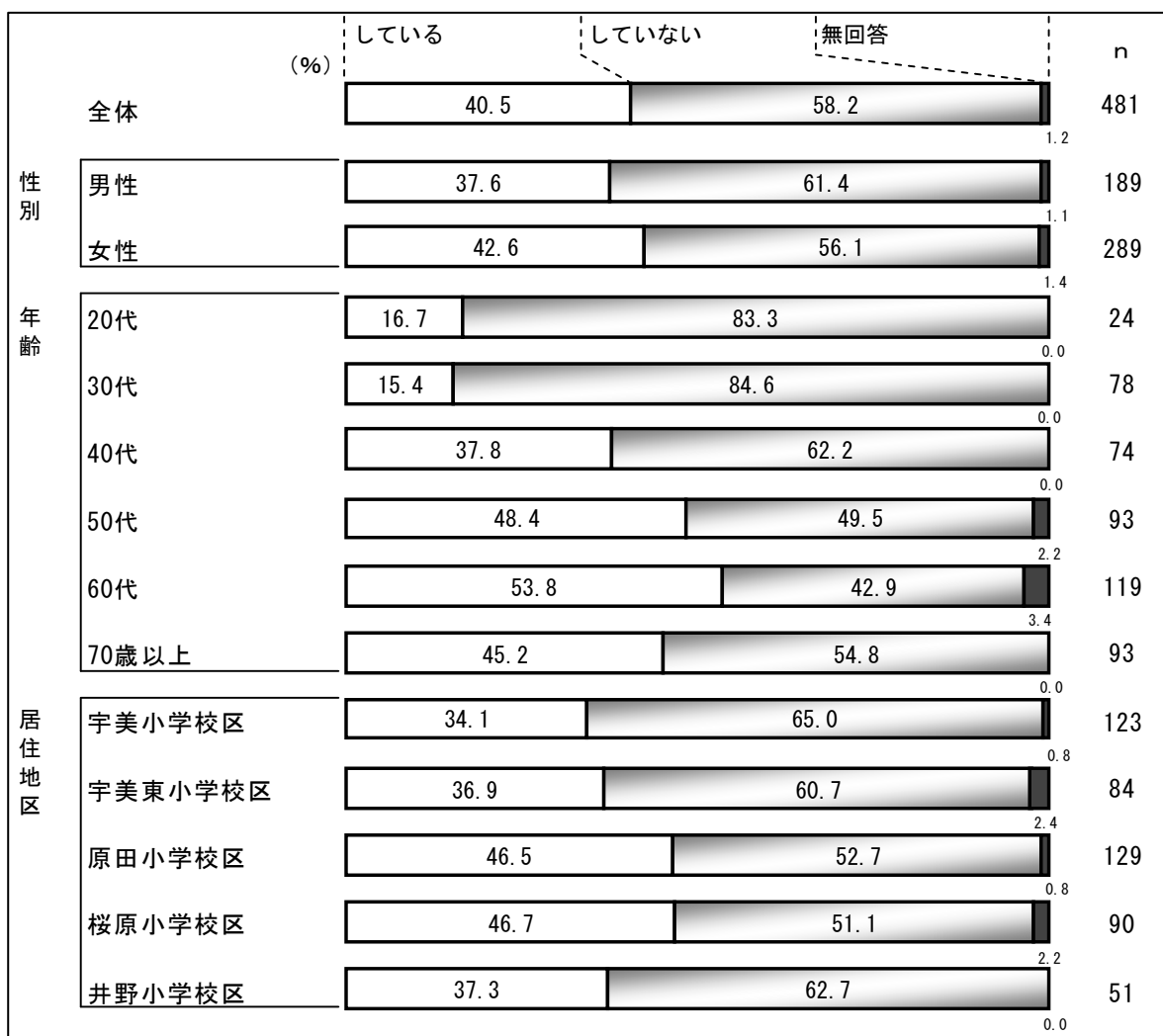
問7⑨ あなたは、緑化活動（植樹や花づくり）をしていますか。

● 緑化活動をしている人は40.5%

緑化活動（植樹や花づくり）については、「していない」と答えた人が58.2%、「している」と答えた人が40.5%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、女性で高く、年齢別では、40代以上で高く、居住地区別では、原田小学校区、桜原小学校区で高くなっています。[図表33参照]

図表33 緑化活動について（全体・性別・年齢・居住地区）



(10) ごみ減量化のための3R運動について

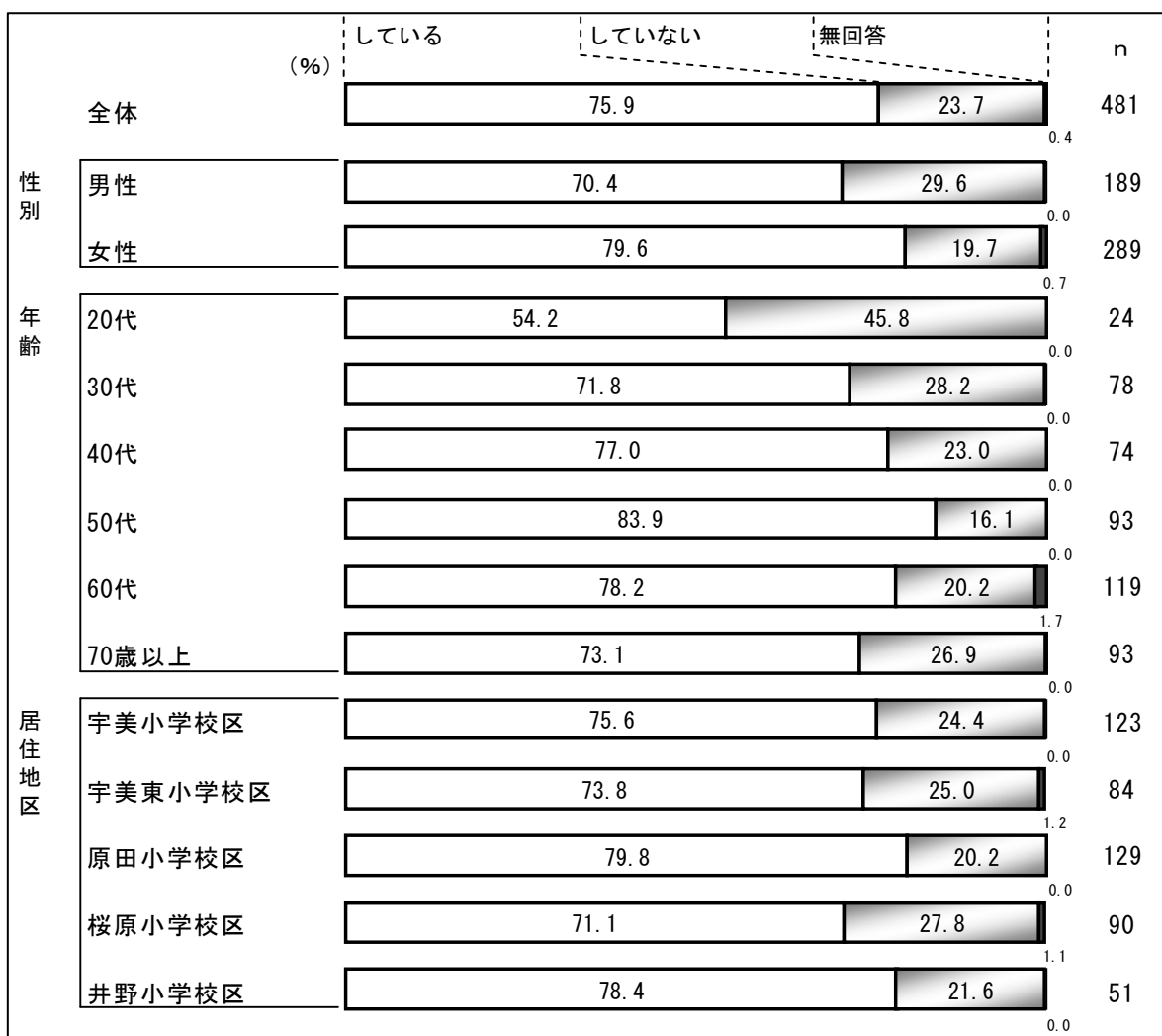
問7⑩ あなたは、ごみの減量化のため、3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

- ごみ減量化のための3R運動をしている人は75.9%。

ごみ減量化のための3R運動については、「している」と答えた人が75.9%、「していない」と答えた人が23.7%となっています。

属性別で「している」率をみると、性別では、女性で高く、年齢別では、40～60代で高くなっています。[図表34参照]

図表34 ごみ減量化のための3R運動について（全体・性別・年齢・居住地区）



(11) 町内での買物について

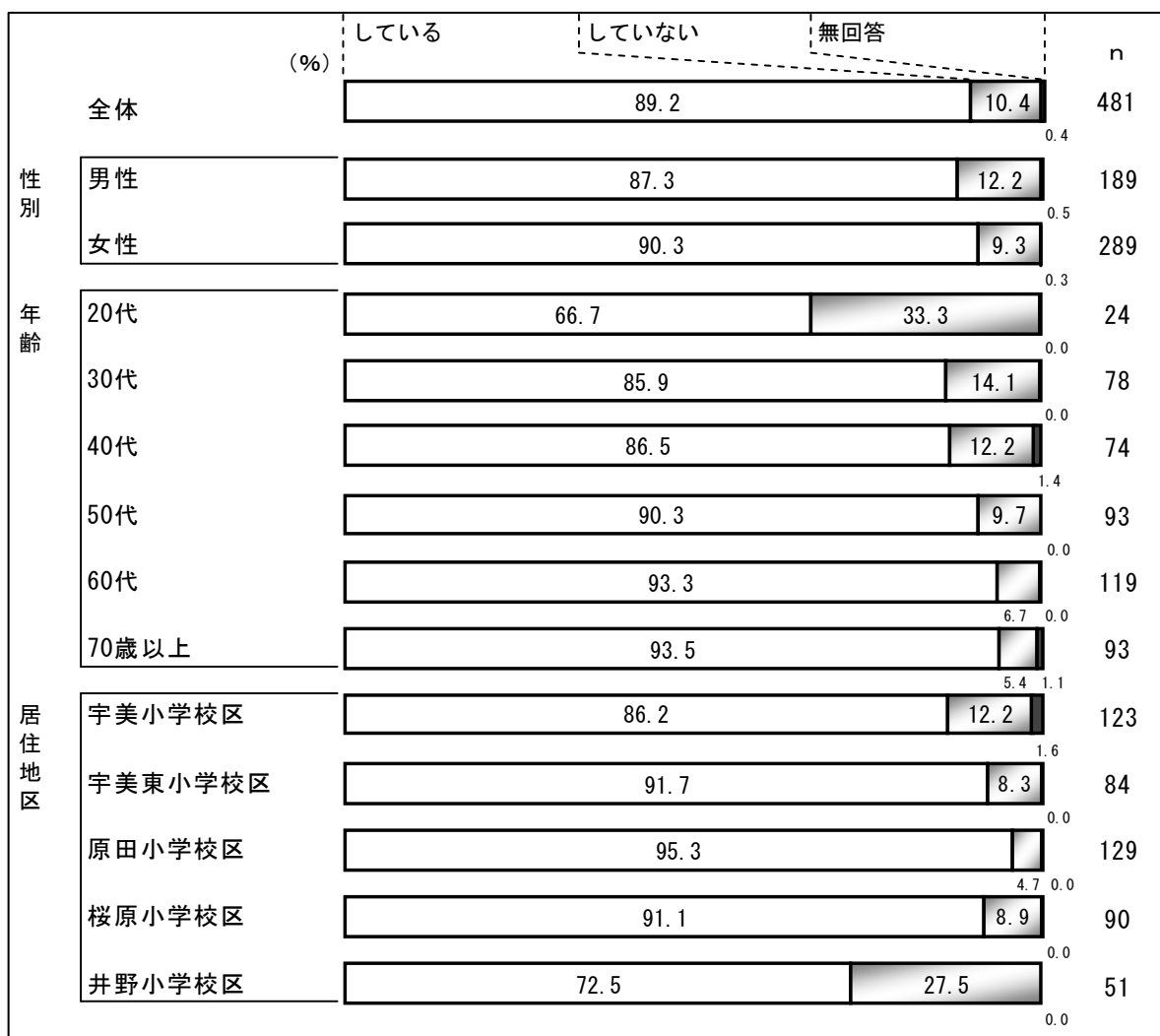
問7⑪ あなたは、日頃、町内の商店で買物をしていますか。

● 町内の商店で買物をしている人は 89.2%。

町内での買物については、「している」と答えた人が 89.2%、「していない」と答えた人が 10.4%となっています。

属性別で「している」率をみると、年齢別では、30代以上で高く、居住地区別では、井野小学校区以外で高くなっています。[図表 35 参照]

図表 35 町内での買物について（全体・性別・年齢・居住地区）



(12) 「広報うみ」について

問7⑫ あなたは、「広報うみ」を読んでいますか。

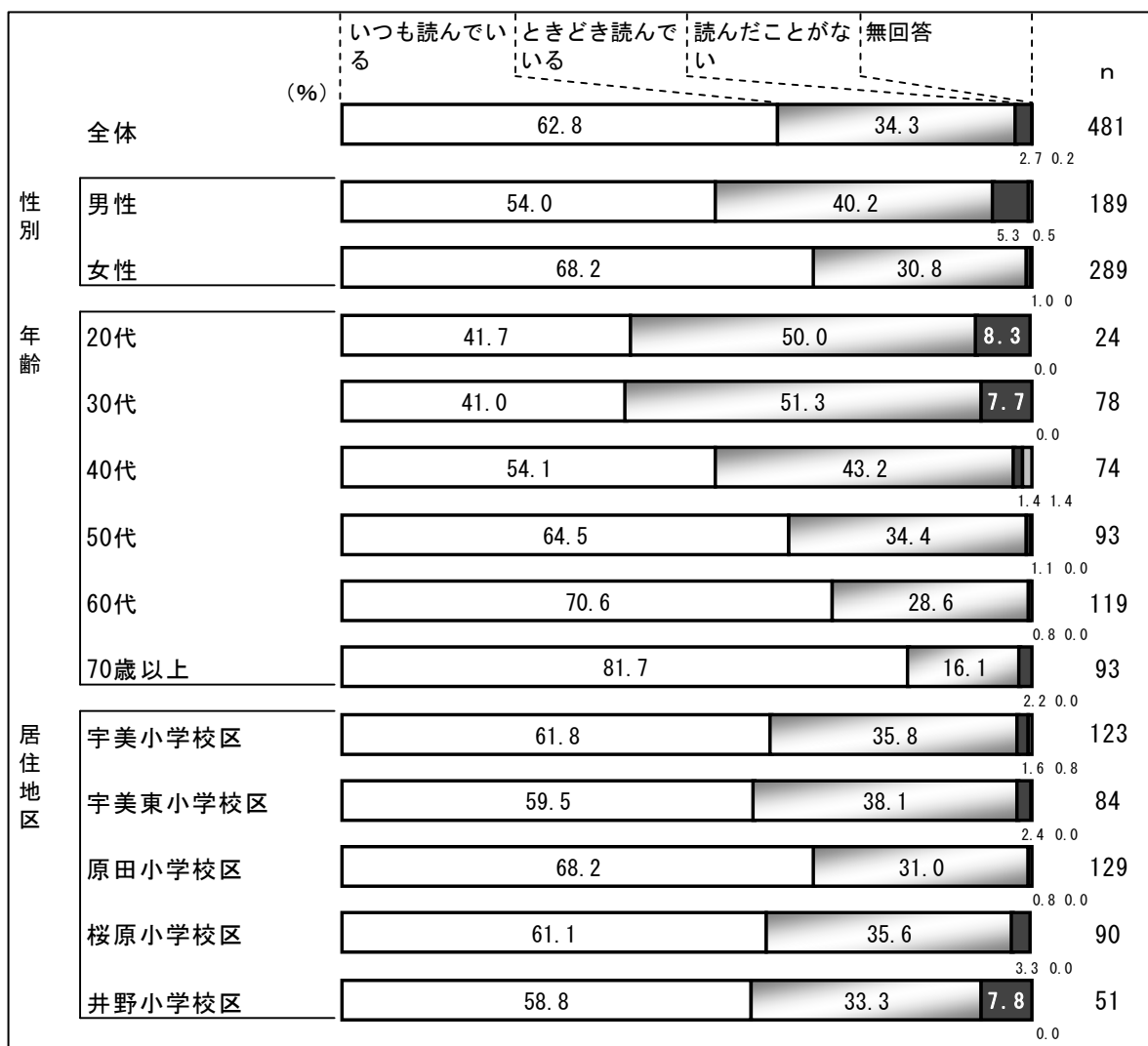
- 「広報うみ」を“読んでいる”人は97.1%。

「広報うみ」については、「いつも読んでいる」(62.8%)、「ときどき読んでいる」(34.3%)をあわせた“読んでいる”人が97.1%となっています。一方、「読んだことがない」と答えた人は2.7%となっています。

属性別で“読んでいる”率をみると、性別では、女性の99.0%、男性の94.2%が“読んでいる”と回答しています。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて、“読んでいる”率が高くなっています。[図表36参照]

図表36 「広報うみ」について（全体・性別・年齢・居住地区）



(13) 町のホームページについて

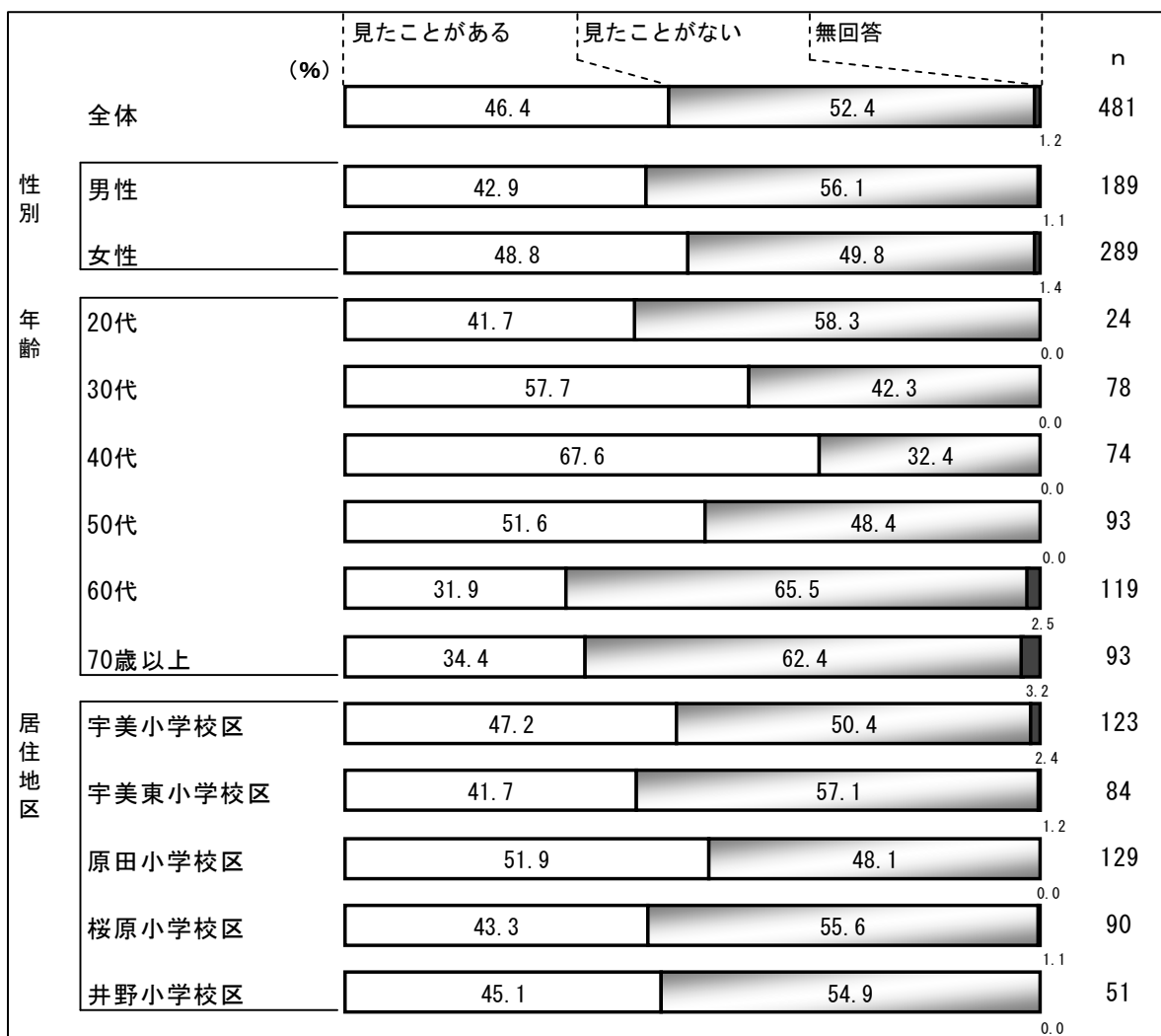
問7⑬ あなたは、町のホームページを見たことがありますか。

● 町のホームページを見たことがある人は52.4%。

町のホームページについては、「見たことがない」と答えた人が52.4%、「見たことがある」と答えた人が46.4%となっています。

属性別でみると、性別では、女性で高く、年齢別では、40代で高く、居住地区別では、原田小学校区で高くなっています。[図表37参照]

図表37 町のホームページについて（全体・性別・年齢・居住地区）



5 地域コミュニティ活動、共働について

(1) 地域コミュニティ活動等への参加状況・参加意向について

問8 あなたの現在の地域コミュニティ活動・ボランティア活動への参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。



- 現在“参加している”人が15.6%、“参加していない”人が79.7%。
- 今後“参加したい”人が47.4%、“参加したくない”人が47.9%。

地域コミュニティ活動、共働については、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない①」(46.4%)と答えた人が最も多く、次いで「現在参加していないが、今後は参加したい②」(33.3%)、「現在参加しており、今後は参加したい③」(14.1%)、「現在参加しているが、今後は参加するつもりはない④」(1.5%)の順となっています。

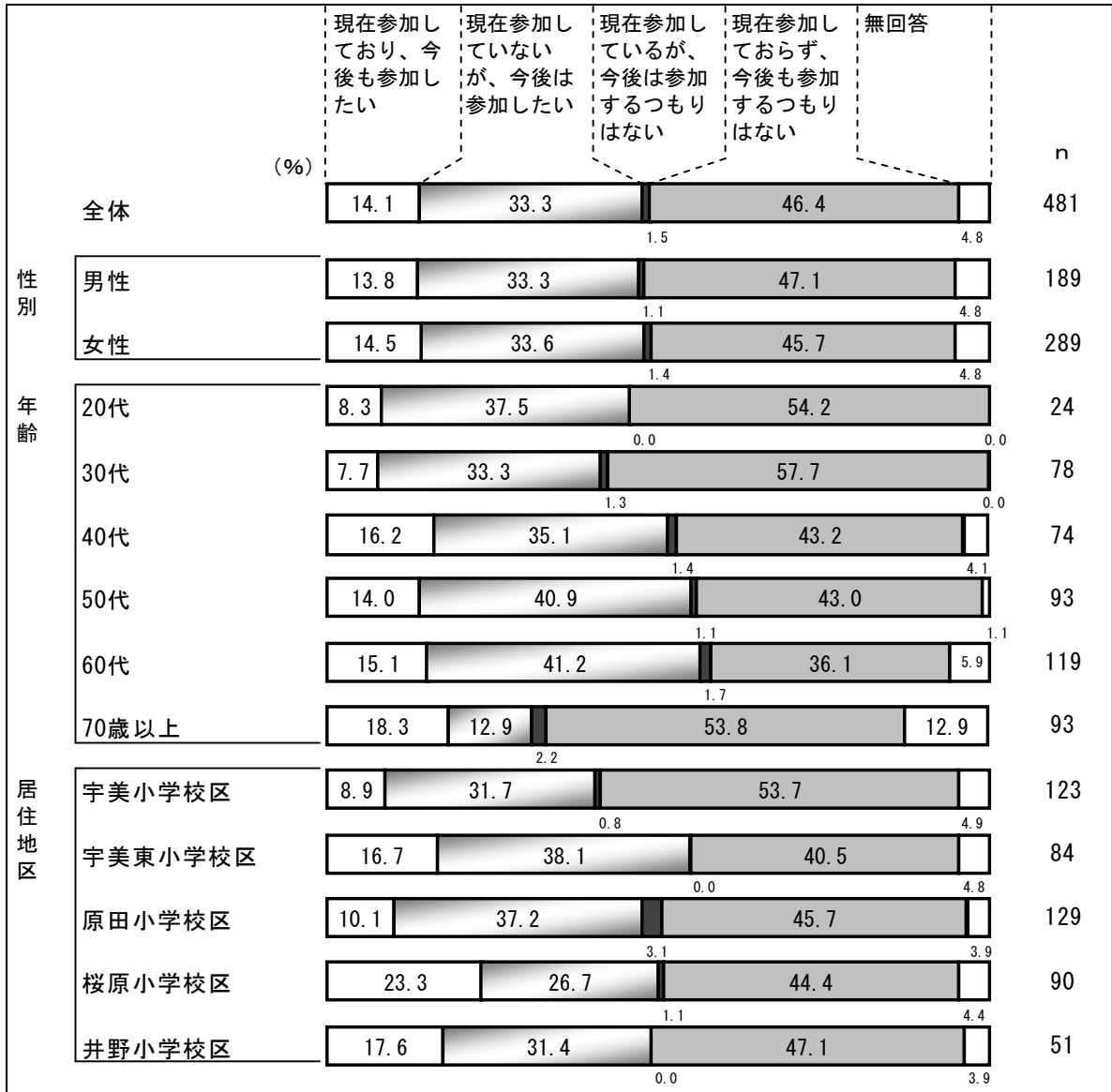
これを現在の参加状況で見ると、現在“参加している”人(③14.1%と④1.5%の合計)が15.6%、一方、“参加していない”人(①46.4%と②33.3%の合計)が79.7%となっています。

また、今後の参加意向で見ると、今後“参加したい”人(②33.3%と③14.1%の合計)が47.4%、一方、“参加したくない”人(①46.4%と④1.5%の合計)が47.9%となっています。

属性別で今後“したい(「現在参加していないが、今後は参加したい」と「現在参加しており、今後も参加したい」の合計)”率をみると、性別では、女性で48.1%、男性で47.1%となっています。

年齢別では、今後“したい(「現在参加していないが、今後は参加したい」と「現在参加しており、今後も参加したい」の合計)”率は、60代(56.3%)、50代(54.9%)、40代(51.3%)、20代(45.8%)、30代(41.0%)、70歳以上(31.2%)となっています。[図表38参照]

図表 38 地域コミュニティ活動等への参加状況・参加意向について
(全体・性別・年齢・居住地区)



(2) 今後参加したい活動について

※問8で「1.」または「2.」と回答した方におたずねします

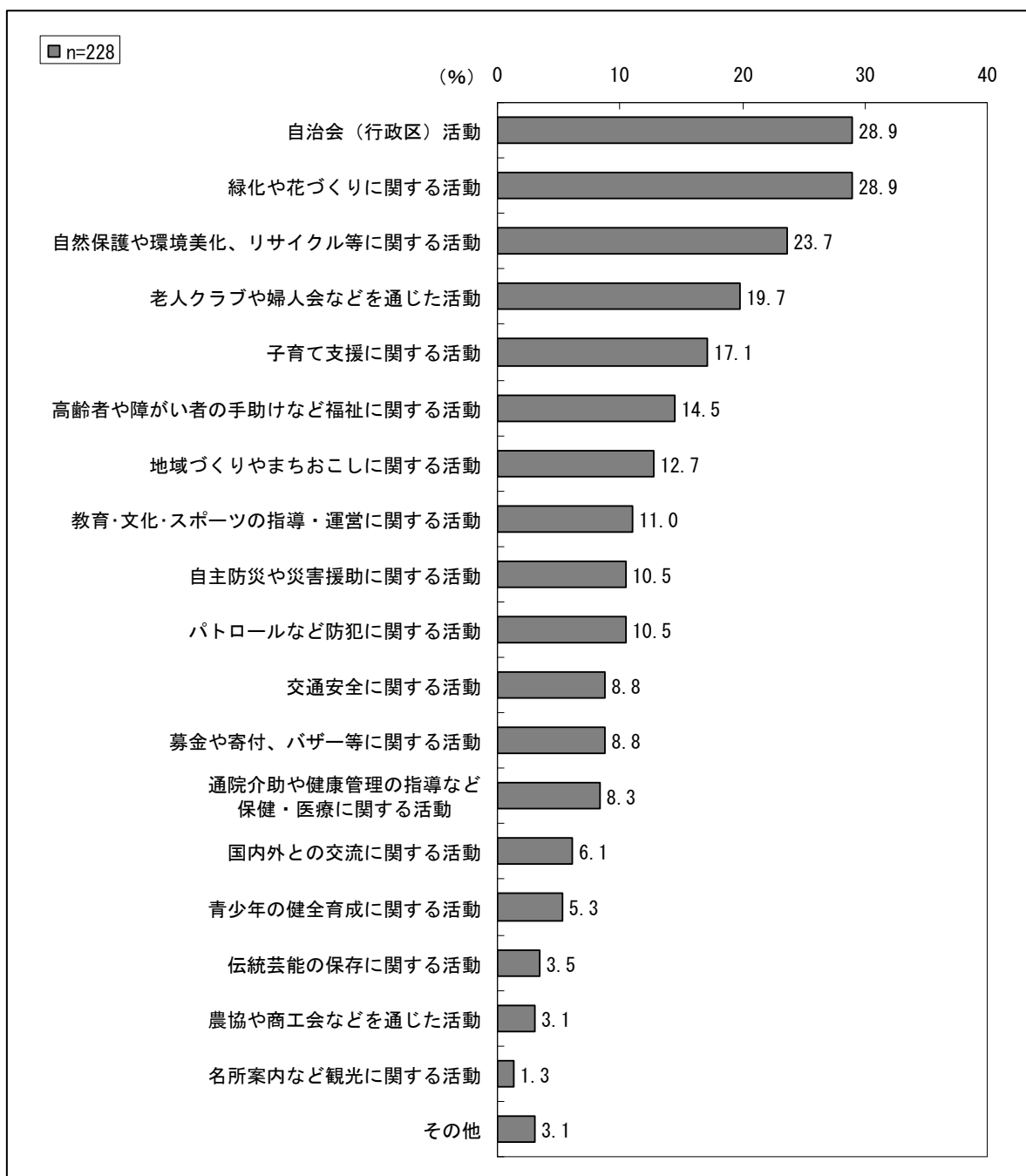
問8付問1 あなたは、今後（今後とも）どのような地域コミュニティ活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。【複数回答】



- 「自治会（行政区）活動」・「緑化や花づくりに関する活動」、「自然保護や環境美化、リサイクル等に関する活動」がおよそ4人に1人。

問8で“参加したい”と答えた228人(全体の47.4%)に、今後参加したいコミュニティ活動・ボランティア活動についてたずねたところ、「自治会（行政区）活動」・「緑化や花づくりに関する活動」（同率28.9%）、「自然保護や環境美化、リサイクル等に関する活動」（23.7%）、「老人クラブや婦人会などを通じた活動」（19.7%）、「子育て支援に関する活動」（17.1%）、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」（14.5%）、「地域づくりやまちおこしに関する活動」（12.7%）、「教育・文化・スポーツの指導・運営に関する活動」（11.0%）、「自主防災や災害援助に関する活動」・「パトロールなど防犯に関する活動」（同率10.5%）、「交通安全に関する活動」・「募金や寄付、バザー等に関する活動」（同率8.8%）、「通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動」（8.3%）、「国内外との交流に関する活動」（6.1%）、「青少年の健全育成に関する活動」（5.3%）、「伝統芸能の保存に関する活動」（3.5%）、「農協や商工会などを通じた活動」（3.1%）、「名所案内など観光に関する活動」（1.3%）の順となっています。[図表38参照]

図表 38 今後参加したい活動について（全体／複数回答）



(3) 今後活動に参加しない理由について

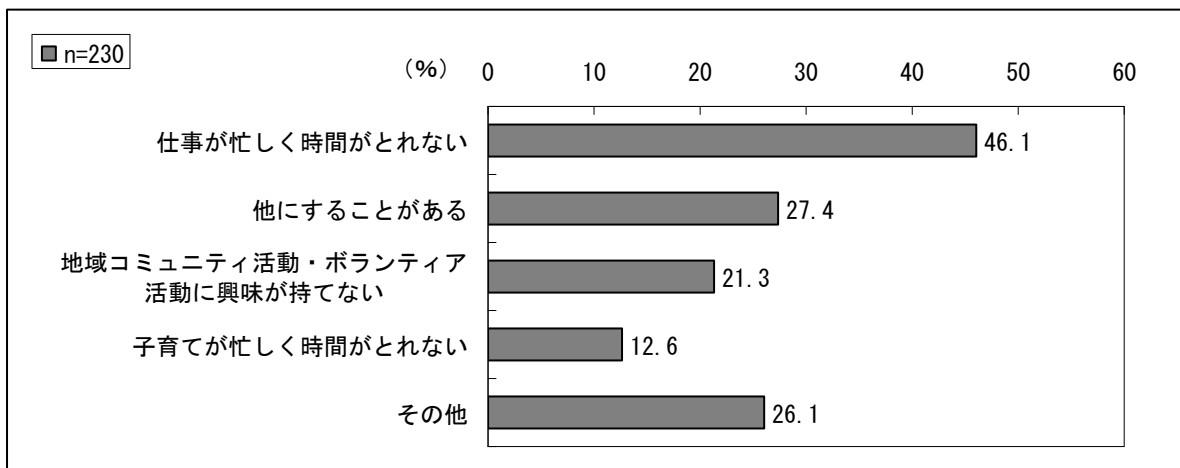
※問8で「3.」または「4.」と回答した方におたずねします
問8付問2 今後（今後とも）参加しない理由は何ですか。【複数回答】



- 「仕事が忙しく時間がとれない」が半数弱。

問8で“参加したくない”と答えた230人(全体の47.9%)に、その理由についてたずねたところ、「仕事が忙しく時間がとれない」(46.1%)、「他にすることがある」(27.4%)、「地域コミュニティ活動・ボランティア活動に興味を持ってない」(21.3%)、「子育てが忙しく時間がとれない」(12.6%)の順となっています。[図表39参照]

図表39 今後活動に参加しない理由について（全体／複数回答）



(4) 望ましいと思う地域コミュニティ活動について

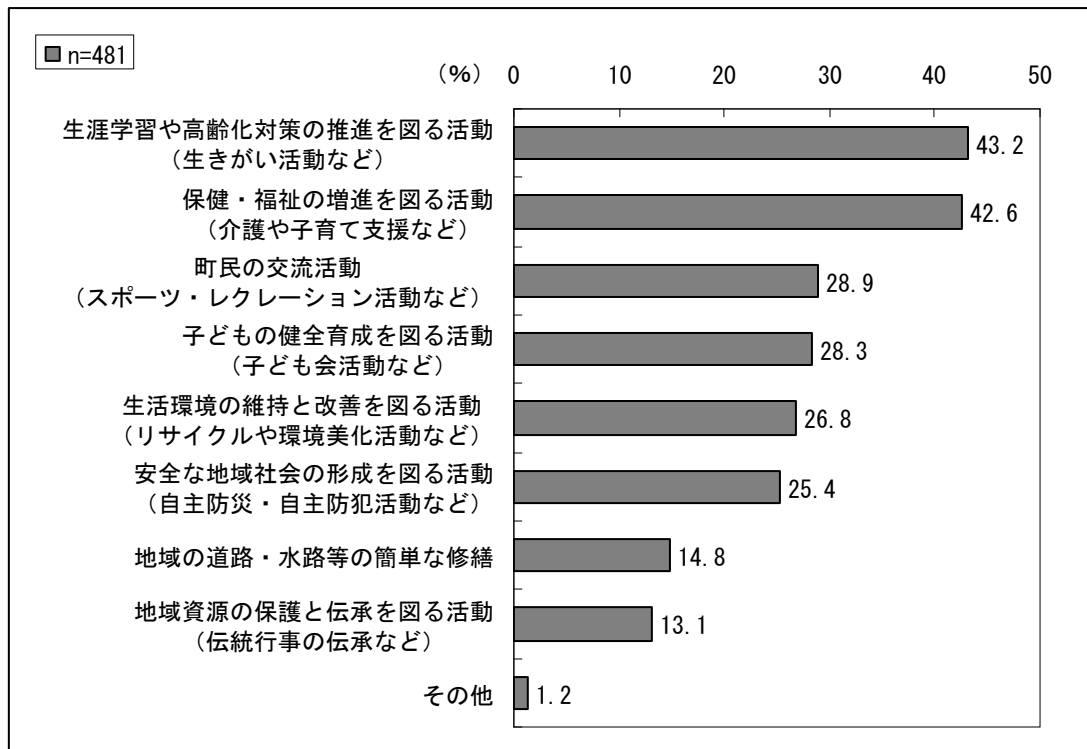
問9 地域の活性化と近隣関係の深化を図るため、どのような地域コミュニティ活動が望ましいと思いますか。【複数回答】

- 「生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動（生きがい活動など）」、「保健・福祉の増進を図る活動（介護や子育て支援など）」が4割を超える。

望ましいと思う地域コミュニティ活動についてたずねたところ、「生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動（生きがい活動など）」(43.2%)、「保健・福祉の増進を図る活動（介護や子育て支援など）」(42.6%)、「町民の交流活動（スポーツ・レクリエーション活動など）」(28.9%)、「子どもの健全育成を図る活動（子ども会活動など）」(28.3%)、「生活環境の維持と改善を図る活動（リサイクルや環境美化活動など）」(26.8%)、「安全な地域社会の形成を図る活動（自主防災・自主防犯活動など）」(25.4%)、「地域の道路・水路等の簡単な修繕」(14.8%)、「地域資源の保護と伝承を図る活動（伝統行事の伝承など）」(13.1%)の順となっています。

属性別には、性別・年齢・居住地区で「生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動（生きがい活動など）」、「保健・福祉の増進を図る活動（介護や子育て支援など）」は上位となっています。[図表40・41参照]

図表40 望ましいと思う地域コミュニティ活動について（全体／複数回答）



図表 41 望ましいと思う地域コミュニティ活動について

(全体・性別・年齢・居住地区—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 43.2	保健・福祉の増進を図る活動 42.6	町民の交流活動 28.9
性別	男性	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 41.8	町民の交流活動 36.0	保健・福祉の増進を図る活動 32.8
	女性	保健・福祉の増進を図る活動 48.4	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 43.9	生活環境の維持と改善を図る活動 28.4
年齢	20代	保健・福祉の増進を図る活動 45.8	町民の交流活動/子どもの健全育成を図る活動 41.7	
	30代	保健・福祉の増進を図る活動 53.8	子どもの健全育成を図る活動 51.3	町民の交流活動 33.3
	40代	保健・福祉の増進を図る活動 43.2	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 39.2	町民の交流活動 35.1
	50代	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 51.6	保健・福祉の増進を図る活動 43.0	生活環境の維持と改善を図る活動 37.6
	60代	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 47.9	保健・福祉の増進を図る活動 40.3	安全な地域社会の形成を図る活動 31.9
	70歳以上	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 51.6	保健・福祉の増進を図る活動 34.4	生活環境の維持と改善を図る活動/安全な地域社会の形成を図る活動 25.8
居住地区	宇美小学校区	保健・福祉の増進を図る活動 46.3	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 35.8	子どもの健全育成を図る活動 33.3
	宇美東小学校区	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 42.9	保健・福祉の増進を図る活動 38.1	生活環境の維持と改善を図る活動 32.1
	原田小学校区	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 52.7	保健・福祉の増進を図る活動 44.2	町民の交流活動 29.5
	桜原小学校区	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 43.3	保健・福祉の増進を図る活動 37.8	町民の交流活動 34.4
	井野小学校区	保健・福祉の増進を図る活動 45.1	安全な地域社会の形成を図る活動 39.2	生涯学習や高齢化対策の推進を図る活動 37.3

(5) 共働のまちづくりを進めるために必要なこと

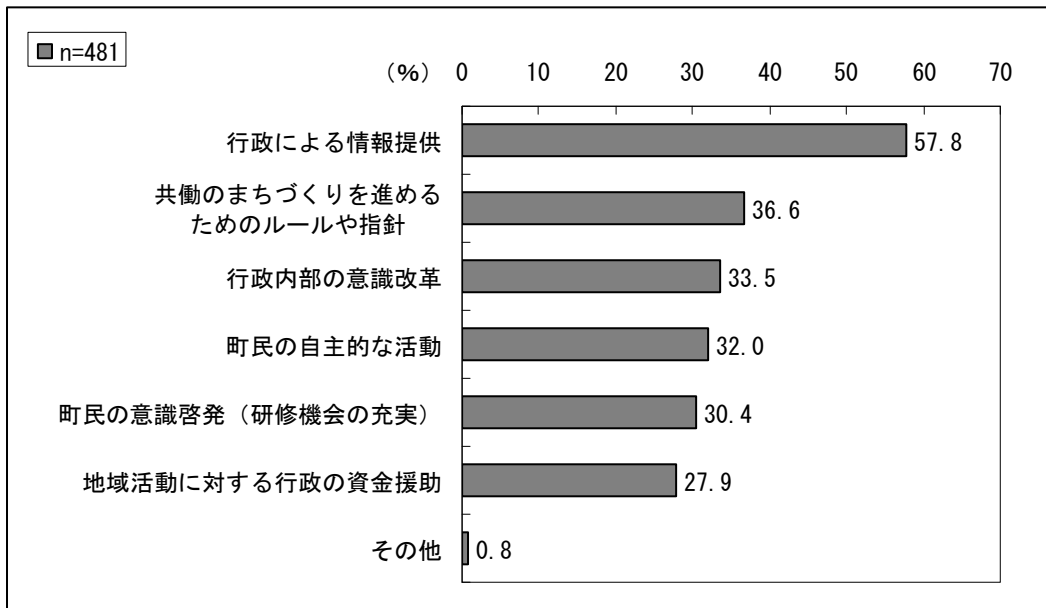
問 10 宇美町では、第5次総合計画において「まなびの森に育む地域力で築く共働のまちづくり」を基本理念に掲げ、その課題解決に向けて町民の皆様と行政が、お互いの立場を尊重しながら協力・連携する関係のみならず、共働のパートナーという対等な関係で、より豊かなまちづくりを実現するために取り組んでいます。この「共働のまちづくり」を進めるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。【複数回答】

- 「行政による情報提供」が6割弱であるが、他の項目も多い。

共働のまちづくりを進めるために必要なことについてたずねたところ、「行政による情報提供」(57.8%)、「共働のまちづくりを進めるためのルールや指針」(36.6%)、「行政内部の意識改革」(33.5%)、「町民の自主的な活動」(32.0%)、「町民の意識啓発(研修機会の充実)」(30.4%)、「地域活動に対する行政の資金援助」(27.9%)の順となっています。

属性別でみると、年齢別で、20代に「共働のまちづくりを進めるためのルールや指針」がやや高くなっています。[図表44・45参照]

図表 44 共働のまちづくりを進めるために必要なこと(全体/複数回答)



図表 45 共働のまちづくりを進めるために必要なこと
 (全体・性別・年齢・居住地区—上位第3位/複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		行政による情報提供 57.8	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 36.6	行政内部の意識改革 33.5
性別	男性	行政による情報提供 58.7	行政内部の意識改革 38.6	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 33.9
	女性	行政による情報提供 57.1	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 38.8	町民の自主的な活動 30.8
年齢	20代	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 45.8	行政による情報提供 41.7	町民の自主的な活動/行政内部の意識改革 33.3
	30代	行政による情報提供 56.4	町民の意識啓発/行政内部の意識改革 34.6	
	40代	行政による情報提供 59.5	行政内部の意識改革 36.5	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 33.8
	50代	行政による情報提供 64.5	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 39.8	行政内部の意識改革/地域活動に対する行政の資金援助 32.3
	60代	行政による情報提供 52.9	行政内部の意識改革 37.8	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 37.0
	70歳以上	行政による情報提供 61.3	町民の自主的な活動 39.8	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 35.5
居住地区	宇美小学校区	行政による情報提供 58.5	行政内部の意識改革 35.0	町民の自主的な活動 31.7
	宇美東小学校区	行政による情報提供 51.2	行政内部の意識改革 39.3	町民の自主的な活動 38.1
	原田小学校区	行政による情報提供 62.0	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 43.4	町民の意識啓発 34.9
	桜原小学校区	行政による情報提供 58.9	行政内部の意識改革 37.8	町民の意識啓発/町民の自主的な活動 32.2
	井野小学校区	行政による情報提供 54.9	共働のまちづくりを進めるためのルールや指針 51.0	地域活動に対する行政の資金援助 33.3

(6) 「共働のまちづくり」について

問 11 効率的に共働を推進していくためには、地域の課題を「誰がどのように担うことが最も適しているか」を考える必要があります。この「共働のまちづくり」について、次のそれぞれの項目ごとにあてはまる番号1つに○印をつけてください。



- 町民が主体となり、行政が協力しながら進めるべき項目の第1位は、「自宅まわりでの植樹や花づくり」。
- 町民と行政が話しあいながら、ともに力を合わせて進めるべき項目の第1位は、「青少年の健全育成を見守る地域づくり」。
- 行政が主体となり、町民が協力しながら進めるべき項目の第1位は、「道路の路肩等の清掃や除草などの管理」。
- 行政が主体となり、町民に意見を聞きながら進めるべき項目の第1位は、「国内外との交流活動を行う環境づくり」。
- 行政が考え進めるべき項目の第1位は、「観光についてのPRや観光ガイドの育成」。

「共働のまちづくり」について、町民が主体となり、行政が協力しながら進めるべき上位項目は、「自宅まわりでの植樹や花づくり」(49.5%)、「自分自身の健康を増進する習慣づくり」(45.1%)、「ごみ減量や省エネルギーに配慮した暮らし」(27.9%)の順となっています。

町民と行政が話しあいながら、ともに力を合わせて進めるべき上位項目は、「青少年の健全育成を見守る地域づくり」(44.7%)、「小中学生の登下校時の安全確保」(43.9%)、「安心して子育てができる環境づくり」(42.8%)の順となっています。

行政が主体となり、町民が協力しながら進めるべき上位項目は、「道路の路肩等の清掃や除草などの管理」(29.1%)、「身近な公園の清掃や除草などの管理」(26.0%)、「歴史や文化の香る環境づくり」(25.6%)の順となっています。

行政が主体となり、町民に意見を聞きながら進めるべき上位項目は、「国内外との交流活動を行う環境づくり」(32.8%)、「歴史や文化の香る環境づくり」(28.1%)、「観光についてのPRや観光ガイドの育成」(25.8%)の順となっています。

行政が考え進めるべき上位項目は、「観光についてのPRや観光ガイドの育成」(27.0%)、「国内外との交流活動を行う環境づくり」(21.0%)、「歴史や文化の香る環境づくり」(16.6%)の順となっています。[図表 46 参照]

図表 46 「共働のまちづくり」について（全体）

	（％）					n
	町民が主体となり、行政が協力しながら進めるべき	町民と行政が話し合いながら、ともに力を合わせて進めるべき	行政が主体となり、町民が協力しながら進めるべき	行政が主体となり、町民に意見を聞きながら進めるべき	行政が考え進めるべき	無回答
安心して子育てができる環境づくり	10.0	42.8	17.0	18.5	8.7	481
小中学生の登下校時の安全確保	23.5	43.9	16.0	6.9	8.9	481
青少年の健全育成を見守る地域づくり	11.4	44.7	20.6	10.6	10.4	481
生涯にわたり学習・スポーツをする習慣づくり	12.5	37.6	21.4	15.2	10.8	481
歴史や文化の香る環境づくり	15.8	25.6	28.1	16.6	10.2	481
国内外との交流活動を行う環境づくり	13.3	18.5	32.8	21.0	11.2	481
自分自身の健康を増進する習慣づくり	45.1	25.6	10.0	7.7	10.2	481
病気や高齢等の家族の介護	14.8	33.7	14.1	22.7	9.8	481
災害からの家族の安全の確保	10.2	26.8	21.4	21.0	11.2	481
犯罪の少ない安全な地域づくり	6.7	27.7	23.9	23.5	9.4	481
道路の路肩等の清掃や除草などの管理	11.9	24.7	29.1	13.1	12.3	481
身近な公園の清掃や除草などの管理	17.7	30.4	26.0	10.6	6.4	481
自宅まわりでの植樹や花づくり	49.5	23.3	11.2	9.4		481
ごみの減量や省エネルギーに配慮した暮らし	27.9	22.0	25.4	11.2	9.6	481
家庭における情報環境の整備や情報格差の解消	21.8	27.0	16.4	15.8	6.2	481
地域活性化に関するイベント	9.8	26.2	22.7	23.1	7.9	481
男女の出会いの場の確保	16.4	31.4	15.4	17.7	6.2	481
農業の担い手や後継者の育成	11.9	32.8	16.4	20.4	6.7	481
便利な商業環境の整備や後継者の育成	9.8	29.3	18.9	23.9	7.1	481
観光についてのPRや観光ガイドの育成	12.7	21.4	25.8	27.0	10.0	481
自治会（行政区）活動の活発化	17.5	30.1	18.5	14.8	9.6	481

6 自由意見

問 12 最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことや、共働のまちづくりに関するご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見を校区・分野ごとに区切り分類しています。

①宇美小学校区	
分 野	内 容
コミュニティ・共働	行政区の活動の仲間に入ることは難しい。
	町民と行政が主体となる。町づくり観光課を設置してみてもいいでしょうか。
	公共施設の企画運営を住民参加で行ってほしい。
	情報公開による町民参加の町づくりを行ってほしい。
	今後行政との共働ができれば、最高だと思う。
	5件
福祉	認知症高齢者の関連施設の確保、認知症の正しい理解や対応方法等を行ってほしい。
	高齢者や子供に優しい町作りをお願いしたい。
	高齢者にやさしい行政を行ってほしい。
	何事もとは云いませんが、基本的には①自助・②共助・③公助であるべきと考えます。
	ハピネス号が本当に必要としている人の為になっているのかどうか、見直してほしい。
	5件
子育て支援	子どもの医療費を3歳以上も無料にして欲しい。
	子どもを育てるにあたり、支援がある町になってほしい。
	活動に参加する際、子どもの面倒を見てほしい。
	子どもを「預かります」という取り組みは素晴らしいが、費用が高くて利用しにくいので、町で費用を一部負担してくれると助かると思う。
まちづくり・観光・歴史	町の各地域を特性のあるゾーンに分けて整備してほしい。
	花壇の花がいつも枯れているので、季節に合った、枯れにくい花を選んでほしい。
	自然の豊かさを大切にして、宇美町の原点としてほしい。
	川の中を清掃し、きれいにしてほしい。
	交番裏の役場の駐車場の草をとってほしい。
	蛍を増やして、観光客を増やしてほしい。

	静かで落ちついた宇美八幡宮に戻ってほしい。
	八幡宮をはじめ、小学校開校当時の遺跡等と由来を示した町標を記念碑にしてほしい。
	8件
生活環境	路上駐車の見廻り強化をしてほしい。
	県民の森周辺は、自然豊かでハイキングやサイクリングの人も多いのに、イノシシが出るのが困る。
	ゴミ袋を半額にしてほしい。
	3件
町の将来に対する願い	私の生まれ育った宇美町がこれからもっと住みやすい町になって行く事を心から願う。
	自然環境を今のまま残してほしい。
	2件
道路・インフラ整備	道路を整備・拡幅してほしい。
	路面に水がたまる場所を直してほしい。
	歩道がせますぎ。
	道路整備を行ってほしい。
	バスが通る道が狭く、歩行者の安全が確保されていない。
	歩道やサイクル道の整備をしてほしい。
	町立の葬儀場を建設して欲しい。
	外灯を増やしてほしい。
	外灯が少ない。
	9件
上水道	上水道を整備してほしい。
	上水道を整備し、安全な水を供給してほしい。
	上水道を確保してほしい。
	貴船地区に上水道を整備してほしい。
	貴船地区に上水道を整備してほしい。
	現在、井戸水なので、水道を供給してほしい。
	6件
住宅	町営住宅を増やしてほしい。
	1件
公園・施設	子供が安全に遊べる公園がほしい。
	子供達のがのびのび遊べる公園がもっとあれば、路上で遊ぶことが減ると思う。
	子供が遊べる公園が少ない。
	宇美町は公園や遊歩道があまりにも少ないので、整備してほしい。
	夕方や夏休み等も、公共施設を開放してほしい。

	うみみらい館（特に図書館）の開館時間をもう少し長くしてほしい。
	うみハピネスの使用料金を無料にしてほしい。
	今後ランニングコストのかかる施設の建設は不要だと思う。
	本屋をつくってほしい。
	のんびりできる飲食店などの憩いの場があるといいと思う。
	10件
安心・安全	通学路の安全を確保してほしい。
	治安が悪く、夜遅くまで中高生がたむろしている。
	2件
行財政・合併	インターネットで町に関する新しい情報が入手できるようにしてほしい。
	不要な箱物や土地が多いと思う。
	福岡市と合併してほしい。
	3件
教育	中学校で牛乳を出すことが、途切れないようにしてほしい。
	1件
その他	町内会の皆様に助けて頂き過ぎている。
	介護保険を使っているが、大変助かっている。
	全町民にアンケートをとるべき。
	高齢のため、あまりうまくアンケートに答えられなかった。
	宇美町に住んでいながら、志免の施設を利用することが多い。
	お年よりの方が横断歩道じゃない所を無理やり手を上げて渡るのが危ない。
	弁護士に相談したい時、匿名で相談できるようにしてほしい。
	7件
宇美小学校区計 66件	

②宇美東小学校区	
分野	内容
コミュニティ・共働	70歳過ぎて宇美町に来たので、なかなか入り込めない所がある。
	昔からの住民と新しい住民の交流を行い、一体化を図ってほしい。
	町内会の回覧板や集金等を、タブレット端末の利用や振込等、今の時代に合った方法で行えばよい。
	町づくりにのきかけは行政が作るべきだと思う。
	町民皆が気軽に参加できるイベントの開催。
	行政と共働き、豊かなまちづくりを進めたい。
	6件
福祉	精神障がいの方々のための施策を進めてほしい。
	行き過ぎの福祉はやめ、住民の自立を促してほしい。
	高齢者へのバス・タクシーでの通院・買い物をもう少し多く助成してあげてほしい。
	ハピネス号の運行時間帯や料金を改善してほしい。
	4件
子育て支援	子どもの医療費制度を、福岡市と同等にしてほしい。
	保育園の条件を緩和する等、子育てしやすい町にしてほしい。
	子育て支援の充実。
	子どもの遊ぶ場を充実させてほしい。
	子どもを躓け、危険のないように遊ばせてほしい。
	子供の医療費を小学生（6年生まで）まで助成してほしい。
	6件
まちづくり・観光・歴史	炭坑町のイメージを払しょくしてほしい。
	暮らしやすい町になります様に努力お願い致します。
	2件
生活環境	古紙の回収は毎週やらなくてよい。
	1件
町の将来に対する願い	明るい暖かい人柄が一人でも多くなり、健康的で視野広い行動力のある町になってほしい。
	すばらしい自然環境を残しながら、活気ある宇美町になることを願う。
	2件
道路・インフラ整備	バスの便を増やしてほしい。
	下水道事業の推進、遅れている行政区には特段のテコ入れをして欲しい。
	2件
公園・施設	昭和の森を再生し、町民が集える場所をつくってほしい。

	博多の森のような、大きな公園がほしい。
	公共のプールが利用しにくい、遠い。
	公共施設は、未来を見据えて計画的に配置してほしい。
	町立中央公民館 2 F のトイレが汚いので、きれいにしてほしい。
	スポーツ公園のグラウンドなど無料開放して、いつでも町民が使用出来る様にしてもらいたい。
	商業施設の発展を図ってほしい。
	7 件
安心・安全	安全で安心して住める住環境づくりをお願いしたい。
	安全な通学路を確保してほしい。
	2 件
広報	「広報うみ」は非常に良い。
	シルバー人材活用の町としての取組みを、町政だよりで具体的に知らせて欲しい。
	2 件
税金	町民税や、水道代が高い。
	住民税の納付場所に佐賀銀行を入れてほしい。
	2 件
行財政・合併	他の町市より宇美町に転居すれば生活保護受けられるという現実をまず行政は改善すべきだと思う。
	1 件
就労	町内に仕事があるとよい。
	1 件
教育	平日通学せずウロウロしている中学・高校生が多いので、パトロールなどしてほしい。
	1 件
その他	中央公民館センターを利用しており、ありがたく思う。
	このアンケート集計結果が出たら、大方の町民の思いはどんなものであったのか知りたい。
	アンケートは良くわからない点があり、申し訳なく思う。
	役場の駐車場の使い方を見直してほしい。
	他県にて仕事をしているため、帰省する機会がない。
	生活保護受給者が多い。
	6 件
宇美東小学校区計 45 件	

④桜原小学校区	
分野	内 容
コミュニティ・共働	気持ちがかよい合うものであってほしいと思います。
	役場の「すぐやる課」みたいなものとボランティアやコミュニティセンターの連携で、ものごとに早急に対応ができる体制をつくってほしい。
	どんどん催し事に参加して経験して、町政に参加したいと思う。
	共働を推進する人は、何があってもその姿勢を崩さないことが大事だと思う。
	ネットを活用するなど、新しい共働のあり方を目指すのもよいと思う。
	5件
福祉	家周辺の草取り、植え木の剪定、掃除等の業者を、町で紹介してほしい。
	高齢者、障がい者にもっと優しい行政であってほしい。
	介護保険のしつぽうや、どういふサービスが受けられるのか、わかりやすく広く一般の人に届く様な冊子を準備して欲しい。
	高齢者への支援、買物のサポート（交通面）をしてほしい。
	町が主体のシニアホーム等をつくってほしい。
	障がい者にやさしい町になってほしい。
	老齡化が進み、買物難民が増加しているのて、解決法を考えてほしい。
7件	
子育て支援	保育料が高いので、見直してほしい。
	子育て支援を行ってほしい。
	子供がボール遊びをできる場所を作ってほしい。
	3件
まちづくり・観光・歴史	宇美町は宇美神社に頼りすぎていると思う。
	空家や土地の利用ができないものか、考えてほしい。
	登山教室やウォーキング教室等を定期的に行ったりコースの設定、整備、また地図の発行等を行ってもらいたい。
	地域の観光資源を活かしてほしい。
	観光イベントを行ってほしい。
	町外からもたくさんの方が来てくれる様な道の駅をつくってほしい。
6件	
町の将来に対する願ひ	宇美町に愛着を感じており、自然を大切にしながら住み易い居心地の良い町になってほしいと思う。
	静かに過ごせるような町であってほしい。
	2件
道路・インフラ	狹隘道路の解消や、歩道の整備をしてほしい。

整備	歩道を整備してほしい。
	安全な歩道を増やしてほしい。
	交通の便、乗り継ぎの悪さを改善し、充実させてほしい。
	J Rと西鉄電車の直通（宇美-大宰府間）。
	駅前のメインストリート等の町並み整備を行ってほしい。
	団地に外灯やミラーを増やしてほしい。
	役場からの無線が聞こえないので、聞こえるようにしてほしい。
	8件
公園・施設	女性が1人でウォーキング出来る場所があるとよい。
	公園を整備し、利用しやすくしてほしい。
	子どもがたくさん遊べるような大きな公園やイベントなどがある場所があるといいと思う。
	病院を充実させてほしい。
	図書館の本がすくないので、充実させてほしい。
	充実した買い物ができる町になってほしい。
	篠栗町や志免、須恵町の様に町民が自由にはいれるお風呂があったらよいと思う。
	7件
安心・安全	安全、安心を第一に考えた、住環境で生活出来る事が将来への希望です。
	夜間街灯を増やしてほしい。
	2件
行財政・職員・合併	財政の健全化、魅力ある町づくりによる人口増など、改革を行ってほしい。
	街の財政再建を重視してほしい。
	宇美町行政が何をやっているのか良く見えない。
	役場の専門職員は、もっと勉強してほしい。
	4件
就労	企業誘致に力を入れ、働く場を確保してほしい。
	I T関連企業など、若手層が勤める企業を誘致してほしい。
	農業以外に就労できる産業等を誘致してほしい。
	町内に雇用の場を増やしてほしい。
	企業の誘致活動や雇用の拡大など、行政が率先してやってほしい。
	5件
若者定住対策	若い年代層が魅力を感じるイベントの開催や、転入者に対する町民税の3～5年間減額優遇制度の導入などにより、定住者の増を図るべき。
	1件
教育	生涯学習のイベントは、もっと宣伝し、多くの人に参加するようにしてほしい。

	行政間の連携を密にして、使いやすい、活動しやすい場所を市民に提供してほしい。	
		2件
その他	町づくりは大変だと思うが、役場の方には頑張ってほしい。	
	宇美に住んで間もないので、よく分からない。	
	私にはよく分かりません。	
	○・×を1つに決めるのはむずかしいので迷う。	
	アンケートを取って何のためになるのかわからない。	
	このアンケートは答えるのが大変なので、次回から宇美町で使える商品券などの謝礼がほしい。	
		6件
		桜原小学校区計 58件

③原田小学校区	
分野	内 容
コミュニティ・共働	高齢化に伴い、行政区単位や御近所で助け合い出来る様に取り組む事が出来るとよい。
	区費・組費を払わない人がいて、育成会の活動に参加できない子供がいる（親の勝手に）。
	もっと国内外との交流活動を行える環境づくりをしてほしい。
	シルバー世代の方々が、注文を受けて剪定、草抜き等をするようにしたらどうか。
	議員以外に、町の活性化をするためのポストをつくり、町民から選出するとよいと思う。
	定年後に地域活動に参加出来る仕組みづくりをしてほしい。
	6件
福祉	在宅介護の支援の情報を宇美広報に載せてほしい。
	高齢者に優しい町づくり。
	蚊の対策をしてほしい。
	高齢者が孤立しないよう、ケアを進めてほしい。
	高齢者の方にいろんなことを教えてもらう教室やサークルがもっとあれば良いと思う。
	宇美町のハピネスバスを有料にし、大人100円・子供50円を取るようにしてほしい。
	6件
子育て支援	育児やそれに係る女性、男性のサポート等、子供が遊べる場所作りを考えてほしい。
	子どもの医療費助成を拡充してほしい。
	子供達が気軽に集まれる場所を増やしてほしい。
	3件
まちづくり・観光・歴史	人口の増加している福岡市近郊にあって、宇美町が住みやすい環境にあるのか考える必要があると思う。
	福岡市のベッドタウンで住みやすい安全な町をめざしてほしい。
	町内の歴史資源を活かして、観光客を呼び込んでほしい。
	道の駅をつくってほしい。
	4件
生活環境	きれいに草取りをしてあるところと、していないところがあるので、全部取ってほしい。
	県道の騒音を改善してほしい。
	2件

ごみ	いつでも出せるゴミ収集場所をつくってほしい。
	燃えるごみの袋代が高い。
	ごみの分別が多くて、高齢者の方が難しいと言っている。
	スプレー缶などの集積指定場所が遠くて行けない。
	4件
町の将来に対する 願い	より住み良い宇美町になってほしい。
	1件
道路・インフラ 整備	町の中心部だけでなく、周辺部も道路整備、公園施設、下水道整備などを進め、よりよい住環境をつくってほしい。
	狭隘道路を解消するなど、道路整備を行ってほしい。
	早急に道路を広げてほしい。
	68号線は歩道がなくて危険な個所があるので、整備してほしい。
	公共交通機関を整備し、福岡市迄の時間を短縮化してほしい。
	西鉄大牟田線の大宰府駅からの線路をのばすか、地下鉄を空港からのばしてほしい。
	交通の便を良くしてほしい。
	四王寺坂の中を通るバスがトライアルまで行っていないので、延長してほしい。
	町並み整備を行ってほしい。
	防災無線が聞こえないので、聞こえるようにしてほしい。
	道路の灯が暗いので、もう少し増やし、明るくしてほしい。
	11件
	住宅
1件	
公園・施設	公園のベンチ等を整備してほしい。
	子ども達が安全に遊べる場所や公園がもっとあれば良い。
	近所の公園に遊具がほしい。
	子どもがいるので、志免のシーメイトのような大きな公園を作ってほしいです。
	篠栗町のカブトの森公園ぐらいの、保護者の目がとどく様な、大きな公園がほしい。
	志免町のシーメイトのような大きな公園、プールがあるとよいと思う。
	図書館の本をもっと充実させてほしい。
	多くの町民が利用できる施設をつくってほしい。
	図書館はとてもキレイで良い。
	トレーニング室の利用料が高く、器具の種類が少ないので、充実させてほしい。
	ハピネスの利用時間を11時までにしてほしい。

	図書館等公共施設を夜間に開館してほしい。
	町有地の活用し、町民の為の温泉施設などの建設、太陽光発電所の建設などをしてほしい。
	入浴施設と運動施設が一緒になっている、皆が集う場所があったらいいと思う。
	宇美南中学校の隣にある南町民センターは何の施設なのか、何の為に利用されているかわかりません。
	ホームセンターや大型書店などを誘致してほしい。
	書店や薬局を誘致してほしい。
	17件
安心・安全	安心、安全が今以上ある町づくりを希望したい。
	1件
税金	住民税を軽減してほしい。
	1件
行財政・職員・合併	なんでも相談できる窓口があると良い。
	行政の行っていることを市民に知ってもらう工夫が必要。
	町（行政）が現在何をやっているか見えてこないなので、見えるようにしてほしい。
	職員は、高齢者や障がい者にもわかりやすい説明を心がけてほしい。
	図書館の事務員の数が多すぎるので、減らしてほしい。
	中央公民館の職員が多すぎると思う。
	太宰府市と合併した方がよい。
	福岡市と合併した方がよい。
	8件
就労	若い人が働ける場を増やすために、町役場などの採用をもっと多くしたらよい。
	起業する人達へのアドバイザー的なものがほしい。
	働く場が少ないので、増やしてほしい。
	3件
教育	夜間の生涯学習、スポーツの場をつくってほしい。
	生涯学習講座等の充実。
	2件
その他	アンケートの質問が難しく、内容がわからない所があった。
	犬を保護したら、すぐに飼い主に知らせてほしい。
	犬を飼っている方で「つないで下さい」と言っても、言う事を聞かない人がいる。
	3件
原田小学校区計 73件	

⑤井野小学校区	
分野	内 容
コミュニティ・共働	マンションに住んでも戸建に住んでも、コミュニケーションの場があり、お互いに助け合う家族のような、つかず離れずの見守りや声かけができるとうい。
	役員の負担が重いので、町内の行事を簡素化して欲しい。
	近所の方々の仲があまり良くない。
	近所の方とのコミュニケーション活動の必要性を強く感じている。
	「共働のまちづくり」を進める為には、より多くの人の参加意識を高める意識改革が必要。
	5件
福祉	コミュニティバスの拡充を図ってほしい。
	高齢者の生きがいづくりを支援してほしい。
	2件
子育て支援	町立幼稚園をつかってほしい。
	1件
ごみ	金属用・不燃物用の収集袋の小さいサイズを作してほしい。
	1件
町の将来に対する 願い	より住み良い宇美町になってほしい。
	1件
道路・インフラ 整備	トラック等が多いのに、道路が狭く、危ないので、広くしてほしい。
	主要道路の街灯と信号機の増強を検討願います。
	宇美西口～役場入口交差点までの道路の拡幅、歩道の整備をしてほしい。
	福岡市方面からのバスの数が少なく、特に夜中の運行が少ないので、改善してほしい。
	高齢化社会に向けて公共交通機関の充実を望みます。
	徒歩で行ける病院・スーパー・公民館などがあるとよい。
	水道水がまずい。
	7件
公園・施設	スポーツ施設（プール）を早急に整備して欲しい。
	公民館が暗いので、もっと明るくオープンにしてほしい。
	スポーツ施設・美術館・公園等、公共施設を充実してふやしてほしい。
	カフェ等の出店を誘致支援。
4件	
広報	宇美町出身で世界や全国で活躍する人の紹介等を広報等でしてほしい。
	1件

税金	税金をやすくしてほしい。
	1件
行財政・職員・合併	それぞれの課に、専門と言える程の頼れる職員を配置して欲しい。
	町民の声が町長まで届く様な目安箱があると良い。
	町議員の旅行はやめた方がよい。
	他の町と合併して市に移行した方が活気が出て良くなると思う。
	4件
就労	フリーランス、個人事業主の支援。
	1件
その他	高齢者には答えにくい設問が多い。
	町に愛着を感じないし、アンケートも役に立たないと思う。
	志免のスポーツジムで糟屋郡の割引対象で宇美は割引外なので、対象にしてほしい。
	3件
井野小学校区計 31件	